

SONY®

SONY

デジタルHDビデオカメラレコーダー

デジタルHDビデオ カメラレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南 1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>
Printed in Japan



3280847060

HVR-Z7J

HDV
HDV 1080i

DVCAM™

Mini **DV** Digital Video Cassette

PROGRESSIVE

InfoLITHIUM™ SERIES

MEMORY STICK™

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HVR-Z7J

© 2008 Sony Corporation

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害**
など人への危害、また火災などの財産への損害を未然
に防止するため、次のことを必ずお守りください。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら
煙が出たら

- 1 電源を切る
- 2 電池をはずす
- 3 ソニー業務用商品相談
窓口またはお買い上げ
店に連絡する

危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- 1 すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。
- 2 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- 3 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗淨し、医師に相談してください。
- 4 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。



この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。



この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。



この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



スラグをコンセントから抜く



指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本機で使えるカセットについて

本機はHDV/DVCAM/DV規格の記録機能を搭載したデジタルHDビデオカメラレコーダーです。

HDV/DV規格で記録するときは、ミニDVカセットのご使用をおすすめします。DVCAM規格で記録するときは、ミニDVCAMカセットのご使用をおすすめします。カセットメモリー機能には非対応です(114ページ)。

HDV規格とは

- DV規格カセットにデジタルハイディフィニション(HD)映像の記録・再生ができます。
- HDV映像信号の圧縮方式は、BSデジタルや地上デジタルのハイビジョン放送やブルーレイディスクレコーダーで採用されているMPEG2方式です。
- HDV規格は圧縮方式を使用しているため画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがあります。故障ではありません。

本機で使える“メモリスティック”について

本機では次のマークのついた“メモリスティック”が使えます。

- MEMORY STICK Duo (“メモリスティック デュオ”)
 - MEMORY STICK PRO Duo (“メモリスティックPRO デュオ”)
 - MEMORY STICK PRO-HG Duo (“メモリスティックPRO-HGデュオ”)
- “メモリスティック デュオ”
(本機で使用するサイズ)



“メモリスティック”
(本機では使用できません)

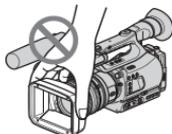


⚠️ ご注意

- “メモリスティック デュオ”以外のメモリーカードは使用できません。
- “メモリスティック PRO デュオ”は“メモリスティック PRO”対応機器でのみ使用可能です。
- “メモリスティック デュオ”本体、“メモリスティック デュオ”アダプターにラベルなどを貼らないでください。
- “メモリスティック デュオ”を“メモリスティック”対応機器で使用する場合、“メモリスティック デュオ”を“メモリスティック デュオ”アダプターに入れてからお使いください。

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

- 次の部分をこつこつと持たないでください。



レンズカバー付きフード



液晶パネル



マイクまたはマイクホルダー



ファインダー



アクセサリシューアダプター



メモリーレコーディングユニット

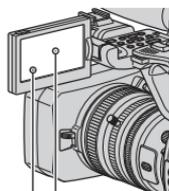
使用前に必ずお読みください(つづき)

● ご注意

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください(121ページ)。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは端子の向きを確認して接続してください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。

メニュー項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



黒い点
白や赤、青、緑の点

ファインダー、レンズ、および液晶画面を絶対に太陽や強い光源に向けたままにしない

- 特にファインダー、レンズを太陽や強い光源に向けたままにすると、集光により内部部品の破損の原因となります。使用しないときには、太陽や強い光源に向かないように置き場所を工夫するか、レンズカバー、バッグなどを使用して保護してください。

本機やバッテリーの温度に関するご注意

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面およびファインダーにメッセージが表示されます(112ページ)。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合、記録や再生がされなかった場合、または性能の限界により画像や音声乱了る場合、画像や音声などの記録内容及び、撮影機会の損失に対する保証についてはご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。また、動解像度表現に優れたモニタなどでは顕著に見える場合があります。
- 撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、以下の現象が発生する場合があります。このような場合は、シャッタースピードを調整することで現象が軽減されます。
 - 蛍光灯の下で撮影すると、画面に横筋が見える。
 - 被写体にフラッシュを当てると、画面が上下分割されたように見える。

他機での再生に際してのご注意

HDV規格で記録したテープは、HDV規格に対応していない機器では再生できません。他機で再生する前に本機で再生して、テープの内容を確認することをおすすめします。

本書で使うマークについて

-  HDV規格だけで使える機能です。
-  DVCAM規格だけで使える機能です。
-  DV SP規格だけで使える機能です。
-  i.LINK接続時に使える機能です。
-  ASSIGNボタンに割り当てて使える機能です。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

さらに本機はT*コーティングを採用しており、不要な反射を抑え、忠実な色再現性を実現しております。

MTF=Modulation Transfer Functionの略。
コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

目次

安全のために	2
使用前に必ずお読みください	3

準備する

準備 1: 付属品を確かめる	9
準備 2: 付属品を取り付ける	10
準備 3: バッテリーを充電する	16
準備 4: 電源を入れて正しく持つ	19
準備 5: 液晶画面とファインダーを調節する	20
準備 6: 日付時刻を合わせる	22
準備 7: カセットや“メモリースティック デュオ”を入れる	24

撮る / 見る

撮る	26
思い通りの設定で撮る	29
ズームする	29
ピントを手動調節する	30
明るさを調節する	32
自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)	34
ブラックバランスを調整する	35
あらかじめ設定した画質で撮る(ピクチャープロフィール)	35
好みの音に設定する	44
ASSIGN ボタンに機能を設定する	45
インデックス信号を打ち込む	46
テープを停止した場面を確認する(レックレビュー)	47
最後に録画した場面を頭出しする(エンドサーチ)	47
最後に撮影した動画を再生する(ラストシーンレビュー)	47
ショットランジションを使う	48
フォーカス位置を画面上でマーキングする(フォーカスマーキング)	51
見る	52
本機の設定を変更 / 確認する	55
画面表示を切り替える	55
再生時に情報を表示する(データコード)	55
本機の設定を確認する(ステータスチェック)	56
バッテリー残量を確認する(バッテリーインフォ)	56
テープの頭出しをする	57
撮影日でテープを頭出しする (日付サーチ)	57
録画の開始位置を探す(インデックスサーチ)	57
テレビにつないで見る	58

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた	64
メニュー一覧	65
 (CAMERA SET)メニュー	68
撮影状況に合わせるための設定 (GAIN SETUP/BACK LIGHT/ STEADYSHOT など)	
 (AUDIO SET)メニュー	75
録音に関する設定 (DV AU. MODE/XLR SET など)	
 (DISPLAY SET)メニュー	77
画面 / ファインダーの表示設定 (MARKER/VF B. LIGHT/DISP OUTPUT など)	
 (IN/OUT REC)メニュー	81
録音、入出力に関する設定 (REC FORMAT/HDV PROGRE./VIDEO OUT/EXT REC CTRL など)	
 (TC/UB SET) メニュー	85
(TC PRESET/UB PRESET/TC LINK など)	
 (MEMORY SET)メニュー	88
"メモリースティック デュオ"に関する設定 (ALL ERASE/FORMAT など)	
 (OTHERS)メニュー	89
テープ撮影時の設定や、各種基本設定 (QUICK REC/BEEP など)	

ダビングや編集をする

他のビデオ、DVD/HDD レコーダーにダビングする	93
ビデオの画像を本機で録画する	97
テープの動画をパソコンに取り込む	99

困ったときは

故障かな?と思ったら	102
警告表示とお知らせメッセージ	112

その他

海外で使う	113
使用上のご注意とお手入れ	114
HDV 規格と記録・再生について	114
DVCAM/DV 規格の互換性について	116
“メモリースティック”について	117
InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて	119
i.LINK(アイリンク)について	120
x.v.Color(エックスブイ・カラー)について	120
本機の取り扱いについて	121
主な仕様	124
保証書とアフターサービス	126

安全のために

127

各部のなまえ・索引

各部のなまえ	131
ファインダーと液晶画面の表示	138
索引	141

準備する

準備1:付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

()内は個数。

- ビデオカセット、*メモリースティック デュオ[®]、リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャーは別売です。本機で使えるカセットテープと*メモリースティックデュオ[®]については3ページ、114ページ、117ページをご覧ください。

カールツァイスレンズ(VCL-412BWH)(1)(10ページ)

本機にあらかじめ取り付けられています。

メモリーレコーディングユニット(HVR-MRC1)(1)(14ページ)



i.LINKクレードル(HVRA-CR1)(1)(15ページ)

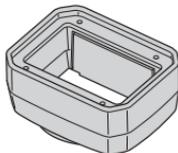


大型アイカップ(1)(21ページ)

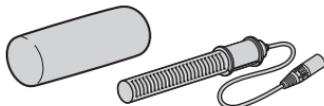


レンズカバー付きフード(1)(10ページ)

本機にあらかじめ取り付けられています。



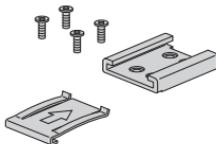
ウインドスクリーン(1)、マイク(ECM-XM1)(1)(13ページ)



アクセサリシューアダプター(1)(132ページ)



アクセサリシューキット(アクセサリシュー(1)、シューパネ(1)、ネジ(4))(131ページ)



レンズマウントキャップ(1)(136ページ)

レンズ後部キャップ(1)(136ページ)

ワイヤレスリモコン(RMT-831)(1)(137ページ)

ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

A/V接続ケーブル(1)(63、93ページ)

コンポーネントビデオケーブル(1)(58ページ)

接続コード(DK-415)(1)(18ページ)

フランジバック調整用チャート(1)(11ページ)

CD-ROM 「Manuals for Digital HD Video Camera Recorder」(1)

取扱説明書 <本書>(1)

保証書(1)

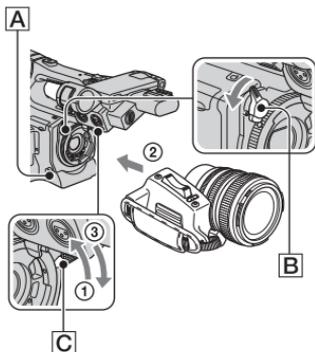
ソニー業務用商品相談窓口のご案内(1)

準備2:付属品を取り付ける

レンズを取り付ける

レンズの着脱はカメラ本体の電源をOFFにしてから行ってください。

付属以外のレンズの取り扱いについては、レンズの取扱説明書もあわせてご覧ください。



Carl Zeissレンズを取り付ける

- ① レンズ固定レバー[C]を押し上げて、レンズマウントからレンズまたはレンズマウントキャップをはずす。
- ② レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターピンを合わせ、レンズをマウントに差し込む。
- ③ レンズを支えながら、レンズ固定レバー[C]を押し下げてレンズを固定する。

⚡ ご注意

- レンズがしっかり固定されていないと、本機の使用中にレンズがはずれて、大きな事故につながる可能性があります。レンズが固定されているか十分に確認してください。図のように、レンズマウントゆるみ止めつまみ[B]でとめて使用することをおすすめします。

Carl Zeissレンズ以外のレンズを取り付ける

- ① レンズ固定レバー[C]を押し上げて、レンズマウントからレンズまたはレンズマウントキャップをはずす。
- ② レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターピンを合わせ、レンズをマウントに差し込む。
- ③ レンズを支えながら、レンズ固定レバー[C]を押し下げてレンズを固定する。
- ④ レンズケーブルをLENS端子[A]に接続する。

⚡ ご注意

- 本機から供給できるレンズ電源容量は500mAまでです。

500mAを超える電源供給を必要とする交換レンズは装着しないでください。故障の原因となります。

- レンズが固定される位置までレンズ固定レバー[C]を押し下げないと、LENS端子[A]へは電源が供給されません。

- 取り付けるレンズにより、下記のアダプターを使用してください。

- 1/3型パヨネットマウントのレンズ
本機にそのまま取り付けられます。
- 2/3型パヨネットマウントのレンズ
フジノン製ACM-17を使用してください。
焦点距離は約2倍になります。
- 1/2型パヨネットマウントのレンズ
フジノン製ACM-12を使用してください。
焦点距離は約1.3倍になります。
- ソニー1/2型パヨネットマウントレンズ
フジノン製ACM-19を使用してください。
焦点距離は約1.3倍になります。

取り付けるレンズの性能を保証するものではありません。

- Carl Zeissレンズ以外のレンズを取り付けた場合、下記の機能は使えません。メニューの設定ができる場合でも、設定は無効となります。

レンズケーブル(12Pin)のあるレンズの場合

AF ASSIST

ASSIGN BTN

レンズケーブル(12Pin)のあるレンズの場合

CAMERA
ASSIGN #
FOCUS
FOCUS INFNTY
FOCUS MACRO
ONE PUSH AF
ASSIGN BTN
LENS
L1
L2
FLANGE BACK
FOCUS DISP
FOCUS MACRO
HANDLE ZOOM
SHOT TRANSITION
STEADYSHOT
S.TRANS/F.MARK
ZOOM DISPLAY*
エクステンダー表示**

#はASSIGNボタンの数字を表します。

*ズーム表示に対応していないレンズの場合は、ズーム位置は画面に表示されません。

**本機では、レンズのエクステンダー機能を使用しているとき、画面に使用中であることを示す表示は出ません。

レンズケーブル(12Pin)のないレンズの場合

AF ASSIST
ASSIGN BTN
CAMERA
ASSIGN #
FOCUS
FOCUS INFNTY
FOCUS MACRO
ONE PUSH AF
ASSIGN BTN
LENS
L1

レンズケーブル(12Pin)のないレンズの場合

L2
RET
AT IRIS LMT
CAM DATA DSP (アイリス表示)
FLANGE BACK
FOCUS DISP
FOCUS MACRO
HANDLE ZOOM
SHOT TRANSITION
STEADYSHOT
S.TRANS/F.MARK
ZOOM DISPLAY

#はASSIGNボタンの数字を表します。

- レンズがしっかり固定されていないと、本機の使用中にレンズがはずれて、大きな事故につながる場合があります。レンズが固定されているか十分に確認してください。図のように、レンズマウントゆるみ止めつまみ B でとめて使用することをおすすめします。
- LENSケーブルのないレンズを取り付けて録画をするときは、ハンドル部にあるREC START/STOPボタン、またはリモコンのSTART/STOPボタンをご使用ください。

👉ちよっと一言

- カールツァイスレンズ以外のレンズを使用するときは、アイリスをクローズした状態で、撮影前にブラックバランスを調整することをおすすめします(35ページ)。

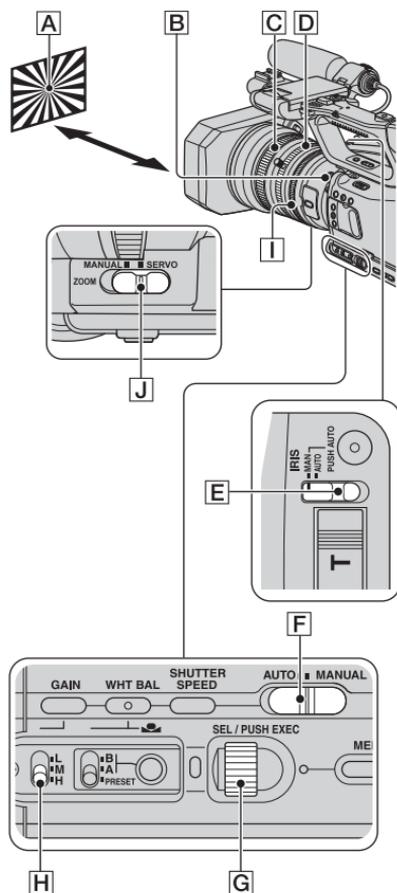
フランジバックを調整する(カールツァイスレンズの場合)

フランジバック(レンズ取り付け面から結像面までの距離)はレンズを交換したときに調整します。

👉ちよっと一言

本機は、カールツァイスレンズ(VCL-412BWH/VCL-308BWH)10本分のフランジバックデータを記憶できます。フランジバック調整をしたことのあるカールツァイスレンズでも、異なるレンズを10本以上調整した後に再び取り付けるときは、フランジバック調整を行ってください。

準備2:付属品を取り付ける(つづき)



自動調整するとき

- ① AUTO/MANUALスイッチ[F]を「MANUAL」にする。
- ② IRISスイッチ[E]を「MAN」にする。
- ③ ゲインスイッチ[H]でゲインを0dBに設定する。
お買い上げ時の設定の場合は「L」に合わせてください。
GAINボタンを押してマニュアルモードにしてください。

- ④ シャッタースピードを自動調節にする(33ページ)。
- ⑤ アイリスリング[I]を回し、開放にする。
- ⑥ フランジバック調整用チャート[A]を、2～3m程度離れた場所に置き、適当な明るさになるように、照明またはNDフィルター[B]を調節する。
- ⑦ ZOOMスイッチ[J]を「SERVO」にする。
- ⑧ (CAMERA SET)メニューの「FLANGE BACK」で、「AUTO ADJUST」を選ぶ(74ページ)。
- ⑨ SEL/PUSH EXECダイヤル[G]で「YES」を選び、押して決定する。

フランジバック調整が始まり、[EXECUTING]と画面に表示されます。調整が終わると、[Completed.]と画面に表示されます。調整に失敗した場合は、[Could not adjust.]と画面に表示されます。再度、調整を行ってください。

手動調整するとき

- ① 「自動調整するとき」の手順①～⑥を行う。
- ② ZOOMスイッチ[J]を「MANUAL」にする。
- ③ (CAMERA SET)メニューの「FLANGE BACK」で、「MANU ADJUST」を選ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXECダイヤル[G]で「YES」を選び、押して決定する。
- ⑤ ズームリング[D]を回して、望遠端の位置にする。
- ⑥ フォーカスリング[C]を回してピントを合わせ、SEL/PUSH EXECダイヤル[G]を押す。
- ⑦ ズームリング[D]を回して、広角端の位置にする。
- ⑧ フォーカスリング[C]を回してピントを合わせ、SEL/PUSH EXECダイヤル[G]を押す。

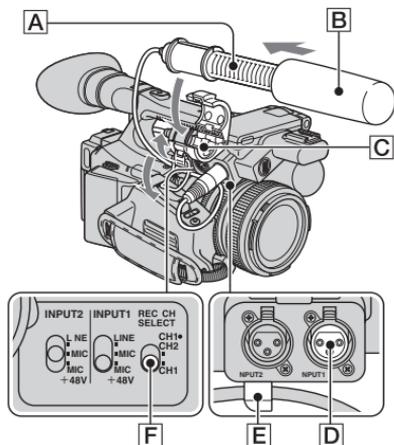
調整が終わると、[Completed.]と画面に表示されます。

調整に失敗した場合は、[Could not adjust.]と画面に表示されます。再度、調整を行ってください。

🗨️ ちょっと一言

- フランジバックを調整する前に以下の操作を行っておくと、ピントが合っているか確認しやすくなります。
 -  (DISPLAY SET)メニューの [PEAKING]を[ON]にする(78ページ)。
 - [EXP.FOCUS]が割り当てられたASSIGNボタンを押す(お買い上げ時はL2ボタン)(45ページ)。
- 調整に失敗した場合は、下記の確認をしてください。
 - 画面内に高輝度被写体が入っていないですか。
 - NDフィルターの位置は中途半端な位置になっていませんか。

マイクを取り付ける



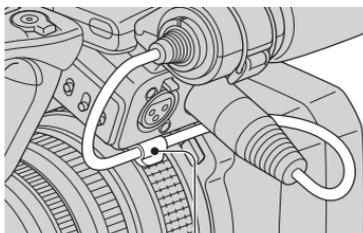
1 付属のマイク **A** にウインドスクリーン **B** をかぶせる。

2 マイク **A** を、型名が上になるようにマイクホルダー **C** に取り付ける。

3 マイクケーブルをINPUT1端子 **D** につなぐ。

マイクケーブル端子は、確実にロックする位置まで挿入してください。

4 図のように、マイクケーブルをケーブルホルダー **E** に取り付ける。



外側のホルダーに取り付ける。

5 REC CH SELECTスイッチ **F** で、使用するチャンネルを選ぶ。

記録されるチャンネルについては下表をご覧ください。

REC CH SELECT スイッチの設定	接続する端子	記録されるチャンネル
CH1・CH2	INPUT1	チャンネル1
	INPUT2	チャンネル2
CH1	INPUT1	チャンネル1
	INPUT2	チャンネル2

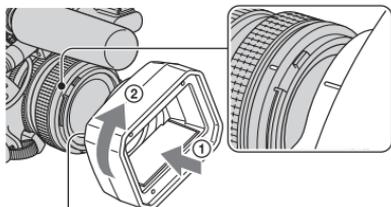
🗨️ ちょっと一言

- マイク音量調節は44ページをご覧ください。
- 付属マイクを使用するときは、INPUT1/INPUT2スイッチを「MIC+48V」にしてください。

準備2: 付属品を取り付ける(つづき)

- INPUT1/INPUT2端子に付属マイクなどの+48V電源対応機器を接続するときは、INPUT1/INPUT2スイッチを「MIC」にしてから接続してください。機器をはずすときも、「MIC」にしてからはずしてください。

レンズカバー付きフードを取り付ける



PUSH(レンズフード取りはずし)ボタン

本体とフードの印を合わせて、矢印②の方向に回す。

レンズカバー付きフードを取りはずすには

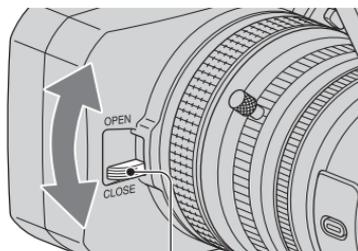
PUSH(レンズフード取りはずし)ボタンを押しながら、取り付けた方向と反対方向に回す。

ちょっと一言

- 直径72ミリの偏光フィルターや保護フィルターを取り付けたり取りはずしたりするときは、レンズカバー付きフードを取りはずしてください。

レンズカバーを開閉するには

開閉するにはレンズカバーレバーを上下に動かす。



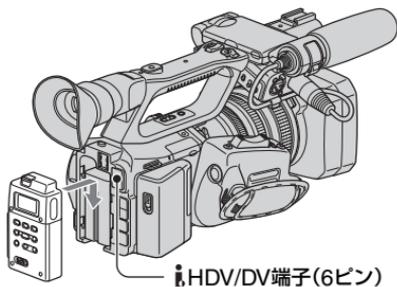
レンズカバーを開けるときはレンズカバーレバーを「OPEN」に、閉じるときは「CLOSE」に動かす。

メモリーレコーディングユニットを取り付ける

メモリーレコーディングユニットにコンパクトフラッシュを挿入し、図のようにメモリーレコーディングユニットを本体に取り付けてください。

メモリーレコーディングユニットを取り付ける前に、本機のHDV/DV端子カバーを閉めてください。

詳しくはメモリーレコーディングユニットの取扱説明書(CD-ROMマニュアル)をご覧ください。



④ ご注意

- メモリーレコーディングユニットを取り付けると、本機のi.LINK端子は使用できなくなります。
- コンパクトフラッシュはソニー製コンパクトフラッシュのご使用を推奨します。

ソニー製以外のコンパクトフラッシュを使うとき

ソニー製以外のコンパクトフラッシュをご使用になると、製品によってまれにデータが正しく記録されない場合があります。推奨品以外のコンパクトフラッシュをお使いになる際は、以下の方法で事前にテストを行うことをおすすめします。

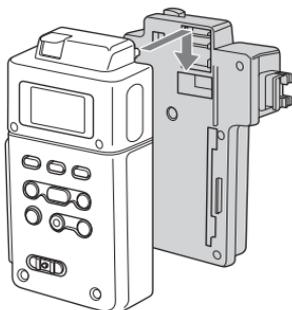
- ① コンパクトフラッシュをメモリーレコーディングユニットでフォーマットする。
- ② HDV 記録モードで 10 秒程度のクリップを 20 クリップ以上録画する。
- ③ ノンリニア編集ソフトウェアをお持ちの場合、お使いのノンリニア編集ソフトウェアにファイルを取り込み、正しく編集できるか確認する。

メモリーレコーディングユニットを取りはずすには

RELEASEレバーを押しながら、メモリーレコーディングユニットを取りはずす。

メモリーレコーディングユニットをi.LINKクレードルに取り付けるには

図のように、メモリーレコーディングユニットをi.LINKクレードルに取り付ける。



メモリーレコーディングユニットをi.LINKクレードルから取りはずすにはRELEASEレバーを押しながら、メモリーレコーディングユニットを取りはずす。

☝ ちょっと一言

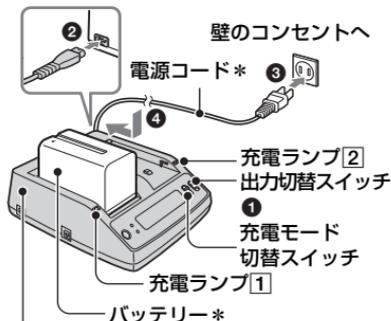
- i.LINKクレードルについて詳しくは、付属のCD-ROM収録のHVR-MRC1の取扱説明書をご覧ください。

準備 3: バッテリーを充電する

別売りのアクセサリキットの取扱説明書もあわせてご覧ください。
専用の“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)をACアダプター/チャージャーに取り付けて充電します。

❗ ご注意

- “インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)(119ページ)以外のバッテリーは使えません。



ACアダプター/チャージャー
AC-VQ1051D*

*別売りのACCKIT-D12Bに付属

1 出力切替スイッチをCHARGEに、充電モード切替スイッチを「NORMAL CHARGE」(実用充電)または「FULL CHARGE」(満充電)にする。

2 電源コードをACアダプター/チャージャーにつなぐ。

3 電源コードをコンセントにつなぐ。

4 バッテリーを押しながら、矢印の方向にずらして取り付ける。

充電ランプが点灯し、充電が始まります。

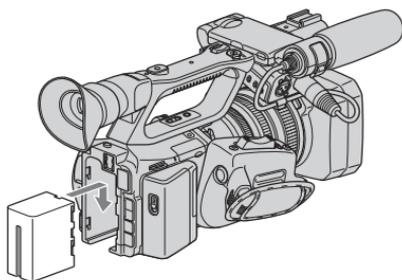
充電について

充電モード切替スイッチを「NORMAL CHARGE」にすると実用充電まで、「FULL CHARGE」にすると若干長く使える満充電まで充電します。充電が終わると表示窓のバッテリーマーク(🔋)がすべて点灯します。

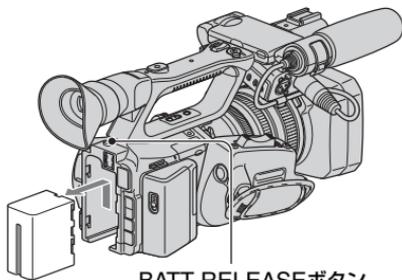
💡 ちょっと一言

- バッテリーインフォでバッテリー残量を確認できます(56ページ)。

本機にバッテリーを取り付けるにはバッテリーを押しながら、下にずらして取り付ける。



バッテリーを取りはずすにはPOWERスイッチを「OFF」にする。BATT RELEASEボタンを押しながら、バッテリーを取りはずす。



BATT RELEASEボタン

保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管してください。(保管について詳しくは119ページをご覧ください。)

充電時間

ACアダプター/チャージャーの取扱説明書を参照してください。

撮影可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

ⓘ ご注意

- NP-F330はご使用できません。

HDV規格で撮影したとき

バッテリー-型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-F570	125	70
	125	70
NP-F770	260	145
	260	145
NP-F970	390	220
	390	220

DVCAM(DV) 規格で撮影したとき

バッテリー-型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-F570	130	75
	130	75
NP-F770	270	155
	275	155
NP-F970	400	235
	410	235

上段:液晶画面バックライトが「ON」のとき

下段:液晶画面を閉じてファインダーを使用したとき

* 実撮影時とは、録画スタンバイ、POWERスイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

再生可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

HDV規格の画像を再生したとき

バッテリー-型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-F570	175	180
NP-F770	360	375
NP-F970	545	570

DVCAM(DV) 規格の画像を再生したとき

バッテリー-型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-F570	180	190
NP-F770	375	390
NP-F970	570	595

* 液晶画面バックライトが「ON」のとき

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、POWERスイッチを「OFF」にしてから行ってください。
- 次のとき、バッテリーインフォ(56ページ)が正しく表示されないことがあります。
 - バッテリーを正しく取り付けていないとき
 - バッテリーが故障しているとき
 - バッテリーが劣化しているとき
(バッテリーインフォ表示のみ)
 - バッテリーの温度が低いとき
バッテリーをはずして暖かいところに置いてください。
 - バッテリーの温度が高いとき
バッテリーをはずして涼しいところに置いてください。
- メモリーレコーディングユニットやビデオライト(別売り)を取り付けたときは、バッテリーNP-F970のご使用をおすすめします。

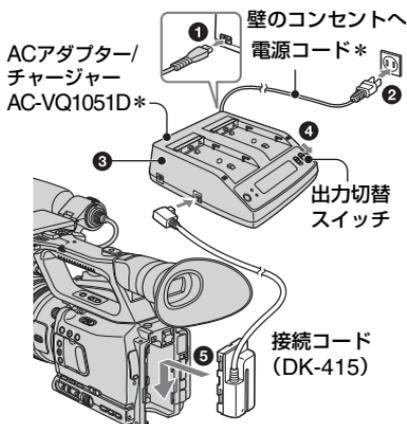
充電/撮影/再生時間について

- 25°C(10°C~30°Cが推奨)で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

準備3:バッテリーを充電する(つづき)

コンセントにつないで使うには

バッテリーが切れることを心配しないで使えます。



*別売りのACCKIT-D12Bに付属

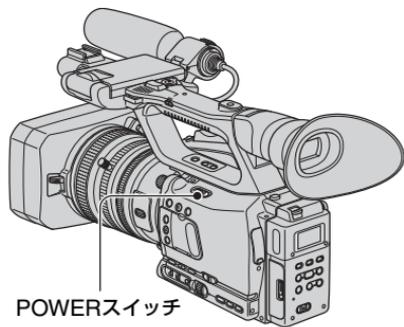
- ① 電源コードをACアダプター/チャージャーにつなぐ。
- ② 電源コードをコンセントにつなぐ。
- ③ 接続コード(DK-415)をACアダプター/チャージャーにつなぐ。
- ④ ACアダプター/チャージャーの出力切替スイッチを「VCR/CAMERA」側にする。
- ⑤ 接続コード(DK-415)の取り付け部を、本機のバッテリー取り付け部に押しながら、下にずらして取り付ける。

ACアダプター/チャージャーについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

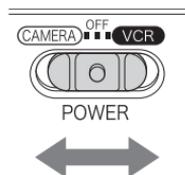
準備 4:電源を入れて正しく持つ

撮影や再生時は、POWERスイッチをそれぞれの電源モードに切り換えます。初めて電源を入れると自動的に[CLOCK SET]画面になります(22ページ)。



POWERスイッチ

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを切り換える。



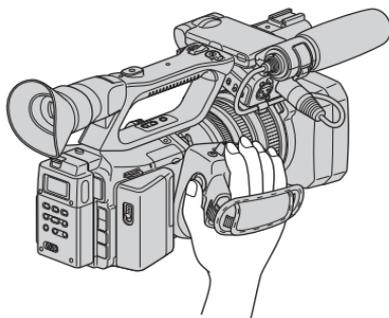
押しながら矢印の方向へずらす。

[CAMERA]:撮影時
[VCR]:再生や編集時

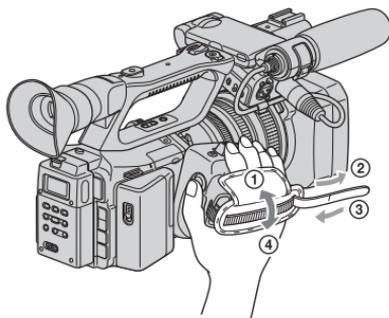
⚠ ご注意

- [CLOCK SET] (22ページ)を行った後で本機の電源を入れると、液晶画面に現在の日時が数秒間表示されます。

2 本機を正しく構える。



3 ベルトをしっかりと締める。



電源を切るには

緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「OFF」にする。

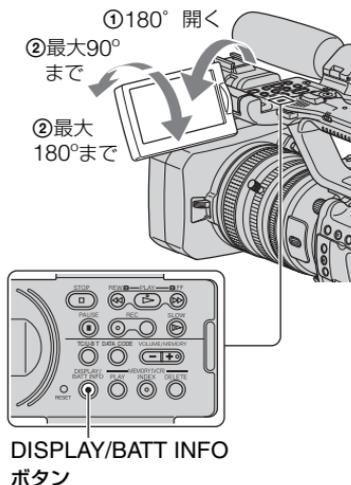
⚠ ご注意

- お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

準備 5:液晶画面とファインダーを調節する

液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を180°に開ききった状態(①)で、見やすい角度に調節する(②)。



💡ちょっと一言

- 対面撮影にも活用できます。液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

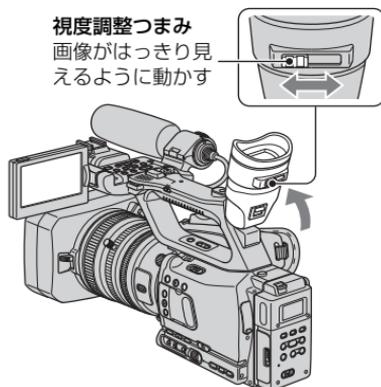
液晶画面バックライトを消してバッテリーを長持ちさせるには

DISPLAY/BATT INFOボタンを OFF が表示されるまで数秒間押したままにする。明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせるときに効果的です。録画される画像には影響ありません。解除するにはもう一度 OFF が消えるまで押したままにする。

💡ちょっと一言

- 液晶画面の明るさは、[LCD BRIGHT] (80ページ)で調節できます。

ファインダーを見やすく調節する



📌ご注意

- ビューファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがありますが、故障ではありません。また、原色が実際に記録メディアに記録されることはありません。

💡ちょっと一言

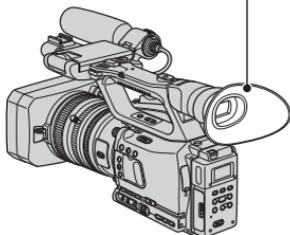
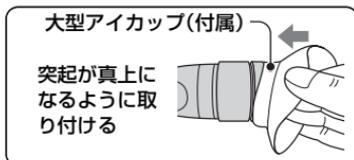
- ファインダーのバックライトの明るさは、メニューの[V.F. LIGHT]で設定できます(80ページ)。
- 液晶画面とファインダーの両方に画像を映すには、[VF POWERMODE]を[ON]にします(80ページ)。
- ファインダーの画像を白黒にするには、[VF COLOR]を[OFF]にします(80ページ)。
- 全画面表示対応のLCD/パネルを搭載しているため、画面下部に、横筋など、画面の乱れが生じることがありますが、コンパクトフラッシュやテープに記録される画像には影響ありません。

ファインダーの画像が見えにくいときは

周囲が明るすぎるなど、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。大型アイカップを少し伸ばし、本体に装着されているアイカップの溝に合わせて大型アイカップを取り付けます。大型アイカップは左右のどちらの向きでも取り付けることができます。

🔔 ご注意

- 本体にあらかじめ装着されているアイカップは取りはずさないでください。

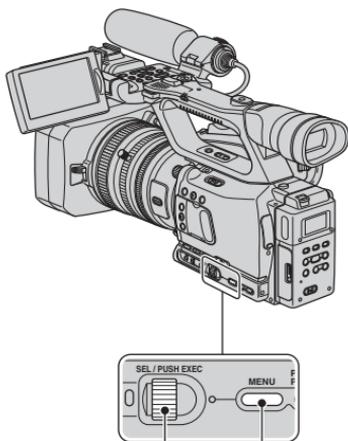


準備 6: 日付時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、POWERスイッチを切り換えるたびに[CLOCK SET]画面が表示されます。

🔊ちょっと一言

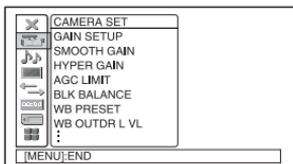
- 3か月近く使わないでよくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください(123ページ)。



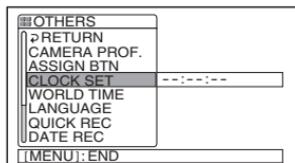
SEL/PUSH EXEC MENUボタン
ダイヤル

初めて時計を合わせるときは、手順4から操作してください。

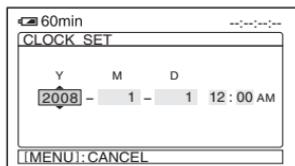
1 MENUボタンを押す。



2 SEL/PUSH EXEC ダイアルを回して [OTHERS] (OTHERS) メニューを選び、押して決定する。

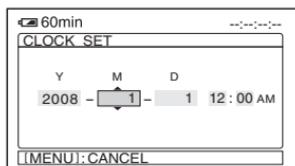


3 SEL/PUSH EXEC ダイアルを回して [CLOCK SET] を選び、押して決定する。



4 SEL/PUSH EXEC ダイアルを回して [Y] を選び、押して決定する。

2079年まで設定できます。



5 同様に、[M]、[D]、時、分を合わせ、SEL/PUSH EXEC ダイアルを押して決定する。

時計が動き始めます。

真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

🗨️ ちよつと一言

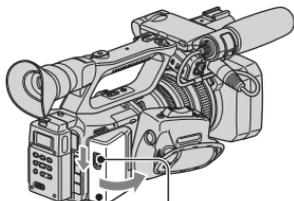
- 日付時刻は自動的にテープに記録され、再生時に表示させることができます (DATA CODE ボタン、55ページ)。

準備7:カセットや“メモリースティック デュオ”を入れる

カセットを入れる

使えるカセットや誤消去防止方法など、カセットについて詳しくは、114ページをご覧ください。

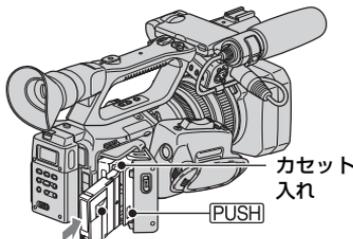
- 1 OPEN/EJECTつまみを矢印の方向にずらしたまま、カセットカバーを開ける。



カセットカバー
OPEN/EJECTつまみ

カセット入れが自動的に出て開きます。

- 2 テープ窓を外側にして、カセットを入れ、PUSH マークを押す。



背の中央を軽く押す
テープ窓

カセット入れが自動的に収納されます。

❶ ご注意

- カセット入れが引き込まれているときに [DO NOT PUSH] の刻印部分をpushしないでください。無理に押し込むと故障の原因になります。

3 カセットカバーを手で閉める。

👉ちよっと一言

- [DV REC MODE]によって、録画可能時間は異なります(83ページ)。**DVCAM DV 並**

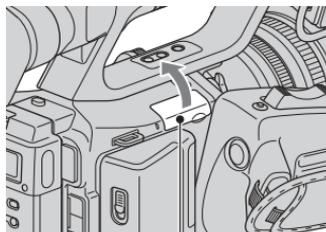
カセットを取り出すには

手順1と同じ操作でカセットカバーを開けて、カセットを取り出す。

“メモリースティック デュオ”を入れる

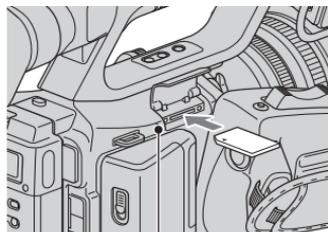
MEMORY STICK DUO、MEMORY STICK PRO DUO、MEMORY STICK PRO-HG DUO マーク付き“メモリースティック デュオ”のみ使えます(117ページ)。

- 1 “メモリースティック デュオ”スロットカバーを開ける。



“メモリースティック デュオ”スロットカバー

2 “メモリースティック デュオ”を正しい向きに、「カチッ」というまで押し込む。



アクセスランプ

⚠️ ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、“メモリースティック デュオ”や“メモリースティック デュオ”スロット、画像データが破損することがあります。

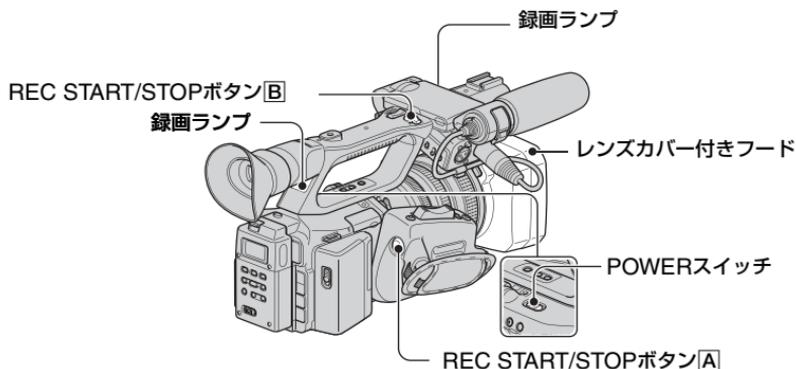
“メモリースティック デュオ”を取り出すには

“メモリースティック デュオ”を軽く1回押して取り出す。

⚠️ ご注意

- アクセスランプの点灯中や点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“メモリースティック デュオ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 出し入れ時には“メモリースティック デュオ”の飛び出しにご注意ください。

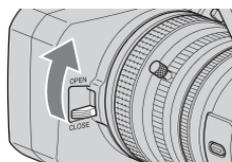
撮る



本機は動画をテープに、静止画を“メモリスティック デュオ”に記録します。下記の手順で動画を撮影します。

- 動画はHDV、DVCAM、DVいずれの録画フォーマットでも記録できます。お買い上げ時はHDV規格で撮影するように設定されています ([REC FORMAT], 81ページ)。

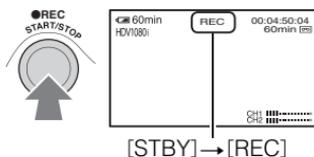
1 レンズカバー付きフードのシャッターを開ける。



2 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「CAMERA」にする。



3 REC START/STOPボタン[A] (または[B])を押して撮影を始める。



撮影中は録画ランプが点灯します。

動画撮影を止めるには、REC START/STOPボタンをもう一度押す。

👁️ちよつと一言

- HDV規格撮影時は、画像の横縦比は16:9に固定されます。DVCAM(DV)規格で録画するときは、4:3に切り替えることもできます([DV WIDE REC](83ページ))。
- 撮影中の画面表示の切り替えについては55ページをご覧ください。
- 撮影中の画面表示については138ページをご覧ください。
- 録画ランプが点灯しないように設定できます([REC LAMP[F]], [REC LAMP[R]], 91ページ)。
- “メモリースティック デュオ”に動画録画はできません。
- ローアングルで撮るときは、ハンドル部のREC START/STOPボタンを使うと便利です。HOLDレバーを解除してから、操作してください。液晶画面を上に向ける、または液晶画面を下に向けてから閉じる、あるいはビューファインダーを上げて撮影することをおすすめします。

静止画を撮るには

- ① ASSIGNボタンに[PHOTO]を割り当てる。
- ② [PHOTO]を割り当てたASSIGNボタン、またはリモコンのPHOTOボタンを押す。
“メモリースティック デュオ”に静止画が記録されます。■■■■■が消えると記録が完了します。
動画撮影中も静止画撮影できます。

👁️ご注意

- 以下のときは、静止画記録できません。
 - シャッタースピードが1/60以下のとき
 - フェーダー中
 - なめらかスロー録画中
 - ショットトランジション確認、実行中
 - [SCAN TYPE]が[24]、[24A]、[30]に設定されているとき(82ページ)

👁️ちよつと一言

- 撮影中の画面については138ページをご覧ください。

“メモリースティック デュオ”の容量(MB)と撮影可能枚数(枚)

	1.2M 1440× 810	0.9M 1080× 810	VGA 640× 480	0.2M 640× 360
256MB	370	500	1400	1750
512MB	760	1000	2850	3600
1GB	1550	2100	5900	7300
2GB	3150	4300	12000	15000
4GB	6300	8500	23500	29500
8GB	12500	17000	48000	60000

👁️ご注意

- ソニー製“メモリースティック デュオ”使用时。枚数は撮影環境や“メモリースティック”の種類によって異なる場合があります。

👁️ちよつと一言

- 静止画の画像サイズは以下のとおりです。
 - HDV規格/DVCAM(DV)規格(16:9)撮影時:1.2M
 - DVCAM(DV)規格(4:3)撮影時:0.9M
 - HDV規格再生時:1.2M
 - DVCAM(DV)規格(16:9)再生時:0.2M
 - DVCAM(DV)規格(4:3)再生時:VGA

テープに録画した動画を“メモリースティック デュオ”に静止画として記録するには

静止画を“メモリースティック デュオ”に記録できます。あらかじめ録画済みのテープと“メモリースティック デュオ”を入れておいてください。また、[PHOTO]をASSIGNボタンに割り当ててください(45ページ)。

- ① POWERスイッチを[VCR]にする。
- ② 場面を探して、取り込む。
 - ▶ (再生)を押してテープを再生し、取り込む場面で[PHOTO]を割り当てたASSIGNボタン、またはリモコンのPHOTOボタンを押す。

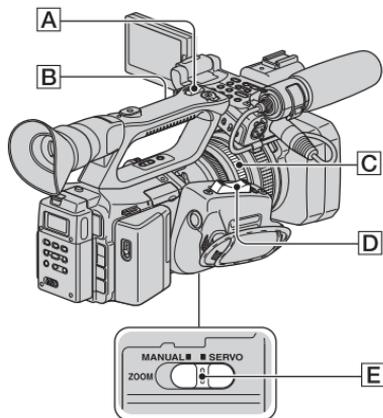
「撮る」(つづき)

📌 ご注意

- テープに記録した日時と“メモリースティック”に記録した日時の両方が記録されます。本機で再生したときの日時表示はテープに記録したときの日時が表示されます(データコード、55ページ)。
- テープに記録されているカメラデータは、記録されません。
- [PB ZOOM]を使用中は、記録できません(91ページ)。

思い通りの設定で撮る

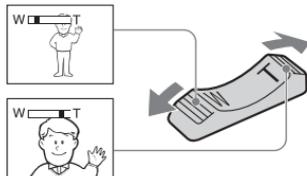
ズームする



ズームレバーを使うには

ZOOMスイッチ[E]を「SERVO」にする。
ズームレバー[D]を軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

広角:Wide(ワイド)



望遠:Telephoto(テレフォト)

👁️ちょっと一言

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 被写体との距離が80cm以内の被写体は、ズーム位置によってはピントが合わないことがあります。
- [FOCUS MACRO]が[OFF]のとき、およびフォーカスリングがモードA(30ページ)のときは、ズーム位置によらず、80cm以内の被写体にはピントが合いません(71ページ)。
- ズームレバー[D]から指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバー[D]の操作音が記録されることがあります。

ハンドルズームを使うには

- ① ZOOMスイッチ[E]を「SERVO」にする。
- ② ハンドルズームスイッチ[B]を「VAR」または「FIX」にする。

👁️ちょっと一言

- 「VAR」にすると押し具合によってズームスピードが変化します。
- 「FIX」にすると押し具合に関わらず固定スピードで動きます(スピードはメニューで設定します。[HANDLE ZOOM]、71ページ)。

- ③ ハンドルズームレバー[A]を押してズームする。

🔔ご注意

- ハンドルズームスイッチ[B]が「OFF」になっていると、ハンドルズームは使えません。
- ハンドルズームスイッチ[B]で本体のズームレバー[D]の速さを変えることはできません。

ズームリングを使うには

ズームリング[C]を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。

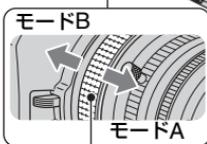
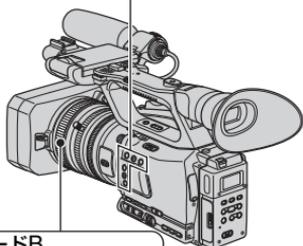
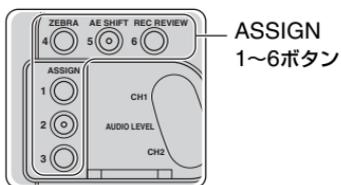
- ① ZOOMスイッチ[E]を「MANUAL」にする。
- ② ズームリング[C]を回してズームする。

👁️ちょっと一言

- ズームピンは、はずすことができます。

思い通りの設定で撮る(つづき)

ピントを手動調節する

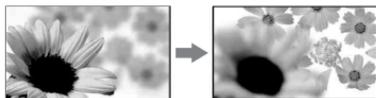


フォーカスリング

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

以下のようなときに使います。

- 水滴の付いた窓の向こうの被写体
- 横じまの多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき



- 三脚で撮影する静止した被写体

モードAで手動調節するには

オートフォーカスを使用しないときは、フォーカスリングをモードAの位置にセットします。レンズのフォーカス目盛りでピントを調節してください。

❗ご注意

- フォーカスリングを回すときは、両端に強く当てないでください。フォーカスリングがモードB側に動いて異音を発しながら回転する場合があります。

モードBで手動調節するには

手動調節中にピントの自動調節機能を併用したいときには、フォーカスリングをモードBの位置にセットします。

- ① ASSIGNボタンに[FOCUS]を割り当てる(45ページ)。
- ② [FOCUS]を割り当てたASSIGNボタンを押す。
☑が表示されます。
- ③ フォーカスリングを回し、ピントが合うように調節する。
☑は、ピントをそれ以上速くに合わせられないとき▲に変わり、それ以上近くに合わせられないとき■に変わります。

🗨ちょっと一言

ピント合わせのコツ

- 始めにズームをT側(望遠)でピントを合わせてから、W側(広角)に戻していきます。
- 接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。

自動調節に戻すには

[FOCUS]を割り当てたASSIGNボタンをもう一度押す。

☑が消え自動調節に戻ります。

🗨ちょっと一言

- オートフォーカスを使って撮影する場合や、手動でピントを調節しながらワンタッチオートフォーカスなどの自動調節機能を使いたい場合は、フォーカスリングをモードBにします。

モードAでは、オートフォーカスを使った操作はできません。

一時的にオートフォーカスで撮る (ワンプッシュオートフォーカス)

モードBでのみ有効です。

あらかじめ「モードBで手動調節するには」の手順①、②を行ってください。

- ① ASSIGNボタンに[ONE PUSH AF]を割り当てる(45ページ)。
- ② [ONE PUSH AF]を割り当てたASSIGNボタンを押したまま撮影する。
押している間はオートフォーカスになります(☑が消えます)。

🗨️ちよっと一言

- フォーカスリングをモードAの状態でも回しているときは、フォーカス距離情報が常に表示されます。
モードBのときは、以下のときにフォーカス距離情報を約3秒間表示します。
 - [FOCUS]が割り当てられたASSIGNボタンを押して☑を表示したとき
 - ☑表示中にフォーカスリングを回したとき

フォーカス距離情報は、カールツァイスレンズ以外のレンズをご使用のときは表示されません。

拡大表示をしてピントを合わせる (拡大フォーカス)

スタンバイ中に[EXP.FOCUS]を割り当てたASSIGNボタンを押す。
[EXPANDED FOCUS]が表示され、画面中央が約2.0倍に拡大されます。ピントが合っているかを確認するときに便利です。もう一度押すと元に戻ります。

🗨️ご注意

- [EXT REC CTRL]→[REC CTRL MODE]が[OFF]に設定されていないと、拡大フォーカスは動きません(84ページ)。
-  (IN/OUT REC)メニュー→[HDV PROGRE.]または[DV PROGRE]の[SCAN TYPE]が[24]、[24A]、[30]のいずれかに設

定されているときは、拡大フォーカス時に画面中央が約1.5倍に拡大されます。

- 拡大表示中に録画をスタートすると、拡大表示は解除されます。

🗨️ちよっと一言

- 拡大フォーカス時の画像タイプを選択できません([EXP.FOCUS TYPE]、79ページ)。

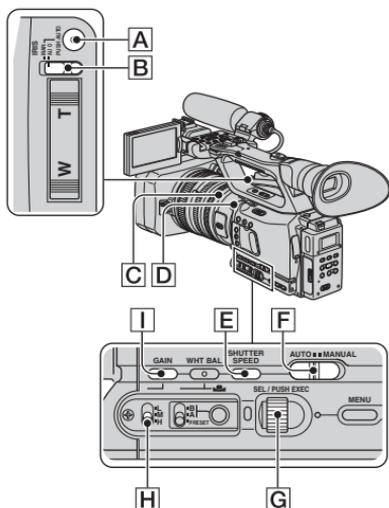
遠くの被写体にピントを合わせる (フォーカス無限)

🗨️ご注意

- フォーカスリングがモードBにセットされているときに有効です。ピントを自動調節しているときは動きません。

- ① ASSIGNボタンに[FOCUS INFNTY]を設定する(45ページ)。
- ② [FOCUS INFNTY]を割り当てたASSIGNボタンを押す。
▲が表示されます。
指を離すと手動ピント合わせに戻ります。遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントが合ってしまうときに使います。

明るさを調節する



アイリスを調節する

レンズに入る光量をF 1.6～F 11、クローズの範囲で調節できます。絞りを開く(アイリス値を小さくする)と光量が増えます。絞りを閉じる(アイリス値を大きくする)と、光量が減ります。

画面にアイリス値が表示されます。

- ① 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチ[F]を「MANUAL」にする。
- ② IRISスイッチ[B]を「MAN」にする。
- ③ アイリスリング[C]を回して調節する。PUSH AUTOボタン[A]を押している間は、自動でアイリスが調節されます。

👉ちょっと一言

- アイリス値をF2.0よりも絞りを開いた(アイリス値が小さい)値(例:F1.6)に設定してもズームがW→TになるにつれてアイリスはF2.0に変化します。
- 絞りの重要な効果であるピントの合う範囲のことを「被写界深度」といいます。被写界深度は

絞りを開けると浅く(ピントの合う範囲が狭く)なり、絞りを閉じると深く(ピントの合う範囲が広く)なります。撮影の意図によって絞りの効果を上手に使い分けてください。

- 背景をぼけさせたり、くっきりさせたりしたいときに便利です。

自動調節にするには

IRISスイッチ[B]を「AUTO」にする。または、AUTO/MANUALスイッチ[F]を「AUTO」にする。

👉ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ[F]を「AUTO」にすると、他の手動調節(ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランス)も解除されます。

光量を調節する(NDフィルター)

撮影状況が明るすぎるときは、NDフィルター[D]を使うと被写体を鮮明に撮影できます。光量を削減しないで撮影するときには、NDフィルター1を使用します。

NDフィルター2は光量を約1/4に、NDフィルター3は約1/16に、NDフィルター4は約1/64にそれぞれ削減するように設定されています。

アイリスを自動調節している時にNDの表示が点滅したら、点滅しているNDフィルター位置にあわせてください(手動調節時は点滅しません)。

👉ご注意

- 撮影中にNDフィルター[D]を切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。
- NDフィルターの位置(1/2/3/4)を検出できないときは、画面上にNDアイコンが点滅します。NDフィルターが正しく設定されているか確認してください。

👉ちょっと一言

- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じピントが甘くなることがあります(ビデオカメラでは一般的に起こる現象です)。NDフィルター[D]を使うと、この

現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

ゲインを調節する

AGC(オートゲインコントロール)によるゲインアップを行いたくないときなどに使います。

- ① 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUAL スイッチ **[F]** を「MANUAL」にする。
- ② ゲインスイッチ **[H]** で H/M/L を選択する。設定されたゲイン値が表示されます。H/M/L の値は、 (CAMERA SET) メニューの [GAIN SETUP] でそれぞれ設定します (68 ページ)。

自動調節にするには

GAIN ボタン **[I]** を押す。または、AUTO/MANUAL スイッチ **[F]** を「AUTO」にする。

●ご注意

- AUTO/MANUAL スイッチ **[F]** を「AUTO」にすると、他の手動調節(アイリス、シャッタースピード、ホワイトバランス)も解除されます。

シャッタースピードを調節する

シャッタースピードを自由に調節し、固定できます。被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調して撮影するときに便利です。

- ① 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUAL スイッチ **[F]** を「MANUAL」にする。
- ② SHUTTER SPEED ボタン **[E]** を押す。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[G]** を回して、シャッタースピードを調節する。1/4 秒～1/10000 秒、または拡張クリアスキャン (**[ECS]**) から選べます。シャッタースピードが画面に表示されます。例えば、1/100 秒のときは [100] と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。

- ④ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[G]** を押し、シャッタースピードを固定する。再度変更したい場合は、手順 ② から ④ を行います。

👉ちよつと一言

- 以下のときは、シャッタースピードを 1/4～1/10000 秒の範囲で設定できます。
 - [HDV PROGRE.]→[SCAN TYPE] が [24]、[24A] のとき
 - [DV PROGRE.]→[SCAN TYPE] が [24] のとき
- モニター画面を、水平方向の縞模様が出ないように走査したい場合、拡張クリアスキャン (**[ECS]**) を選びます。拡張クリアスキャンでのシャッタースピードは、 (CAMERA SET) メニューの [ECS FREQ.] で設定することができます (70 ページ)。

自動調節にするには

シャッタースピード固定状態から SHUTTER SPEED ボタン **[E]** を2回押す。または、AUTO/MANUAL スイッチ **[F]** を「AUTO」にする。

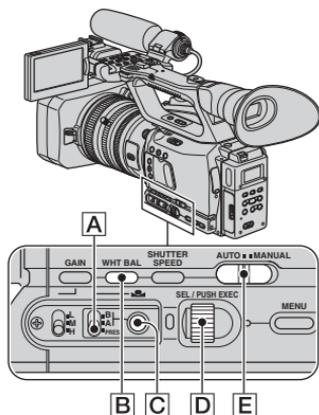
●ご注意

- AUTO/MANUAL スイッチ **[F]** を「AUTO」にすると、他の手動調節(アイリス、ゲイン、ホワイトバランス)も解除されます。

👉ちよつと一言

- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面が明滅したり(フリッカー現象)、色が変化したりすることがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/100、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。また、拡張クリアスキャン (**[ECS]**) で設定できるシャッタースピードによっても、フリッカー現象を防ぐことができます ([ECS FREQ.]、70 ページ)。

自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)



撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。A (☑️ A)、またはB (☑️ B)を選ぶと、ホワイトバランスの調整値をメモリーAとBに個別に記憶させることができます。調整値は、再調整しない限り電源を切っても保持されます。

1 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチ[E]を「MANUAL」にする。

2 WHT BALボタン[B]を押す。

3 ホワイトバランスメモリースイッチ[A]を、PRESET/A/Bのいずれかにセットする。

A/Bは、それぞれメモリーA/メモリーBに記憶させた調整値で撮影するときに設定します。PRESETを選ぶと、あらかじめ (CAMERA SET) メニュー

の[WB PRESET]で選んだ [OUTDOOR]、[INDOOR]、[MANU WB TEMP]のいずれかが設定されます。

表示	撮影状況例
<ul style="list-style-type: none"> ☑️ A (メモリーA) ☑️ B (メモリーB) 	<ul style="list-style-type: none"> メモリーA/Bそれぞれに、光源に合わせたホワイトバランスの調整値を記憶させることができます。「メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには」の手順に従ってください(35ページ)。
<ul style="list-style-type: none"> ☀️ 屋外 ([OUT DOOR]) 	<ul style="list-style-type: none"> 夜景やネオン、花火などを撮るとき 日の出、日没などを撮るとき 屋光色蛍光灯の下
<ul style="list-style-type: none"> 💡 屋内 ([INDOOR]) 	<ul style="list-style-type: none"> パーティー会場など照明条件が変化する場所 スタジオなどビデオライトの下 ナトリウムランプや水銀灯の下
<ul style="list-style-type: none"> 色温度設定 ([MANU WB TEMP]) 	<ul style="list-style-type: none"> 2300K~15000Kの範囲で、お好みの色温度を設定できます(お買い上げ時の色温度は、6500K)。

👉ちょっと一言

- ☀️ (屋外)に設定しているときに☑️ (ワンブッシュ)ボタン[C]を押してSEL/PUSH EXECダイヤル[D]を回すと、屋外のホワイトバランス値を変更できます。-7(青め)~0(標準、お買い上げ時の設定)~+7(赤め)から選べます。メニューで設定することもできます([WB OUTDR LVL]、68ページ)。
- ホワイトバランスメモリースイッチ[A]をPRESETにして、[WB PRESET]を[MANU WB TEMP]に設定しているときに☑️ (ワンブッシュ)ボタン[C]を押してSEL/PUSH EXECダイヤル[D]を回すと、色温度の値を変更できます。メニューで設定することもできます([WB TEMP SET]、68ページ)。

メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには

- ① 「自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)」の手順3でA(☺A)またはB(☺B)を選ぶ。
- ② 被写体と同じ照明条件のところで、白い紙などを画面いっぱい映す。
- ③ ☺ (one push) ☑ ボタンを押す。
☺Aまたは☺Bが早い点滅に変わる。
ホワイトバランスが調節されると、点滅から点灯に変わり、選んだ☺Aまたは☺B調整値が記憶されます。

自動調節に戻すには

WHT BALボタン[B]を押す。または、AUTO/MANUALスイッチ[E]を「AUTO」にする。

⚠️ ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ[E]を「AUTO」にすると、他の手動調節(アイリス、ゲイン、シャッタースピード)も解除されます。

ブラックバランスを調整する

通常、調整する必要はありません。撮影条件などにより黒の色ずれが気になる場合、ブラックバランスを調整してください。調整値は一時的に保持されますが、電源を入れなおすと、初期状態に戻ります。

1 スタンバイ中にMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルで (CAMERA SET)メニュー → [BLK BALANCE] を選ぶ。

3 SEL/PUSH EXECダイヤルで [YES] を選び、押して決定する。

調整が実行されます(約15秒)。

4 「Completed.」と表示されたら MENUボタンを押して終了する。

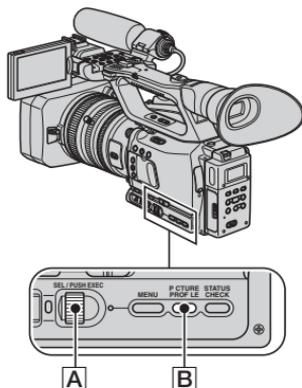
調整ができなかったときは

アイリスクローズを確認して、再度実行する。

⚠️ ご注意

- カールツァイスレンズ以外のレンズをお使いの場合は、あらかじめアイリスをクローズした状態で実行してください。

あらかじめ設定した画質で撮る (ピクチャープロフィール)



[GAMMA]や[DETAIL]などを調節して好みの画質設定を作れます。撮影時間帯や気象条件、または使う人ごとに設定できません。

思い通りの設定で撮る(つづき)

設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

お買い上げ時は、[PP1]から[PP6]に、撮影条件に合わせた設定値があらかじめ登録されています。

📌ご注意

- (CAMERA SET)メニュー→ [x.v.Color]が[ON]のときは、ピクチャープロフィールは[OFF]に固定されます。

ピクチャープロフィール番号 (設定名)	撮影条件
PP1 (USER)	ピクチャープロフィール [OFF]と同じ設定値
PP2 (USER)	ピクチャープロフィール [OFF]と同じ設定値
PP3 (PRO COLOR)	ITU-709ガンマを用いた 業務用シヨルター カム コーダーのような設定例
PP4 (PD COLOR)	PDガンマを用いた業務 用ハンディカムコーダー のような設定例
PP5 (FILM LOOK1)	一般的な映画用カラーネ ガフィルムによる撮影画 のような設定例
PP6 (FILM LOOK2)	一般的な映画用カラーブ リントフィルムで上映し たような設定例

1 スタンバイ中に、PICTURE PROFILEボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回してピクチャープロフィール番号を選び、押して決定する。

選択したピクチャープロフィールの設定で撮影できます。

3 SEL/PUSH EXECダイヤルで[OK]を選んで、押して決定する。

ピクチャープロフィール撮影をやめるには

手順2で[OFF]を選び、SEL/PUSH EXEC ダイヤルを押して決定します。

ピクチャープロフィールの内容を変更するには

[PP1]～[PP6]の設定内容を変更できません。

- ① PICTURE PROFILE ボタンを押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して、設定を変更するピクチャープロフィール番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して[SETTING]を選び、押して決定する。
- ④ SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して調節したい項目を選び、押して決定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して画質を調節し、押して決定する。
- ⑥ 手順④、⑤を繰り返して他の項目を調節する。
- ⑦ SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して[↩ RETURN]を選び、押して決定する。
- ⑧ SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して[OK]を選び、押して決定する。
ピクチャープロフィールの表示が出ます。

🗨️ちょっと一言

- ASSIGNボタンにピクチャープロフィールを設定して、ピクチャープロフィールをON/OFFできます(45ページ)。

BLACK LEVEL

黒レベルを設定する。

設定項目	調節する内容
[MASTER BLACK]	マスターの黒レベルを設定する。 -15 ~ +15
[BLACK R]	Rchの黒レベルを設定する。 [MASTER BLACK] + [BLACK R]がRchの黒レベルになる。 -15 ~ +15
[BLACK G]	Gchの黒レベルを設定する。 [MASTER BLACK] + [BLACK G]がGchの黒レベルになる。 -15 ~ +15
[BLACK B]	Bchの黒レベルを設定する。 [MASTER BLACK] + [BLACK B]がBchの黒レベルになる。 -15 ~ +15

GAMMA

ガンマカーブを選ぶ。

設定項目	調節する内容
[STANDARD]	標準のガンマカーブ。
[CINEMATONE1]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ1。
[CINEMATONE2]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ2。
[ITU709]	ITU-709相当のガンマカーブ。低輝度部ゲイン:4.5
[G5.0]	低輝度部ゲイン:5.0のガンマカーブ。
[PD]	DCR-PDシリーズに似たトーンのガンマカーブ。
[x.v.]	x.v.Colorと同様のガンマカーブ。

BLACK GAMMA

低輝度部のガンマ補正をする。

設定項目	調節する内容
[RANGE]	補正範囲を選ぶ。 HIGH / MIDDLE / LOW
[LEVEL]	補正の強さを設定する。 -7(ブラックコンプレス最大) ~ +7(ブラックストレッチ最大)

思い通りの設定で撮る(つづき)

KNEE

被写体の高輝度部分の信号をカメラのダイナミックレンジに収め、白つぶれを防ぐため、ビデオ信号を圧縮するポイントやスロープを設定する。

設定項目	調節する内容
[MODE]	自動／手動設定を選ぶ。 [AUTO] : ニーポイント、ニースロープを自動で設定する。 [MANUAL] : ニーポイント、ニースロープを手動で設定する。
[AUTO SET]	[AUTO]を選択した場合の設定 [MAX POINT] : ニーポイントの最大値を設定する。 90% ~ 100% [SENSITIVITY] : 感度を設定する。 HIGH/MIDDLE/LOW
[MANUAL SET]	[MANUAL]を選択した場合の設定 [POINT] : ニーポイントを設定する。 75% ~ 105% [SLOPE] : ニースロープの傾きを設定する。 -5(傾きが低い) ~ +5(傾きが高い)

COLOR MODE

発色のタイプやレベルを設定する。

設定項目	調節する内容
[TYPE]	発色のタイプを設定する。 [STANDARD] : 標準の色合い。 [CINEMATONE1] : [GAMMA]が[CINEMATONE1]のときに適したフィルム調の色合い。 [CINEMATONE2] : [GAMMA]が[CINEMATONE2]のときに適したフィルム調の色合い。 [ITU709 MTX] : ITU-709相当
[LEVEL]	[TYPE]を「STANDARD」以外に設定したとき、標準の色合いと選択したタイプの色合いとの間で発色のレベルを設定する。 1(選択したタイプの効果を弱めて標準に近づける)~8(選択したタイプの効果をそのまま使う)

COLOR LEVEL

色の濃さを設定する。

設定項目	調節する内容
	-7(薄くなる)~+7(濃くなる)、-8:白黒で撮影する。

COLOR PHASE

色相を設定する。

設定項目	調節する内容
	-7(緑がかる)～+7(赤みがかる)

COLOR DEPTH

色の深さを色相別に変更する。

濃い色ほど効果が大きく、色のない被写体に対しては効果がありません。+側にすると暗くなり、色が深く見えます。-側にすると明るくなり、色が浅く見えます。[COLOR LEVEL]を-8(モノトーン)にしたときにも有効です。

設定項目	調節する内容
[R]	-7～+7(赤の深さ)
[G]	-7～+7(緑の深さ)
[B]	-7～+7(青の深さ)
[C]	-7～+7(シアンの深さ)
[M]	-7～+7(マゼンタの深さ)
[Y]	-7～+7(黄の深さ)

COLOR CORRECT

色補正を設定する。

設定項目	調節する内容
[TYPE]	補正タイプを選ぶ。 [OFF] : カラーコレクションを行わない。 [COLOR REVISN] : メモリーに設定されている色を補正する。 メモリー以外の色([COLOR EXTRACT]の設定で白黒で表示される部分)は補正されません。 [COLOR EXTRACT] : メモリーに設定されている色のみカラーで表示する。 他の部分は白黒になります。エフェクトとして利用したり、メモリーに設定するときの確認をしたりするのに便利です。
[MEMORY SEL]	有効にするメモリーを選ぶ。 [1]: メモリー1の設定のみ有効にする。 [2]: メモリー2の設定のみ有効にする。 [1&2]: メモリー1、2ともに有効にする。

思い通りの設定で撮る(つづき)

COLOR CORRECT(続き)

設定項目	調節する内容
[MEM1 COLOR]	メモリー1の色設定をする。 [PHASE] : 色相を選ぶ。 0(紫)~8(赤)~16(黄)~24(緑)~31(青) [RANGE] : 色相の範囲を選ぶ。 0(選択色なし)、1(狭い:単色のみ選ぶ)~31(広い:色相の近い他の色も選ぶ) [SATURATION] : 彩度を選ぶ。 0(薄い色から濃い色まで選ぶ)~31(濃い色のみ選ぶ) [ONE PUSH SET] : センターマーカーの中心部に映した被写体に合わせて [PHASE] を自動選択する。 [SATURATION] は0にリセットされる。
[MEM1 REVISN]	メモリー1の色を補正する。 [R GAIN] : メモリーで選択した色の赤みを補正をする。 赤みが減るとシアンの色合いが増えます。 -15(赤みが減る)~+15(赤みが増す) 0の場合、補正されません。 [B GAIN] : メモリーで選択した色の青みを補正をする。 青みが減ると黄色の色合いが増えます。 -15(青みが減る)~+15(青みが増す) 0の場合、補正されません。
[MEM2 COLOR]	メモリー2の色設定をする。 設定項目や設定内容については、[MEM1 COLOR] を参照してください。
[MEM2 REVISN]	メモリー2の色を補正する。 設定項目や設定内容については、[MEM1 REVISN] を参照してください。

💡ちよっと一言

- 2つのメモリーを同じ設定にすると、補正効果は2倍になります。
- [COLOR CORRECT] の設定は電源を切っても保持されますが、時間、天気、場所などにより変化するような色に効果を加える場合は、使用時に再度設定し直すことをおすすめします。
- ホワイトバランス値、ピクチャプロフィールの [WB SHIFT]、[COLOR LEVEL]、[COLOR PHASE] の設定を変更すると、色領域や補正される色合いが変化します。[COLOR CORRECT] の設定時と使用時で上記設定が変わってしまったときは、[COLOR CORRECT] の設定を見直してください。
- ホワイトバランスをオートに設定していると、被写体にあわせて自動でホワイトバランスが変化しますので、ホワイトバランスは手動で設定することをおすすめします。

WB SHIFT

ホワイトバランスシフトを設定する。

設定項目	調節する内容
[FILTER TYPE]	ホワイトバランスをシフトさせる色の組み合わせを選ぶ。 [LB-CC] : フィルムタイプ(色温度変換と色補正をする) [R-B] : ビデオタイプ(RとBのレベルを補正する)
[LB[COL TEMP]]	色温度変換の設定をする。 -9(青みがかる)~+9(赤みがかる)
[CC[MG/GR]]	色補正の設定をする。 -9(緑がかる)~+9(マゼンタがかる)
[R GAIN]	Rのレベルを設定する。 -9(Rのレベルが下がる)~+9(Rのレベルが上がる)
[B GAIN]	Bのレベルを設定する。 -9(Bのレベルが下がる)~+9(Bのレベルが上がる)

DETAIL

ディテールを設定する。

設定項目	調節する内容
[LEVEL]	[DETAIL]の強さを設定する。 -7 ~ +7
[MANUAL SET]	[ON/OFF] : [DETAIL]の手动詳細設定をON/OFFする。 [ON] : [DETAIL]の手动詳細設定を行う(自動最適化は行われません)。 [OFF] : [DETAIL]の手动詳細設定を行わない。
[V/H BALANCE]	: 水平(H)DETAIL/垂直(V)DETAILのバランスを設定する。 -2(垂直(V)が強い) ~ +2(水平(H)が強い)
[B/W BALANCE]	: 上側(P)DETAIL/下側(N)DETAILのバランスを選ぶ。 TYPE1(下側(N)が強い) ~ TYPE5(上側(P)が強い)
[BLACK LIMIT]	: 下側(N)DETAILのリミットレベルを設定する。 0(リミットレベルが低い(リミットされやすい)) ~ 7(リミットレベルが高い(リミットされにくい))
[WHITE LIMIT]	: 上側(P)DETAILのリミットレベルを設定する。 0(リミットレベルが低い(リミットされやすい)) ~ 7(リミットレベルが高い(リミットされにくい))
[CRISPENING]	: クリスピングレベルを設定する。 0(クリスピングレベルが浅い) ~ 7(クリスピングレベルが深い)
[HI-LIGHT DTL]	: 高輝度部分のDETAILレベルを設定する。 -2 ~ +2

思い通りの設定で撮る(つづき)

SKINTONE DTL

肌色部分の輪郭をなめらかにして、しわを目立たなくする。

設定項目	調節する内容
[ON/OFF]	[ON]にすると肌色などの輪郭をなめらかにして、しわを目立たなくする。肌色以外も選択できる。
[LEVEL]	輪郭をなめらかにする度合いを設定する。 1(輪郭を少しなめらかにする)~8(輪郭をよりなめらかにする)
[COLOR SEL]	輪郭をなめらかにする色を選ぶ。 [PHASE] : 色相を選ぶ。 0(紫)~32(赤)~64(黄)~96(緑)~127(青) [RANGE] : 色の範囲を選ぶ。 0(選択色なし)、1(狭い:単色のみ選ぶ)~31(広い:色相と彩度の近い他の色も選ぶ) 0の場合、輪郭を滑らかにする効果はなくなります。 [SATURATION] : 彩度を選ぶ。 0(薄い色を選ぶ)~31(濃い色を選ぶ) [REVERSE] : 選択した色領域を反転する。 ある色を選択している状態でこの機能を実行すると、逆に選択していなかった色が選択されます。 [Y LEVEL] : 明るさを選ぶ。 0(暗い色を選ぶ)~31(明るい色を選ぶ) [Y RANGE] : 明るさの範囲を選ぶ。 1(明るさの範囲を狭める)~32(明るさの範囲を広げる) [ONE PUSH SET] : センターマーカーの中心部に映した被写体に合わせて、[PHASE]、[SATURATION]、[Y LEVEL]を自動選択する。 [RANGE]と[Y RANGE]は変更されません。

PROFILE NAME

設定したピクチャープロファイル[PP1]から[PP6]に名前を付ける(43ページ)。

COPY

他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーする。

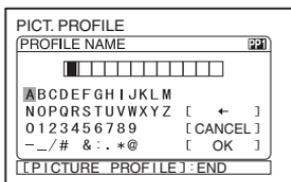
RESET

ピクチャープロファイルをお買い上げ時の設定に戻す。

ピクチャープロファイルの各設定に名前をつけるには

[PP1]～[PP6]それぞれに任意で名前がつけられます。

- ① PICTURE PROFILE ボタン **[B]** を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して名前を設定するピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** で [SETTING] → [PROFILE NAME] を選ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して文字を選択し、押して決定する。この操作を繰り返してプロファイル名を入力する。



🗨️ ちよつと言

- 12文字までの名前をつけられます。

使用できる文字

– A～Z

– 0～9

– – _ / # & : . * @

- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** で [OK] を選び、押して決定する。
プロファイル名が変更されます。
- ⑥ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して、[↩️ RETURN] → [OK] を選ぶ。

ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーするには

- ① PICTURE PROFILE ボタン **[B]** を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回してコピー元のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** で [SETTING] → [COPY] を選ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回してコピー先のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して [YES] を選び、押して決定する。
- ⑥ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して、[↩️ RETURN] → [OK] を選ぶ。

お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。

- ① PICTURE PROFILE ボタン **[B]** を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回してお買い上げ時の設定に戻したいピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアル **[A]** を回して [SETTING] → [RESET] → [YES] → [↩️ RETURN] → [OK] を選ぶ。

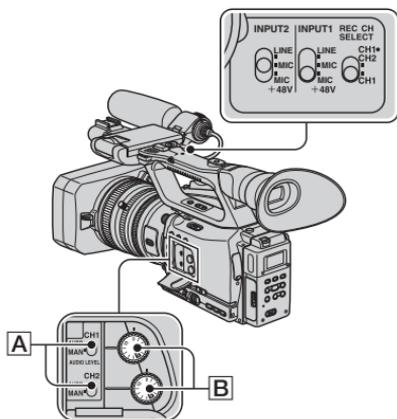
思い通りの設定で撮る(つづき)

好みの音に設定する

INPUT1/INPUT2端子に取り付けたマイクを好みの音量に調節できます。

💡ちょっと一言

- 付属マイクの取り付けかたやREC CH SELECTスイッチについては、13ページをご覧ください。



- 1 調節するチャンネルのAUDIO LEVELスイッチ(CH1/CH2) **A** を「MAN」にする。

画面に **M** が表示されます。

- 2 撮影中、またはスタンバイ中にAUDIO LEVELダイヤル **B** を回して、マイク音量を調節する。

自動調節に戻すには

手動調節したチャンネルのAUDIO LEVELスイッチ(CH1/CH2) **A** を「AUTO」にする。

📌ご注意

- MIC+48Vに対応していないマイクを接続するときは、INPUT1/INPUT2スイッチを「MIC」にしてください。「MIC+48V」のままで使用すると、接続したマイクが故障したり、録音された音声に不具合が生じることがあります。

💡ちょっと一言

- その他の設定については **M** (AUDIO SET) メニューをご覧ください(75ページ)。

ASSIGN ボタンに機能を設定する

機能によっては、ASSIGNボタンに割り当てて操作することができます。カメラ本体のASSIGN1～6ボタン、レンズのL1/L2/RETボタンに1つずつ割り当てられます。

⚠ご注意

- 以下の機能は、RETボタンには割り当てられません。
 - － FOCUS (ピント自動/手動切り換え)
 - － ONE PUSH AF
 - － FOCUS INFNTY
 - － FOCUS MACRO
 - － STEADYSHOT

👉ちょっと一言

- RETボタンは、カールツァイスレンズ以外のレンズにあるボタンのことです。

割り当てられる機能

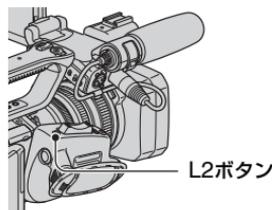
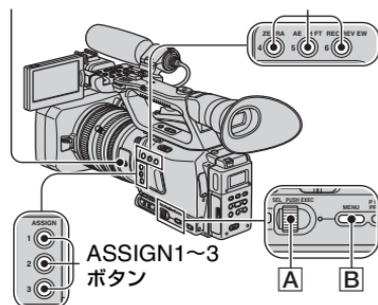
()内のボタン名は、お買い上げ時に機能が割り当てられていることを示しています。

- FOCUS (30ページ)
- EXP.FOCUS (31ページ) (L2ボタン)
- ONE PUSH AF (31ページ)
- FOCUS INFNTY (31ページ)
- FOCUS MACRO (71ページ)
- D.EXTENDER (71ページ) (L1ボタン)
- HYPER GAIN (68ページ)
- BLK BALANCE (35ページ)
- AE SHIFT (69ページ) (ASSIGN5ボタン)
- INDEX MARK (46ページ)
- STEADYSHOT (71ページ)
- BACK LIGHT (70ページ)
- SPOTLIGHT (70ページ)
- FADER (71ページ)
- COLOR BAR (74ページ)
- LAST SCN RVW (47ページ)
- REC REVIEW (47ページ) (ASSIGN6/RETボタン)
- END SEARCH (47ページ)
- ZEBRA (77ページ) (ASSIGN4ボタン)

- MARKER (78ページ)
- PEAKING (78ページ)
- DISPLAY (55ページ)
- TC RESET (85ページ)
- TC COUNTUP (85ページ)
- PHOTO (27ページ)
- REC LAMP[F] (91ページ)
- REC LAMP[R] (91ページ)
- PICTURE PROFILE (35ページ)

L1ボタン

ASSIGN4～6ボタン



1 MENUボタン **B** を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル **A** で **☰** (OTHERS)メニュー → [ASSIGN BTN] を選ぶ。

3 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[CAMERA]または[LENS](設定したいASSIGNボタンのある場所)を選び、押して決定する。

4 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して設定したいASSIGNボタンを選び、押して決定する。

- カメラ本体ではASSIGN1~6ボタン、レンズではL1/L2/RETボタンを選択できます。
- 機能が割り当てられていないボタンには、[-----]が表示されます。

5 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して割り当てる機能を選び、押して決定する。

6 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[OK]を選び、押して決定する。

7 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[RETURN]を選び、押して決定する。

8 MENUボタン[B]を押して、メニュー画面を消す。

インデックス信号を打ち込む

インデックス信号を打ち込んで撮影すると、その場面を頭出しできます(57ページ)。インデックスの変わり目を確認したり、インデックスごとに編集するとき便利です。

1 ASSIGNボタンに[INDEX MARK]を設定する(45ページ)。

2 [INDEX MARK]を割り当てたASSIGNボタンを押す。

撮影中に押したとき

約7秒間 [■] が表示され、インデックス信号が記録されます。

スタンバイ中に押したとき

[■] が点滅します。

REC START/STOPボタンを押して録画を始めると、約7秒間 [■] が表示され、インデックス信号が記録されます。

インデックス打ち込みを取り消すには録画を始める前に、INDEX MARKを割り当てたASSIGNボタンをもう一度押す。

📌 ご注意

- 撮影したテープにインデックスを後から打ち込むことはできません。

テープを停止した場面を確認する(レックレビュー)

テープを停止させた場面を約2秒間再生し、確認できます。直前に撮影した映像を確認するのに便利です。

スタンバイ中に、REC REVIEWボタンまたは、[REC REVIEW]を割り当てたASSIGNボタンを押す。

テープを停止した部分が約2秒間再生され、スタンバイに戻ります。

最後に録画した場面を頭出しする(エンドサーチ)

1 ASSIGNボタンに[END SEARCH]を設定する(45ページ)。

2 [END SEARCH]を割り当てたASSIGNボタンを押す。

最後に録画した場面の末尾の約5秒間が再生され、録画終了した場面でスタンバイになります。

⚠️ご注意

- カセットをいったん取り出すと、エンドサーチは働きません。
- テープの途中に無記録部分があると、エンドサーチが正しく働かない場合があります。

最後に撮影した動画を再生する(ラストシーンレビュー)

最後に撮影した場面の先頭まで巻き戻し、その場面の最後まで再生してから停止します。

1 ASSIGNボタンに[LAST SCN RVW]を設定する。(45ページ)

2 スタンバイ状態で[LAST SCN RVW]を割り当てたASSIGNボタンを押す。

ラストシーンレビューが実行されません。

⚠️ご注意

- 動画の記録時間が短い場合、[LAST SCN RVW]が正しく実行できない場合があります。

💡ちょっと一言

- ラストシーンレビュー中に再度ASSIGNボタンを押すと、最後に録画した場面の約5秒間再生され、録画終了した場面でスタンバイになります。

ショットトランジションを使う

フォーカス、ズーム、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスの設定を登録し、登録した設定へなめらかに遷移(ショットトランジション)することができます。

例えば、画面手前にフォーカスが合っている状態から徐々に画面奥の被写体にフォーカス送りをしたり、アイリスを設定して被写界深度を変化させたりできます。また、ホワイトバランスなどの手動調節機能を登録して、屋内の被写体から屋外の被写体へと、異なる撮影環境の間もなめらかに場面を切り換えることができます。手ぶれを防ぐために三脚を使うことをおすすめします。

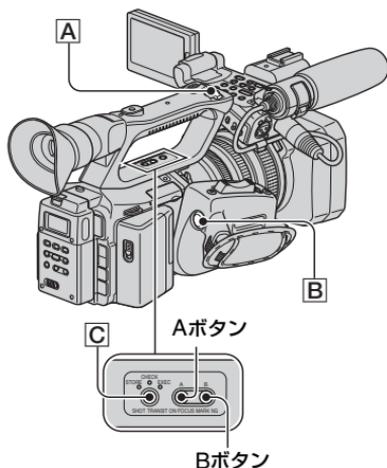
 (CAMERA SET)メニューの[SHOT TRANSITION]で以下の設定ができます(73ページ)。

項目	調節する内容
TRANS TIME	遷移時間の設定(お買い上げ時の設定は[4.0sec]) [3.5sec]~[15.0sec]は0.5sec単位で設定 [20sec]、[30sec]、[45sec]、[60sec]
START TIMER	ショットトランジションを開始するタイマーの設定(お買い上げ時の設定は[OFF]) [5sec]、[10sec]、[20sec]
REC LINK	録画開始と同時に遷移させる設定(お買い上げ時の設定は[OFF]) [OFF]:録画開始と同時に遷移させない。 [SHOT-A]:録画開始と同時にSHOT-Aに遷移させる。 [SHOT-B]:録画開始と同時にSHOT-Bに遷移させる。

項目	調節する内容
FOCUS TRANS	フォーカスの遷移([ON]/[OFF])の設定(お買い上げ時の設定は[ON])
ZOOM TRANS	ズームの遷移([ON]/[OFF])の設定(お買い上げ時の設定は[ON])
IRIS TRANS	絞りの遷移([ON]/[OFF])の設定(お買い上げ時の設定は[ON])

❖ご注意

- ショットトランジションの「CHECK」と「EXEC」モード中は、手動調節はできません。ただし[FOCUS TRANS]、[ZOOM TRANS]、[IRIS TRANS]が[OFF]のときは、「CHECK」/「EXEC」モードでも手動調節できます。
- [EXT REC CTRL]が[EXT ONLY]のとき、[REC LINK](録画連動)は、HVR-MRC1/HVR-DR60の録画開始に連動します。



- 1  (CAMERA SET)メニューの[S.TRANS/F.MARK]を[SHOT TRANSITION]に設定する。

2 SHOT TRANSITION/FOCUS MARKINGボタン[C]を押し、ショットトランジション登録画面を表示する。

「STORE」のランプが点灯します。

3 SHOT-Aに登録する場合は、Aボタンを押す。 SHOT-Bに登録する場合は、Bボタンを押す。

④ご注意

- 登録したSHOT-A、SHOT-Bの設定値は、POWERSスイッチを「OFF」にすると消去されます。

4 SHOT TRANSITION/FOCUS MARKINGボタン[C]をもう一度押し、ショットトランジション確認画面を表示する。

「CHECK」のランプが点灯します。

SHOT-Aを確認するにはAボタン、SHOT-Bを確認するにはBボタンを押します。登録したショットの画像に変わります。フォーカスやズームなどが登録した設定に自動的に調節されます。

④ご注意

- 「TRANS TIME」(48ページ)で設定した時間で遷移はしません。

5 SHOT TRANSITION/FOCUS MARKINGボタン[C]をもう一度押し、ショットトランジション実行画面を表示します。

「EXEC」のランプが点灯します。

6 REC START/STOPボタン[A] (または[B])を押す。

SHOT-Aで撮影するにはAボタン、SHOT-Bで撮影するにはBボタンを押します。

現在の録画設定から、登録した設定に遷移します。

④ご注意

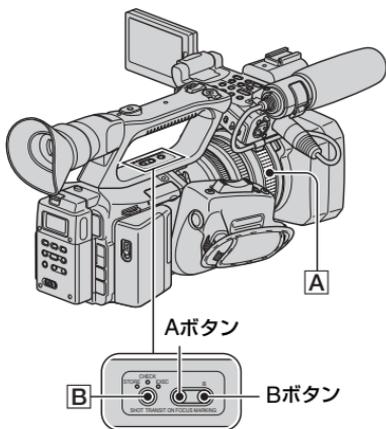
- 「[SHOT TRANSITION]」(48ページ)を変更するときは、SHOT TRANSITION/FOCUS MARKINGボタン[C]を繰り返し押し、ショットトランジション画面を抜けてから変更してください。
- 任意の設定からショットトランジションを実行したとき、登録したSHOT-A、またはSHOT-Bから元の設定に戻すことはできません。
- ショットトランジション操作中に次のボタンを押すと、ショットトランジションが解除されます。
 - PICTURE PROFILE
 - MENU
 - STATUS CHECK
 - EXPANDED FOCUS
- 登録したSHOT-AからSHOT-Bへ、またはその逆に遷移することもできます。例えばSHOT-AからSHOT-Bに遷移するときは、ショットトランジション確認画面を表示させてAボタンを押して、あらかじめSHOT-Aの状態にしてから、REC START/STOPボタンを押します。次にショットトランジション実行画面を表示させてBボタンを押してください。
- 手順6でREC START/STOPボタンを押す前に、希望の設定を登録したボタン(AまたはB)を押すと、ショットトランジションのリハーサルができます。
- カールツァイスレンズ以外のレンズをお使いの場合は、ショットトランジション操作できません。また、レンズをはずした場合やフランジバックを調整した場合は、メモリー(SHOT-A/SHOT-B)に登録したデータは失われます。

ショットトランジションを使う(つづき)

ショットトランジションを解除するには
SHOT TRANSITION/FOCUS
MARKINGボタンを繰り返し押して、
ショットトランジション画面から抜ける。

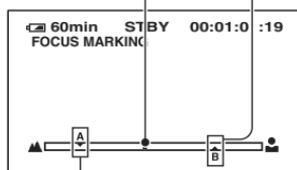
フォーカス位置を画面上でマーキングする (フォーカスマーキング)

被写体に合わせたフォーカス位置を、画面上でマーキングしておくことができます。マニュアルフォーカス時に有効です。



▼とAのマーク、または▲とBのマークが表示されます。

Bボタンを押したときに表示
現在のフォーカス位置



Aボタンを押したときに表示

AまたはBの位置と現在のフォーカス位置が一致すると、マークの色が変わります。

1 (CAMERA SET)メニューの [S.TRANS/F.MARK] を [FOCUS MARKING] に設定する。

2 SHOT TRANSITION/FOCUS MARKINGボタン を押す。

画面下部に、フォーカスマーキング設定バーが表示されます。

3 フォーカスリング を回してフォーカス位置を決定する。

フォーカスリング を回すと、フォーカスバー上のカーソルが移動します。

4 AまたはBボタンを押してフォーカス位置をマーキングする。

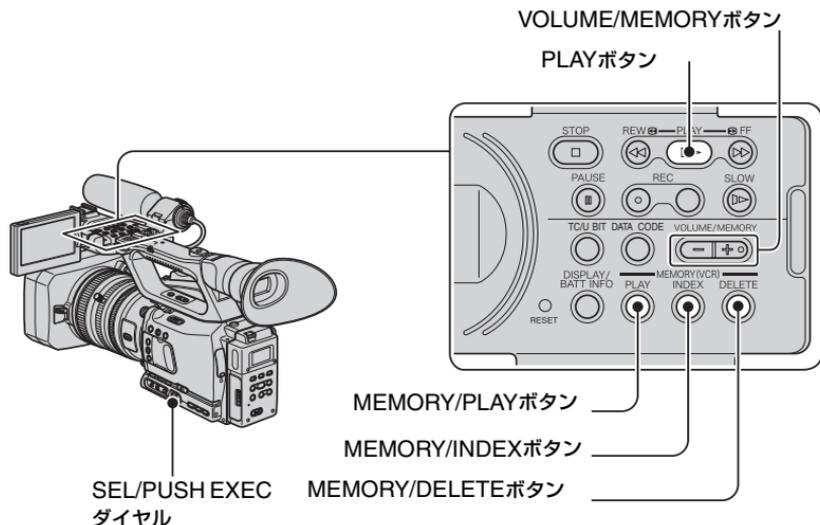
📌 ご注意

- [FOCUS MACRO]が[ON]になっていると、[FOCUS MARKING]は機能しません。
- カールツァイスレンズ以外のレンズをお使いの場合は、フォーカスマーキングの操作はできません。また、レンズをはずした場合や電源を一度OFFにするとA、Bのマーキング位置はクリアされます。

💡 ちょっと一言

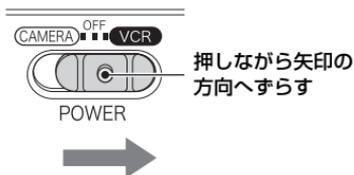
- 拡大フォーカス中でもフォーカスマーキング機能は有効です。

見る



下記の手順で動画を再生します。

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「VCR」にする。



2 再生を始める。

◀◀ (巻戻し) ボタンを押して、見たい位置まで巻き戻し、▶▶ (再生) ボタンを押す。

- : STOP
- || PAUSE (▶▶ または || を押すと通常の再生に戻る)
- ◀◀: REW (◀◀) (早戻し、レビュー)
- ▶▶: FF (▶▶) (キュー、早送り)
- ▶▶: SLOW

ⓘ ご注意

- 一時停止が3分以上続くと、自動的に停止します。
- HDV規格とDVCAM(DV)規格が混在したテープを再生するときは、HDVとDVCAM(DV)の信号が切り換わるときに、一時画面が消えて、画像と音声途切れます。
- HDV規格で記録したテープは、DVCAM(DV)規格のビデオカメラやミニDVデッキでは再生できません。

- DV規格のテープは、SPモードで記録されている場合のみ、本機で再生できます。LPモードで記録されたテープは再生できません。
- タイムコードやユーザービットが記録されていないテープや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録されたテープを再生すると、タイムコードやユーザービットが正常に表示されません。

👁️ちょっと一言

- 再生中の画面表示については139ページをご覧ください。
- 再生中の画面表示の切り替えについては55ページをご覧ください。

動画を見ながら場面を探すには

再生中に◀◀/▶▶を押したままにする(ピクチャーサーチ)。早送り中に見るときは▶▶を、巻戻し中は◀◀を押したままにする(高速アクセス)。

音量を調節するには

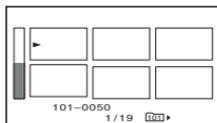
VOLUME/MEMORYボタンで調節する。

静止画を見るには

- ① POWER スイッチを「VCR」にする。
- ② MEMORY/PLAY ボタンを押す。
- ③ VOLUME/MEMORY ボタンを押して静止画を選ぶ。
静止画再生をやめるには、もう一度MEMORY/PLAYボタンを押します。

静止画を一覧表示するには(インデックス表示)

- ① POWER スイッチを「VCR」にする。
- ② MEMORY/INDEX ボタンを押す。



- ③ VOLUME/MEMORY ボタンを押して、画像を選ぶ。
▶を表示したい画像に合わせてMEMORY/PLAYボタンを押すと、1枚表示になります。
一覧表示をやめるには、もう一度MEMORY/INDEXボタンを押します。

“メモリースティックデュオ”の画像を消すには

- ① 「静止画を見るには」の手順で削除する画像を表示させる。
- ② MEMORY/DELETEボタンを押す。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアルで、[YES]を選び、押して決定する。
画像が消去されます。

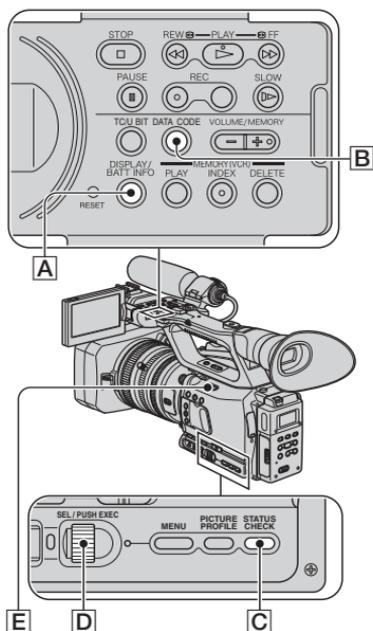
📢ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。
- “メモリースティック デュオ”が読取り防止になっているとき(117ページ)やプロテクトされている画像(103ページ)は削除できません。

💡ちょっと一言

- インデックス表示している画像を消すには、VOLUME/MEMORYボタンで▶マークを削除したい画像に移動してから手順②と③を行ってください。
- すべての画像を消去するには、 (MEMORY SET)メニューの[ ALL ERASE] (88ページ)で削除します。

本機の設定を変更 / 確認する



画面表示を切り替える

タイムコードなどの情報を画像とあわせて表示できます。

DISPLAY/BATT INFOボタン **A** を押す。

押すたびに、(非表示)→(表示)と切り替わります。POWERスイッチが「CAMERA」のときは、(詳細表示)→(簡易表示)→(非表示)の順に切り替わります。

👁️ ちょっと一言

- テレビにつないで見るときは、[DISP OUTPUT]を[V-OUT/PANEL]に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示できます(81ページ)。
- [ASSIGN BTN]の[DISPLAY]をASSIGNボタンに割り当てると、[DISPLAY]を割り当てたASSIGNボタンで画面を切り替えることができます。

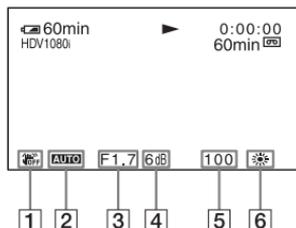
再生時に情報を表示する(データコード)

撮影時に自動的に記録された情報(日時やカメラデータ)を再生時に表示できます。

1 POWERスイッチ **E** を「VCR」にする。

2 再生または一時停止中にDATA CODEボタン **B** を押す。

押すたびに、日付時刻表示→カメラデータ→(表示なし)と切り替わります。



1 手ぶれ補正

2 明るさ調節

アイリス/ゲイン/シャッタースピードを自動調節で撮影すると **AUTO**、手動調節で撮影すると **MANUAL** と表示されます。

3 アイリス

手動でアイリスを最大にしておく、アイリスの場所に **CLOSE** と表示されます。

4 ゲイン

5 シャッタースピード

6 ホワイトバランス

ショットポジション撮影した画像を再生すると、**PWB** が表示されます。

本機の設定を変更/確認する(つづき)

④ご注意

- 「メモリースティック デュオ」の静止画再生時は、露出補正值(0EV)とシャッタースピード、アイリスが表示されます。
- 日付時刻表示のときは、同じエリアに日時が表示されます。日時、時刻を設定せずに撮影すると、[--- -- --]と[---:--:--]が表示されます。
- 本機で撮影したテープを異なる機器で再生し、カメラデータを表示させた際に、正しいシャッタースピード情報が表示されないことがあります。正しいシャッタースピードの情報は本機にてご確認ください。
- 拡張クリアスキャン(ECS)で撮影した場合は、シャッタースピードは[---]表示となります。

本機の設定を確認する(ステータスチェック)

以下の項目がどのような設定値になっているかを確認できます。

- マイク音量レベルなどの音声設定(75ページ)
- 出力に関する設定([VCR HDV/DV])(81ページ)など
- ASSIGNボタンに割り当てた機能(45ページ)
- カメラに関する設定(68ページ)
- 外部デバイスに関する情報

AUDIO→OUTPUT→ASSIGN→
EXT DEVICE(外部デバイス装着時のみ)と切り替わります。

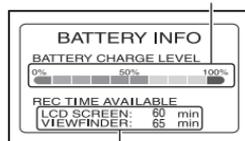
情報表示を消すには

STATUS CHECKボタン[C]を押す。

バッテリー残量を確認する(バッテリーインフォ)

POWERスイッチ[E]を「OFF」にしたあと、DISPLAY/BATT INFOボタン[A]を押すと、選択している録画フォーマットでの録画可能時間とバッテリーの情報が約7秒間表示されます。情報が表示されている間に再度ボタンを押すと、最大20秒まで表示を延長できます。

およそのバッテリー残量



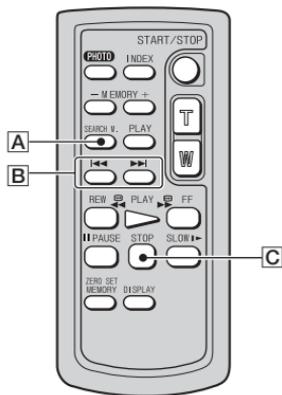
およその撮影可能時間

1 STATUS CHECKボタン[C]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[D]を回して、項目を表示する。

POWERスイッチ[E]が「CAMERA」のときは、
AUDIO→OUTPUT→ASSIGN→
CAMERA→EXT DEVICE(外部デバイス装着時のみ)と切り替わります。
POWERスイッチ[E]が「VCR」のときは、

テープの頭出しをする



⓪ご注意

- リモコンについては137ページもご覧ください。

撮影日でテープを頭出しする (日付サーチ)

撮影日の変わり目を頭出しできます。

1 POWERスイッチを「VCR」にする。

2 リモコンのSEARCH M.ボタン **A** を繰り返し押して、「DATE SEARCH」を選ぶ。

3 リモコンの◀◀(前の日付)/▶▶(後の日付)ボタン **B** を押して、頭出しする。

現在のテープ位置に対して前後の日付を選びます。

選んだ場面で自動的に再生します。

サーチを中止するには

リモコンのSTOPボタン **C** を押す。

⓪ご注意

- 日付の変更点の間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく検出されない場合があります。
- テープの途中に無記録部分があると、正しく頭出しできないことがあります。

録画の開始位置を探す(インデックスサーチ)

撮影開始時に打ち込んだインデックス(46ページ)を頭出しできます。

1 POWERスイッチを「VCR」にする。

2 リモコンのSEARCH M.ボタン **A** を繰り返し押して、「INDEX SEARCH」を選ぶ。

3 リモコンの◀◀(前のインデックス)/▶▶(後のインデックス)ボタン **B** を押して、頭出しする。

現在のテープ位置に対して前後のインデックスを選びます。選んだ場面で自動的に再生します。

サーチを中止するには

リモコンのSTOPボタン **C** を押す。

⓪ご注意

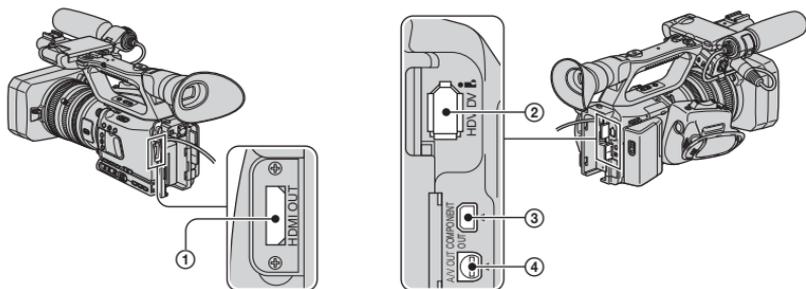
- インデックスの間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく頭出しできないことがあります。
- テープの途中に無記録部分があると、正しく頭出しできないことがあります。

テレビにつないで見る

テレビの種類や接続する端子によって接続方法や再生される画質が異なります。
電源は、別売りのACアダプターを使ってコンセントからとってください(16ページ)。
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機の端子について

端子カバーを開けて接続してください。



ⓘ ご注意

- 本機のメニュー設定は接続の前に行ってください。i.LINKケーブルにつないでから [VCR HDV/DV] や [i.LINK SET] の設定を変えると、テレビが映像信号を正しく認識できないことがあります。

ハイビジョンテレビの接続方法



記録画質がHD(ハイビジョン)のときはHD画質で、SD(標準)のときはSD画質で再生されます。

コンポーネント(ピン端子)



音声端子

A

HDMI端子



B

i.LINK端子
(HDV
1080i対
応)



C

コンポーネント(D端子)



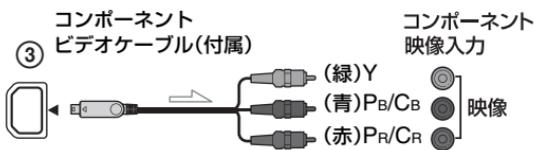
音声端子

D

☞ : 信号の流れ、() : 参照ページ

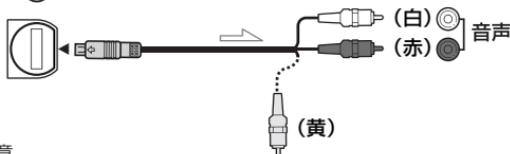
接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

A



☞ (IN/OUT REC)
[VCR HDV/DV] →
[AUTO] (81)
[VIDEO OUT] →
[COMPONENT]
→ [1080i/480i] (83)

④ A/V接続ケーブル(付属)



ⓘ ご注意

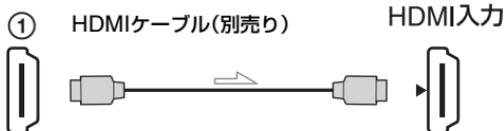
- コンポーネントビデオケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声の出力にはA/V接続ケーブルも必要です。コンポーネント映像入力端子付近の音声端子(赤と白)につないでください。

テレビにつないで見る(つづき)

⇨: 信号の流れ、(): 参照ページ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

B



⇨ (IN/OUT REC)
[VCR HDV/DV] →
[AUTO] (81)

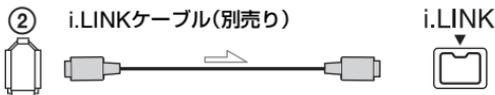
⚠️ ご注意

- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。
- 著作権保護のための信号が記録されているDVCAM (DV) 規格の映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- i.LINKでDV入力された画像(96ページ)を出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。また、本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因となります。

🗣️ ちょっと一言

- HDMI (High-Definition Multimedia Interface) とはテレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

C



⇨ (IN/OUT REC)
[VCR HDV/DV] →
[AUTO] (81)
[i.LINK SET] →
[HDV → DV CONV]
→ [OFF] (84)

⚠️ ご注意

- テレビにはHDV1080i方式対応のi.LINK端子が必要です。詳しくはお使いのテレビの仕様をご確認ください。
- お使いのテレビがHDV1080i方式に対応していない場合は、付属のコンポーネントビデオケーブルとAV接続ケーブルで[A]の接続をしてください。
- テレビに本機を認識させるためにテレビ側の設定が必要です。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機のi.LINK端子は6ピンです。テレビ側はテレビに合わせて端子を選んでください。

↔ : 信号の流れ、() : 参照ページ

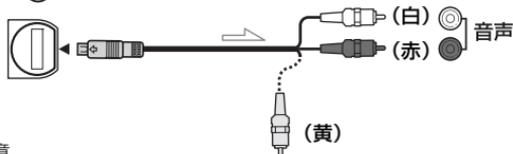
接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

D

③ D端子コンポーネントビデオケーブル(別売り)



④ A/V接続ケーブル(付属)



コンポーネント映像入力 (D3/D4/D5)

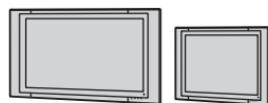


↔ (IN/OUT REC)
[VCR HDV/DV] →
[AUTO] (81)
[VIDEO OUT] →
[COMPONENT] →
[1080i/480i] (83)

📌 ご注意

- D端子コンポーネントビデオケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声の出力にはA/V接続ケーブルも必要です。コンポーネント映像入力端子付近の音声端子(赤と白)につないでください。

ワイドテレビ/4:3テレビの接続方法



記録画質がHD(ハイビジョン)のときは変換してSD画質で、SD(標準)のときはSD画質で再生されます。

コンポーネント(ピン端子)



E

i.LINK端子



F

S(S1,S2)端子



G

映像音声端子



H

テレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の比率を変えるには

HDV規格の信号は、↔ (IN/OUT REC)メニュー→[VIDEO OUT]→[DOWN CONVERT]で設定してください。DV規格の信号は、↔ (IN/OUT REC)メニュー→[VIDEO OUT]→[DV WIDE CONV]で設定してください。

🗨️ ちょっと言

- モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときはA/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつないでください。モノラル音声で聞くとときは、市販の接続ケーブルを使ってください。

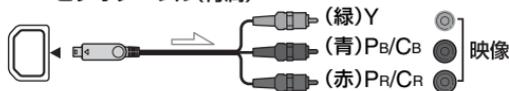
テレビにつないで見る(つづき)

↔: 信号の流れ、(): 参照ページ

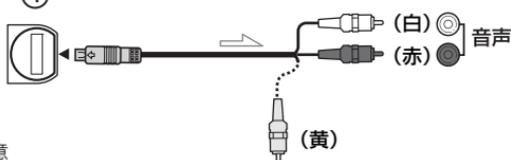
接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

E

③ コンポーネントビデオケーブル(付属)



④ A/V接続ケーブル(付属)



コンポーネント映像入力

↔ (IN/OUT REC)
 [VCR HDV/DV] →
 [AUTO] (81)
 [VIDEO OUT] →
 [COMPONENT] →
 [480i] (83)
 [VIDEO OUT] →
 [DOWN CONVERT] →
 → [SQUEEZE]/
 [LETTER BOX]/
 [EDGE CROP]*
 (83)

⚠ ご注意

- コンポーネントケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声の出力にはA/V接続ケーブルも必要です。コンポーネント映像入力端子付近の音声端子(赤と白)につないでください。

F

② i.LINKケーブル(別売り)



↔ (IN/OUT REC)
 → [VCR HDV/DV]
 → [AUTO] (81)
 [i.LINK SET] →
 [HDV → DV CONV]
 → [ON] (84)

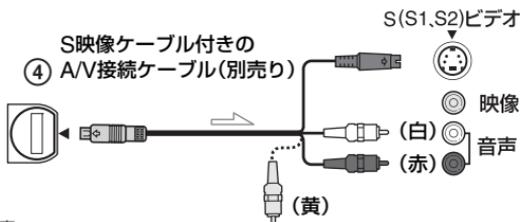
⚠ ご注意

- テレビに本機を認識させるためにテレビ側の設定が必要です。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機のi.LINK端子は6ピンです。テレビ側はテレビに合わせて端子を選んでください。

* お使いのテレビに合わせて設定してください。

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

G

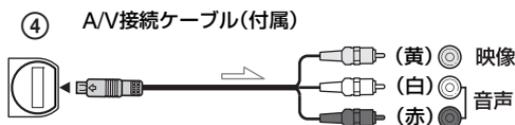


↷ (IN/OUT REC)
[VCR HDV/DV]→
[AUTO] (81)
[VIDEO OUT]→
[DOWN CONVERT]
→[SQUEEZE]/
[LETTER BOX]/
[EDGE CROP]*
(83)

ⓘ ご注意

- S(S1,S2)映像端子のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するにはS映像ケーブル付きのA/V接続ケーブルの白と赤のプラグも接続してください。
- A/V接続ケーブル(接続 **H**)に比べ、画像をより忠実に再現できます。
- 本機はS1映像端子対応のため、つなく端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

H



↷ (IN/OUT REC)
[VCR HDV/DV]→
[AUTO] (81)
[VIDEO OUT]→
[DOWN CONVERT]
→[SQUEEZE]/
[LETTER BOX]/
[EDGE CROP]*
(83)

* お使いのテレビに合わせて設定してください。

💡 ちょっと一言

- i.LINK以外の端子から画像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、テレビの入力がHDMI端子→コンポーネントビデオ端子→S(S1,S2)映像端子→映像端子の順で優先されます。
- i.LINKについて詳しくは120ページをご覧ください。

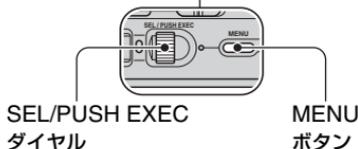
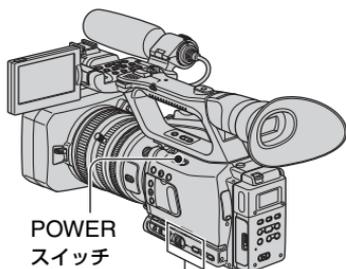
ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの入力端子によって93ページで接続方法を選ぶ。ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換える。

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた

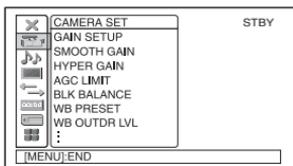
画面に表示されるメニューで、お好みの設定より細かい設定ができます。



1 POWERスイッチを切り換える。

2 MENUボタンを押す。

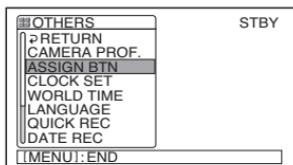
メニューインデックス画面が表示されます。



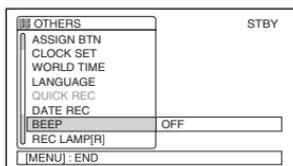
3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してメニューのマークを選び、押し決定する。

- CAMERA SET (68ページ)
- AUDIO SET (75ページ)
- DISPLAY SET (77ページ)
- IN/OUT REC (81ページ)
- TC/UB SET (85ページ)
- MEMORY SET (88ページ)

OTHERS (89ページ)

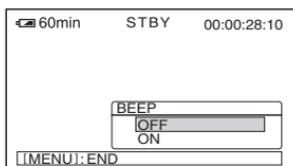


4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して設定する項目を選び、押し決定する。



設定できる項目は、POWERスイッチの位置ごとに異なります。選択できない項目は暗くなります。

5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して希望の設定を選び、押し決定する。



6 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

[RETURN] を選ぶと1つ前の階層に戻ります。

POWERスイッチの位置:

CAMERA

VCR



(CAMERA SET)メニュー (68ページ)

GAIN SETUP	●	—
SMOOTH GAIN	●	—
HYPER GAIN (AS)	●	—
AGC LIMIT	●	—
BLK BALANCE (AS)	●	—
WB PRESET	●	—
WB OUTDR LVL	●	—
WB TEMP SET	●	—
ATW SENS	●	—
SMOOTH WB	●	—
AE SHIFT (AS)	●	—
AE WINDOW	●	—
AE RESPONSE	●	—
AT IRIS LMT	●	—
ECS FREQ.	●	—
FLCKR REDUCE	●	—
CNTRST ENHCR	●	—
BACK LIGHT (AS)	●	—
SPOTLIGHT (AS)	●	—
STEADYSHOT (AS)	●	—
AF ASSIST	●	—
FOCUS MACRO (AS)	●	—
HANDLE ZOOM	●	—
D.EXTENDER (AS)	●	—
FADER (AS)	●	—
SMTH SLW REC	●	—
INTERVAL REC	●	—
DV FRAME REC (DVCAM DV 3)	●	—
SHOT TRANSITION	●	—
S.TRANS/F.MARK	●	—
x.v.Color (HDV1080)	●	—
COLOR BAR (AS)	●	—
FLANGE BACK	●	—



(AUDIO SET)メニュー (75ページ)

DV AU. MODE (DVCAM DV 3)	●	—
AUDIO LIMIT	●	—
XLR SET	●	—
AUDIO CH SEL	—	●
DV AUDIO MIX (DVCAM DV 3)	—	●

POWERスイッチの位置:

CAMERA

VCR



(DISPLAY SET)メニュー(77ページ)

ZEBRA (AS)	●	—
HISTOGRAM	●	—
PEAKING (AS)	●	—
MARKER (AS)	●	—
CAM LEVELING	●	—
EXP.FOCUS TYPE	●	—
CAM DATA DSP	●	—
AU.LVL DISP	●	—
ZOOM DISPLAY	●	—
FOCUS DISP	●	—
SHUTTER DISP	●	—
LCD BRIGHT	●	●
LCD COLOR	●	●
LCD BL LEVEL	●	●
VF B.LIGHT	●	●
VF COLOR	●	●
VF POWERMODE	●	●
LETTER SIZE	●	●
REMAINING	●	●
DISP OUTPUT	●	●



(IN/OUT REC)メニュー(81ページ)

REC FORMAT	●	—
VCR HDV/DV	—	●
HDV PROGRE.	●	—
DV PROGRE.	●	—
DV REC MODE	●	●
DV WIDE REC	●	—
VIDEO OUT	●	●
i.LINK SET	●	●
EXT REC CTRL	●	—



(TC/UB SET)メニュー(85ページ)

TC PRESET	●	●
TC COUNTUP (AS)	●	●
UB PRESET	●	●
TC FORMAT	●	●
TC RUN	●	●
TC MAKE	●	●
TC LINK	●	—
UB TIME REC	●	●
UB-DATE/TC-TIME	●	●

POWERスイッチの位置:

CAMERA

VCR

**(MEMORY SET)メニュー**(88ページ)

	CAMERA	VCR
ALL ERASE	—	●
FORMAT	●	●
FILE NO.	●	●
NEW FOLDER	●	●
REC FOLDER	●	●
PB FOLDER	—	●

**(OTHERS)メニュー**(89ページ)

	CAMERA	VCR
CAMERA PROF.	●	●
ASSIGN BTN	●	●
CLOCK SET	●	●
WORLD TIME	●	●
LANGUAGE	●	●
PB ZOOM	—	●
QUICK REC	●	—
DATE REC	●	—
BEEP	●	●
REC LAMP[F]	●	—
REC LAMP[R]	●	—
REMOTE CTRL	●	●
HOURS METER	●	●

メニューで設定を変更する

(CAMERA SET) メニュー

撮影状況に合わせるための設定(GAIN
SETUP/BACK LIGHT/
STEADYSHOTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH
EXEC ダイアルで、 (CAMERA
SET)を選択すると表示されます。

GAIN SETUP

GAINスイッチ[H][M][L]の調整値を設定するときに選びます(お買い上げ時の設定は、[H]:18dB、[M]:9dB、[L]:0dB)。

- ① SEL/PUSH EXEC ダイアルで[H][M][L]のいずれかを選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアルでゲインの調整値を選び、押し決定する。
-6dB ~ 21dBの間で、3dB 間隔で選択できます。数値が大きくなるほど、ゲインが上がります。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアルで[OK]を選ぶ。
- ④ MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

SMOOTH GAIN

GAINスイッチを切り換えたときに、GAIN値が変化するスピードを[FAST]/[MIDDLE]/[SLOW]から選びます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

HYPER GAIN (AS)

[ON](**HYPER**)に設定すると、ゲインの設定を限界まで上げることができます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

📌ご注意

- ハイパーゲイン使用中は、以下の機能は働きません。

-[BACK LIGHT]

-[SPOTLIGHT]

- ハイパーゲイン使用中は、ノイズにより画質が劣化します。
- 電源を入れなおすと、自動的に[OFF](お買い上げ時の設定)に戻ります。

💡ちょっと一言

- 手動フォーカスでのご使用をおすすめします。

AGC LIMIT

オートゲインコントロール(AGC)の上限値を[OFF](21dB、お買い上げ時の設定)、[18dB]、[15dB]、[12dB]、[9dB]、[6dB]、[3dB]、[0dB]から選べます。

📌ご注意

- ゲインを手動調節しているとき効果はありません。

BLK BALANCE (AS)

35ページをご覧ください。

WB PRESET

プリセットホワイトバランスを使うときに選びます。詳しくは34ページをご覧ください。

WB OUTDR LVL

プリセットホワイトバランスが[OUTDOOR]時のオフセット量を設定します。

[-7] (青め) ~ [0] (標準) ~ [+7] (赤め) から選びます(お買い上げ時の設定は[0])。

WB TEMP SET

プリセットホワイトバランスが[MANU WB TEMP]のときの色温度の値を設定します。

設定範囲: 2300K ~ 15000K (100K単位)

ATW SENS

白熱電球やろうそくなど赤みの強い光源下や、屋外の日陰など青みの強い光源下でのオートホワイトバランスの動作を設定できます。

▶ INTELLIGENT

シーンの明るさに応じて自然な雰囲気になるように自動調節する。

HIGH

赤みや青みが減る。

MIDDLE

LOW

赤みや青みが増す。

🔔ご注意

- ホワイトバランスが自動調節されているときのみ有効です。
- 晴天時の日向では効果がありません。

SMOOTH WB

ホワイトバランスメモリスイッチを切り換えたときに、色温度が変化するスピードを[FAST]/[MIDDLE]/[SLOW]から選びます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

AE SHIFT **AS**

SEL/PUSH EXEC ダイヤルで明るさを-7(暗い)~+7(明るい)の範囲で調節できます(お買い上げ時の設定は[0])。お買い上げの設定以外にすると、**AS** と設定した数値が表示されます。

🔔ご注意

- アイリス、シャッタースピード、ゲインの全てを手動調節していると効果はありません。
- ハイパーゲイン設定時は効果がありません。

AE WINDOW

被写体の明るさに追従して露出を自動調整する測光範囲を選びます。露出手動調整しているときは無効です。



STANDARD



TYPE1



TYPE2



TYPE3



TYPE4

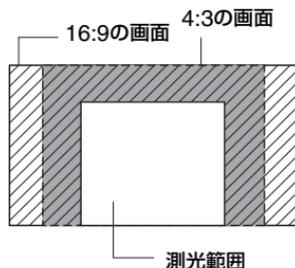


TYPE5

💡ちよつと一言

調整する範囲は、アスペクト比を変更しても変わりません。

例: TYPE4



AE RESPONSE

被写体の明るさに追従して露出を自動調整する速度を選びます。[FAST]、

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

[MIDDLE]、[SLOW]から選びます(お買い上げ時の設定は[FAST])。

AT IRIS LMT

アイリス設定が自動のとき、絞りの上限値を[F11] (お買い上げ時の設定)、[F9.6]、[F8]、[F6.8]、[F5.6]、[F4.8]、[F4]から選びます。

📌ご注意

- アイリスを手動調節していると効果はありません。

ECS FREQ.

モニター画面を撮影するとき、映像に水平方向の縞模様が出ないように、シャッタースピードを設定します。SEL/PUSH EXECダイヤルで設定値を変更し、押して決定します(お買い上げ時の設定は[59.94Hz])。

あらかじめ拡張クリアスキャン(**ECS**)にすることで、シャッタースピードを設定することができます(33ページ)。

⇄ (IN/OUT REC)メニューの[HDV PROGRE.]または[DV PROGRE.]の[SCAN TYPE]の設定によって、設定できる周波数の範囲は以下ようになります。なお、⇄ (IN/OUT REC)メニューの[REC FORMAT]の設定により、[SCAN TYPE]の設定方法は異なります。
[HDV1080i] : [HDV PROGRE.] →
[REC TYPE] → [SCAN TYPE] で設定
[DV] : [DV PROGRE.] → [SCAN TYPE] で設定

SCAN TYPE	設定できる範囲
60	59.94Hz~199.8Hz
30	29.97Hz~199.8Hz
24, 24A*	23.98Hz~199.8Hz

* [HDV PROGRE.] → [REC TYPE] → [INTERLACE]のときに設定可能です。

FLCKR REDUCE

▶ ON

通常の撮影時に選びます。電源周波数が50Hzの蛍光灯などの光源下で画面のちらつきを軽減します。

OFF

フリッカーを低減したくないときに選びます。

📌ご注意

- 照明によっては低減効果が現れないことがあります。

CNTRST ENHCR

[ON]にすると、逆光シーンなどコントラストが高い画像を検出して、画像の黒つぶれを自動で軽減します(お買い上げ時の設定は[OFF])。

📌ご注意

- [BACK LIGHT]を[ON]にすると、設定が一時的に解除されます。

BACK LIGHT **AS**

[ON]に設定すると、が表示されて逆光補正されます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

📌ご注意

- 逆光補正中に[SPOTLIGHT]を[ON]にすると[BACK LIGHT]は[OFF]になります。
- アイリス、ゲイン、シャッタースピードのうち2つ以上を手動で設定していると、[BACK LIGHT]は[OFF]になります。
- 逆光補正中に[HYPER GAIN]を[ON]にすると、[BACK LIGHT]は[OFF]になります。

SPOTLIGHT **AS**

[ON] ()に設定すると、舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するとき、人物の顔などが白く飛んでしまうのを防げます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

📌 ご注意

- スポットライト中に[BACK LIGHT]を[ON]に設定すると、[SPOTLIGHT]は[OFF]になります。
- アイリス、ゲイン、シャッタースピードのうち2つ以上を手動で設定していると、スポットライトは使えません。
- スポットライト中に[HYPER GAIN]を[ON]にすると、[SPOTLIGHT]は[OFF]になります。

STEADYSHOT (AS)

■ ON/OFF

手ぶれ補正を使って撮影できます。三脚(別売り)を利用するときは、[OFF] (📵)にすると自然な画像になります(お買い上げ時の設定は[ON])。

■ TYPE

撮影状況に合わせて手ぶれ補正の效果を選ぶことができます。

HARD

強めに手ぶれ補正を働かせる。パン・ティルト撮影には向きません。

▶ STANDARD

通常の手ぶれ補正を使う。

SOFT

自然な手ぶれ感を残しつつ、手ぶれ補正を働かせる。

AF ASSIST

[ON]に設定すると、オートフォーカスのとき、フォーカスリングを回して一時的に手動でピントを合わせることができます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

📌 ご注意

- フォーカスリングがモードBのときに有効です(30ページ)。

FOCUS MACRO (AS)

80cm以内の被写体にもフォーカスを合わせることができます(お買い上げ時の設定は[ON])。

[OFF] (📵)に設定すると、80cmより近い被写体にはフォーカスが合わなくなりますが、ズーム位置によらずフォーカス位置を細かく決めることができます。

📌 ご注意

- フォーカスリングがモードBのときに有効です(30ページ)。

HANDLE ZOOM

ハンドルズーム切り換えスイッチが[FIX]のとき、ズームスピードを[1](遅い)～[8](速い)から選べます(お買い上げ時の設定は[3])。

D.EXTENDER (AS)

[ON] (📷)に設定すると、約1.5倍に画像を拡大表示します。デジタル処理のため画質は劣化します。野鳥などの遠方の被写体を拡大するときに便利です(お買い上げ時の設定は[OFF])。

📌 ご注意

- 本機の電源を入れなおすと自動的に「OFF」になります。

FADER (AS)

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

- ① スタンバイ中(フェードインのとき)または録画中(フェードアウトのとき)に使用したい効果を選ぶ。
- ② REC START/STOPボタンを押す。フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消えます。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

操作開始前に解除するには①で[OFF]を選ぶ。

1度REC START/STOPボタンを押すと、設定は解除されます。



WHITE FADER



BLACK FADER



⓪ご注意

- 本機の電源を入れなおすと[FADER]は自動的に解除されます。

SMTH SLW REC

通常撮影では見ることができない高速な動作、現象を、なめらかなスローモーション映像として撮影します。ゴルフ、テニスなどの速い動きの撮影時に便利です。

- ① [REC TIME]を設定する。
記録時間を[3sec] (お買い上げ時の設定)、[6sec]、[12sec]から選ぶ。
録画時間が長いほど、画質は劣化します。
- ② [REC TIMING]を設定する。
記録開始タイミングを[START TRIGGR]、[END TRIGGER]から選ぶ。
[START TRIGGR]を選ぶと REC START/STOP ボタンを押した後の、[END TRIGGER]を選ぶと押す前の動作、現象を記録します。



*お買い上げ時の設定は[START TRIGGR]です。

③ 撮影する

[EXECUTE]を選んでから、[SMTH SLW REC]画面で REC START/STOP ボタンを押す。

[REC TIME]で設定した秒数の約4倍のスローモーション映像として記録されます。

[Recording...]が消えると記録が完了します。

解除するにはMENUボタンを押す。

⓪ご注意

- 音声は記録されません。
- [SMTH SLW REC]の設定は、本機の電源を入れなおすと自動的に解除されます。
- シャッタースピードは、[SMTH SLW REC]開始時に1/250に設定されます。(1/250秒以下には設定できません)
- 録画時間は条件により設定した時間より短くなることがあります。
- 通常撮影時より画質は劣化します。

INTERVAL REC

一定時間ごとにテープへ画像を録画します。雲の動きや日照変化などを観察するときに便利です。再生するとなめらかに見えます。長時間撮影時は、ACアダプター/チャージャーから電源をとってください。



- ① SEL/PUSH EXECダイヤルで[ON/OFF] → [ON]を選ぶ。
- ② 1回の録画時間をお買い上げ時の設定 ([0.5sec])から変更する場合は以下の手順を行う。変更しない場合は、③に進む。SEL/PUSH EXECダイヤルで [REC TIME] → [0.5sec], [1sec], [1.5sec], [2sec] から録画時間を選ぶ。
- ③ インターバル時間をお買い上げ時の設定 ([30sec])から変更する場合は以下の手順を行う。変更しない場合は、④に進む。SEL/PUSH EXECダイヤルで [INTERVAL] → [30sec], [1min], [5min], [10min] からインターバル時間を選ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXECダイヤルで[OK]を選ぶ。
- ⑤ MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。
- ⑥ REC START/STOP ボタンを押す。インターバル録画が始まります。

中止するにはREC START/STOPボタンを押す。

REC START/STOPボタンを押すタイミングによって、以下のように動作します。インターバルレック録画中に押したときは、インターバル録画を一時停止します。もう一度押すと、インターバル録画が始まります。

インターバルレックのインターバル中に押したときは、インターバルレックは停止し通常の録画が始まります。もう一度押すと通常録画が中止され、さらにもう一度押すとインターバル録画が始まります。

解除するにはSEL/PUSH EXECダイヤルで[ON/OFF] → [OFF]を選ぶ。

●ご注意

- 録画時間とインターバル時間は、それぞれの設定時間と若干の誤差が生じることがあります。

- 手動でピントを合わせておくと、光が変化してもぼやけずに撮影できます。

DV FRAME REC (DVCAM DV 区)

本機を固定した状態で人形やおもちゃなどを少しずつ動かしながらコマ撮りをする、アニメーションのような効果を出せます。リモコンを使うと手ぶれを防げます。

▶ OFF

通常の撮影をする。

ON (▶)

コマ撮りする。

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルを回して [ON]を選び、押して決定する。
- ② MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。
- ③ REC START/STOP ボタンを押す。1コマ(約6フレーム)分を撮影し、スタンバイに戻ります。
- ④ 被写体を動かし、手順③を繰り返す。

●ご注意

- 連続してコマ撮りをする、テープ残量は正しく表示されません。
- 最終カットは通常の1コマよりも長くなります。
- コマ撮り中にはインデックスは打ち込めません。
- 本機の電源を入れなおすと自動的に「OFF」になります。

SHOT TRANSITION

48ページをご覧ください。

S.TRANS/F.MARK

SHOT TRANSITION/FOCUS

MARKINGボタンに割り当てる機能を選びます。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

▶ SHOT TRANSITION

ボタンにショットトランジション機能を割り当てます。

FOCUS MARKING

ボタンにフォーカスマーキング機能を割り当てます。

x.v.Color (HDMI1080i)

[ON]にして撮影すると、より広い色域で記録できます。今までは表現できなかった鮮やかな花の色や、南国の海の美しい青緑色などを再現することが可能になります。

ご注意

- [ON]にして撮影した画像をx.v.Colorに非対応のテレビで再生すると、色が正しく再現されない場合があります。
- 次のとき[x.v.Color]は設定できません。
 - SD(標準)画質で記録するとき
 - 動画を撮影中
- [x.v.Color]が[ON]のとき、ピクチャープロファイルは無効になります。

COLOR BAR (AS)

■ ON/OFF

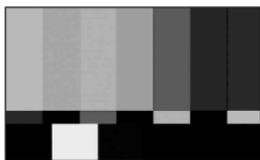
[ON]にするとカラーバーを表示したり、テープに記録することができます。本機で撮影した画像をテレビやモニターで見るときに、カラーバーを見ながら色味を調節するときに便利です(お買い上げ時の設定は[OFF])。

ご注意

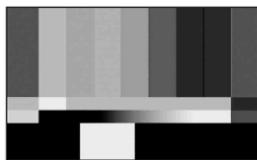
- 本機の電源を入れなおすと自動的に[OFF]になります。

■ TYPE

カラーバーのタイプを選べます。



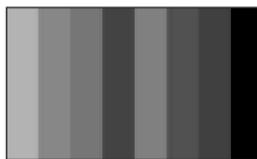
TYPE1



TYPE2



TYPE3



TYPE4
(TYPE3に対して輝度75%)

■ TONE

[ON/OFF]を[ON]に設定して、[TONE]を[ON]に設定すると、音声トーン(信号(1kHz:フルビット -20dB)を出力します(お買い上げ時の設定は[OFF])。

FLANGE BACK

フランジバック(レンズ取り付け面から結像面までの距離)の調整方法を選びます。調整手順は、11ページをご覧ください。

▶ AUTO ADJUST

フランジバックを自動で調整します。

MANU ADJUST

フランジバックを手動で調整します。

♪ (AUDIO SET)

メニュー

録音に関する設定(DV AU. MODE/XLR SETなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXEC ダイヤルで、♪ (AUDIO SET) を選択すると表示されます。

DV AU. MODE **DVCAM** DV **FS**

FS32K(32k)

12ビットモード(4チャンネルの音声)でDVCAM/DV SP記録するときを選びます。

▶ FS48K(48k)

16ビットモード(高音質で2チャンネルの音声)でDVCAM/DV SP記録するときを選びます。

📌ご注意

- HDV規格のときは、自動的に[FS48K]で記録されます。
- DVCAM規格の条件を満たしていないときは**NS**が表示されます(116ページ)。

AUDIO LIMIT

CH1/CH2に音割れ防止機能の設定をします。

▶ OFF

機能を使わないときに選びます。

ON

機能を使うときに選びます。

📌ご注意

- AUTO/MANスイッチが「MAN」のときのみ有効です。

XLR SET

■ XLR AGC LINK

外部マイク使用時のチャンネル1/2のAGC (Auto Gain Control)の連動/非連動を切り換えます。

▶ SEPARATE

AGC非連動にしたいとき(チャンネル1/2を別々の音声として記録したいとき)に選びます。

LINKED

AGC連動にしたいとき(チャンネル1/2をステレオのように1組の音声として記録したいとき)に選びます。ステータスチェック画面に**A**表示が出ます。

📌ご注意

AUTO/MANスイッチがCH1/CH2ともに「AUTO」で、INPUT1、INPUT2スイッチが両方とも「MIC」または両方とも「LINE」のときに有効です(44ページ)。

■ AU. MAN GAIN

外部マイク使用時のチャンネル1、2のオーディオレベルの連動/非連動を切り替えます。

▶ SEPARATE

オーディオレベル非連動にしたいとき(チャンネル1、2を別々の音声として記録したいとき)。

LINKED

オーディオレベル連動にしたいとき(チャンネル1、2をステレオのように1組の音声として記録したいとき)。ステータスチェック画面に**M**表示が出ます。

📌ご注意

- AUTO/MANスイッチがCH1/CH2ともに「MAN」で、INPUT1、INPUT2スイッチが両方とも「MIC」または両方とも「LINE」のときに有効です(44ページ)。
- [LINKED]設定時は、CH1のAUDIO LEVELダイヤルで音量調節できます(44ページ)。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (AUDIO SET)を選択すると表示されます。

■ INPUT1 MIC NR

マイクから入るノイズを低減するときに選びます。

▶ ON

機能を使うときに選びます。
ステータスチェック画面に**NR**が表示されます。

OFF

機能を使わないときに選びます。

📌ご注意

- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT1 TRIM

INPUT1端子から録音するときに、入力信号のレベルを調節します。

[-18dB]、[-12dB]、[-6dB]、[0dB]、
[+6dB]、[+12dB]から選びます(お買い上げ時の設定は[0dB])。

📌ご注意

- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT1 WIND

▶ OFF

INPUT1端子の風音低減をしないときに選びます。

ON

INPUT1端子の風音低減をするときに選びます。
ステータスチェック画面でが表示されます。

📌ご注意

- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT2 MIC NR

■ INPUT2 TRIM

■ INPUT2 WIND

INPUT2にも、それぞれINPUT1と同じ機能があります。

📌ちょっと一言

- 本機は-48dBuを0dBとして設計されています。
- 付属のマイク(ECM-XM1)をお使いのときは、[INPUT TRIM]を[0dB]に設定してください。
- 別売ソニー製マイク(ECM-NV1)をお使いのときは、[INPUT TRIM]を[+12dB]に設定してください。
- INPUT TRIM機能は外部マイク入力のレベルを調節します。
感度の高いマイクや大きな音を記録する場合はマイナス側に、感度の低いマイクや小さな音を記録する場合はプラス側に調節してください。
- 大音量で音がひずむ場合、入力部でひずむ場合と記録部でひずむ場合があります。入力部でひずむ場合は、INPUT TRIM機能で調節してください。記録部でひずむ場合は、手動で全体的なレベルを下げてください。
- INPUT TRIMをマイナス側にしすぎると、マイク音量が小さくなりすぎ、S/Nが悪くなります。
- 使用するマイクや音場に合わせて、あらかじめテストをしてご使用ください。

AUDIO CH SEL

▶ CH1, CH2

CH1、CH2の音をそれぞれのチャンネルで再生する。

CH1

CH1の音をチャンネル1/2で再生する。

CH2

CH2の音をチャンネル1/2で再生する。

📌ちょっと一言

- [CH1, CH2]を選択して、本機のスピーカーで再生した場合は、CH1+CH2の音になります。

DV AUDIO MIX **DVCAM DV**

他機でアフレコや4CHマイク録音したテープの音声を再生時に確認できます。アフレコしたテープの再生時に、出力される音声を選びます。

▶ CH1, CH2

撮影時の音声(CH1、CH2)のみを出力するときに選びます。

MIX

撮影時の音声(CH1、CH2)とアフレコ音声(CH3、CH4)を合成して出力するときに選びます。

CH3, CH4

アフレコした音声(CH3、CH4)のみを出力するときに選びます。

□ (DISPLAY SET) メニュー

画面/ファインダーの表示設定
(MARKER/VF B. LIGHT/DISP
OUTPUTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH
EXEC ダイヤルで、□ (DISPLAY
SET)を選択すると表示されます。

ZEBRA **AS**

明るさ調整をするときの目安にする
と便利です。

■ ON/OFF

[ON]にすると、 とレベルが表示されます。テープや“メモリースティック デュオ”にゼブラは記録されません。

■ LEVEL

輝度レベルを70~100または100+から選べます。

🗣️ ちょっと一言

- ゼブラとは、画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分に表示される縞模様のことです。

HISTOGRAM

ヒストグラム(画像の明るさの分布を表した図(グラフ))を見ながら、アイリスを調節できます(32ページ)。明るさを調節するときの目安にする
と便利です。テープや“メモリースティック デュオ”にヒストグラムは記録されません。

▶ OFF

ヒストグラムを表示しない。

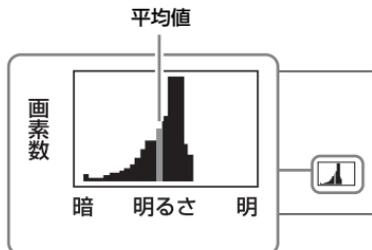
NORMAL

ヒストグラムを表示する。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXEC ダイアルで、 (DISPLAY SET)を選択すると表示されます。

ADVANCE

ヒストグラム上に画像の中心部(マーカー表示部分)の平均値を示すバーを表示する。



💡ちょっと一言

- グラフの左側は画面の暗い部分、右側は明るい部分を示します。
- ZEBRA設定時には、ヒストグラム上にガイドが表示されます。

PEAKING (AS)

■ ON/OFF

[ON]に設定すると、画面上に画像の輪郭が強調して表示されるので、ピントが合わせやすくなります(お買い上げ時の設定は[OFF])。

■ LEVEL

ピーキング感度を[HIGH]、[MIDDLE]、[LOW]から選べます(お買い上げ時の設定は[MIDDLE])。

📌ご注意

- 輪郭強調された画像はテープや*メモリスティック デュオ*に記録されません。

💡ちょっと一言

- 拡大フォーカス(31ページ)と一緒に使うと、ピントが合わせやすくなります。

MARKER (AS)

■ ON/OFF

[ON]にするとマーカーが表示されます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

テープや*メモリスティック デュオ*にマーカーは記録されません。

■ CENTER

[ON]にすると画面の中心にマーカーを表示する(お買い上げ時の設定は[ON])。



■ ASPECT

[4:3]、[13:9]、[14:9]から選んだアスペクト比位置にマーカーを表示する(お買い上げ時の設定は[OFF])。



■ SAFETY ZONE

[80%]または[90%]を選ぶと、一般的な家庭用テレビで受信できる範囲を選んでマーカーを表示する(お買い上げ時の設定は[OFF])。



■ GUIDEFAME

[ON]に設定すると、フレームを表示して被写体が水平/垂直になっているかを確認できる(お買い上げ時の設定は[OFF])。



📌ご注意

- マーカー表示中は、外部出力端子から画面表示を出力することはできません。
- [DATE REC]が[ON]のときは、マーカー表示できません。

💡ちょっと一言

- すべてのマーカーを同時に表示できます。
- GUIDEFAMEの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。
- マーカー表示は、LCDパネルとファインダーのみに表示されます(外部に出力することはできません)。

CAM LEVELING

[ON]に設定すると、画面上に水平メーターを表示して、カメラの水平レベルを確認できます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

EXP.FOCUS TYPE

拡大フォーカスの表示方法を設定できます。

▶ TYPE 1

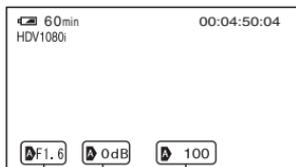
画像をそのまま拡大する。

TYPE 2

画像を白黒にして拡大する。

CAM DATA DSP

[ON]にするとアイリス、シャッター、ゲインの値を常に表示します(お買い上げ時の設定は[OFF])。



アイリス値

シャッタースピード値

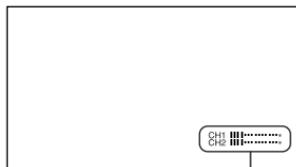
ゲイン値

🗣️ ちょっと言

- カメラデータ表示の設定に関わらず、マニュアル設定時は設定値が表示されます。
- **A** は自動設定されていることを示します。
- DATA CODE ボタンを押したときに表示される項目とは異なります(55ページ)。

AU. LVL DISP

画面にオーディオレベルメーターが表示されます(お買い上げ時の設定は[ON])。



オーディオレベルメーター

ZOOM DISPLAY

▶ BAR

ズーム位置をバーで表示する。

NUMBER

ズーム位置を数値(0~99)で表示する。

FOCUS DISP

マニュアルフォーカス時の焦点距離の表示方法を変更できます。

▶ METER

フォーカスをメートルで表示する。

FEET

フォーカスをフィートで表示する。

SHUTTER DISP

シャッタースピードの表示方法を変更できます。

▶ SECOND

シャッタースピードを秒で表示する。

DEGREE

撮像素子から読み出す周期と同じスピードを360°として表示する。

— [SCAN TYPE]が[60]設定時: 1/60で360°

— [SCAN TYPE]が[24]、[24A]設定時: 1/24で360°

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXEC ダイアルで、 (DISPLAY SET)を選択すると表示されます。

– [SCAN TYPE]が[30]設定時: 1/30で
360°

[SCAN TYPE]の設定について詳しくは、
[HDV PROGRE.] (82ページ)または
[DV PROGRE.] (83ページ)をご覧ください。

📌ご注意

- DATA CODEボタンを押したときに表示されるシャッタースピードは、この設定にかかわらず秒表示となります。

💡ちょっと一言

- 360° より長いシャッタースピードの場合は、360° の整数倍(360° ×2など)で表示します。

LCD BRIGHT

液晶画面の明るさを調節できます。録画される画像に影響はありません。

💡ちょっと一言

- 液晶画面バックライトを消すこともできます(20ページ)。

LCD COLOR

液晶画面の濃さを調節できます。録画される画像に影響はありません。

LCD BL LEVEL

液晶画面バックライトの明るさを調節できます。

▶ NORMAL

通常の設定(標準の明るさ)。

BRIGHT

画面が暗いと感じたときに選ぶ。

📌ご注意

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[BRIGHT]になります。
- [BRIGHT]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

VF B. LIGHT

ファインダーの明るさを調節できます。

▶ NORMAL

通常の設定(標準の明るさ)。

BRIGHT

ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

📌ご注意

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[BRIGHT]になります。
- [BRIGHT]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

VF COLOR

▶ ON

ビューファインダーをカラーで表示させる。

OFF

ビューファインダーを白黒で表示させる。

VF POWERMODE

▶ AUTO

液晶画面を閉じたときと対面撮影時に、ファインダーが点灯する。

ON

常にファインダーが点灯する。

LETTER SIZE

▶ NORMAL

通常の大きさでメニュー表示する。

2x

選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。

REMAINING

▶ AUTO

次のときにテープ残量を約8秒間表示する。

⇄ (IN/OUT REC)

メニュー

- カセットが入った状態でPOWERスイッチを「VCR」か「CAMERA」にしたとき
- ▶ (再生) ボタンまたはDISPLAY/BATT INFOボタンを押したとき

ON

テープ残量を常に表示する。

新品のテープやテープトップまで巻き戻したテープを挿入したときは、テープ残量は表示されません。テープの再生や録画を開始すると、テープ残量が表示されます。

DISP OUTPUT

タイムコードなどの画面表示の出力先を設定します。

▶ LCD PANEL

ファインダーと液晶画面に出力する。

V-OUT/PANEL

ファインダー、映像音声出力と液晶画面に出力する。

ALL OUTPUT

ファインダー、HDMI出力、コンポーネント出力、映像音声出力と液晶画面に出力する。

⚠ ご注意

- [MARKER] が [ON] のときは、画面表示を外部出力できません。

録画、入出力に関する設定 (REC FORMAT/HDV PROGRE./VIDEO OUT/EXT REC CTRL など)

▶ は、お買い上げ時の設定。

() 内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENU ボタンを押す → SEL/PUSH EXEC ダイアルで、⇄ (IN/OUT REC) を選択すると表示されます。

REC FORMAT

撮影する録画規格を選択できます。

▶ HDV1080i (HDV1080i)

HDV規格の1080i方式で撮影する。

DV (DVCAM DV 型)

DVCAM (DV) 規格で撮影する。

DVCAM (DV) 規格で撮影するときは、[DV REC MODE] も設定する。

⚠ ご注意

- 撮影中の画像を i.LINK 出力するときは、必要に応じて [i.LINK SET] (84ページ) もあわせて設定してください。

VCR HDV/DV

再生するときの信号を選びます。通常は [AUTO] に設定してください。

i.LINK ケーブル接続時は、HDV/DV 端子 (i.LINK) から入力/出力する信号を選びます。ここで選択した信号をテープに記録/再生します。

▶ AUTO

テープ再生時、自動で HDV/DV 規格の信号を切り換えて、再生する。

i.LINK 接続時は、自動で HDV/DVCAM (DV) 規格の信号に切り換えて、HDV/DV 端子 (i.LINK) から入出力して、記録/再生する。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (IN/OUT REC)を選択すると表示されます。

HDV (HDV1080i)

テープ再生時、HDV規格で記録された部分のみ再生する。

i.LINK接続時はHDV規格の信号のみを  HDV/DV端子 (i.LINK) から入出力して、記録/再生する。また、パソコンなどと接続するときを選ぶ。

DV (DV)

テープ再生時、DVCAM (DV) 規格で記録された部分のみ再生する。

i.LINK接続時はDVCAM (DV) 規格の信号のみを  HDV/DV端子 (i.LINK) から入出力して、記録/再生する。また、パソコンなどと接続するときを選ぶ。

📌ご注意

- 設定を変える前に、必ずi.LINKケーブルを抜いてください。つないだまま設定を変えると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。
- [AUTO] を選ぶと、HDVとDVCAM (DV) の信号が切り換わるときに一時画面が消えて、画像と音声途切れます。
- [i.LINK SET] → [HDV→DV CONV] が [ON] になっているときは、次の信号が出力されません。
 - [AUTO] のときは、HDV信号はDVCAM (DV) に変換され、DVCAM (DV) 信号はそのまま出力されます。
 - [HDV] のときは、HDV信号はDVCAM (DV) に変換され、DVCAM (DV) 信号の部分は出力されません。
 - [DV] のときは、DVCAM (DV) 信号はそのまま出力され、HDV信号の部分は出力されません。

HDV PROGRE.

■ REC TYPE

HDV規格での録画方式を [INTERLACE]、[PROGRESSIVE] から選びます (お買い上げ時の設定は [INTERLACE])。

■ SCAN TYPE

HDV規格でのスキャン方式を選ぶことができます。

▶ 60

インターレース方式で撮影する。

24

映画と同じ1秒間24コマの動画を撮影する。

24A

映画と同じ1秒間24コマの動画を撮影する。

HDV規格で記録するときは記録開始毎に60i変換の位相をリセットします。

30

CM撮影などと同じ1秒間30コマの動画を撮影する。

📌ご注意

- [REC TYPE] によって、選べる [SCAN TYPE] は異なります。
 - [INTERLACE]: [60]/[24]/[24A]/[30]
 - [PROGRESSIVE]: [24]/[30]
- REC TYPEを [PROGRESSIVE] 設定で記録したテープは、これに対応した機器でしか再生できません。
- [24A] でHDV規格で記録すると、タイムコードが正しくつながりません。また、再生時、場面と場面の間が一瞬止まりますが、i.LINKケーブルで本機とパソコンをつなぎパソコンに動画を取り込むと、通常の動画として扱うことができます。
- [REC TYPE] が [PROGRESSIVE] で [SCAN TYPE] が [24] のときは、画像やタイムコードは24フレーム/秒で記録され、画面表示部分は30フレーム/秒で表示されます。外部出力するときは30フレーム/秒で出力されますが、 HDV/DV端子を使った外部出力の場合は、 (IN/OUT REC) メニュー → [i.LINK SET] → [HDV→DV CONV] の設定により、それぞれ以下のように出力されます。
[OFF] に設定: 24フレーム/秒で出力
[ON] に設定: 30フレーム/秒で出力

ⓘ HDV/DV端子を使わないで外部出力した場合は、30フレーム/秒で出力されます。

DV PROGRE. DVCAM DV ㉔

■ SCAN TYPE

DVCAM/DV規格でのスキャン方式を選ぶことができます。

▶ 60

インターレース方式で撮影する。

24

映画と同じ1秒間24コマの動画を撮影する。

30

CM撮影などと同じ1秒間30コマの動画を撮影する。

DV REC MODE DVCAM DV ㉔

[REC FORMAT]が[DV]のときのみ有効です。

▶ DVCAM(DVCAM)

DVCAM方式で録画する。

DV SP(DV ㉔)

DV方式のSP(標準)モードで録画する。
DVCAM方式に比べ、長時間録画できる。

ⓘ ご注意

- DV SPモードで録画したテープを他機で再生すると、モザイク状のノイズが現れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- テープの途中でDVCAMとDV SPモードを切り換えると、画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

DV WIDE REC DVCAM DV ㉔

つなぐテレビの画像の比率に合った画像サイズで撮影できます。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

▶ ON

ワイド(16:9)テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

OFF(4:3)

4:3テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

ⓘ ご注意

- 再生時に接続するテレビに合わせて[DV WIDE CONV]を正しく設定してください(84ページ)。
- HDV規格で録画する場合は、画像サイズは16:9に固定され、4:3にできません。

VIDEO OUT

■ COMPONENT

コンポーネント端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

480i

480iに対応したテレビとつなぐときに選ぶ。

▶ 1080i/480i

1080iに対応したテレビとつなぐときに選ぶ。

■ DOWN CONVERT

HDV規格の映像信号出力形式を設定します。以下の出力に対して有効です。

- COMPONENT出力(480i出力)
- S VIDEO出力
- AUDIO/VIDEO出力

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

LETTER BOX

垂直方向を圧縮することにより、縦横比を損なうことなく出力する。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (IN/OUT REC)を選択すると表示されます。

📌ご注意

- [DV WIDE REC]を[ON]にしてDVCAM (DV)規格で撮影したテープを4:3テレビで見ると、接続するテレビによっては、画面の天地はそのままで、水平方向を圧縮して再生します。そのような4:3テレビで見るときは、[DV WIDE CONV]を[LETTER BOX]または[EDGE CROP]に設定してください。

■ DV WIDE CONV

DVワイド規格の映像信号出力形式を設定します。

以下の出力に対して有効です。

- COMPONENT出力(480i出力)
- S VIDEO出力
- AUDIO/VIDEO出力

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

LETTER BOX

垂直方向を圧縮することにより、縦横比を損なうことなく出力する。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

i.LINK SET

■ HDV→DV CONV

[ON]に設定すると、HDV規格の信号をDV規格に変換して、HDV/DV端子(i.LINK)から出力します。DV規格の信号は、そのままDV規格で出力されます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

■ DOWN CONVERT

[HDV→DV CONV]を[ON]に設定した場合の、HDV規格の映像信号出力形式を設定します。

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

📌ご注意

- i.LINK入力については、[VCR HDV/DV]をご覧ください(81ページ)。
- 設定を変える前に、必ずi.LINKケーブルを抜いてください。つないだまま設定を変えると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。

EXT REC CTRL

本機とHDV/DVCAM/DV対応の機器(デジタルHDビデオカメラレコーダーやデジタルビデオカメラレコーダー、ハードディスクレコーダーなど)をi.LINKケーブルでつなぎ、本機と他機で同時に撮影したり、本機から他機へ連続して撮影することができます。

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

■ REC CTL MODE

▶ OFF

他機で録画を行わない。

SYNCHRONOUS(EXT)

本機の録画操作に連動して、他機側でも同時に映像、音声、タイムコードを記録する。

RELAY(EXT)

本機で撮影中のテープが終了近くになったら、他機で映像、音声、タイムコードを続けて記録する。

EXT ONLY(EXT)

本機のREC START/STOPボタンで外部レコーディングユニット*を操作できます。

* HVR-MRC1(付属)またはHVR-DR60(別売)

00:00 (TC/UB SET)**メニュー**

(TC PRESET/UB PRESET/TC LINK など)

▶は、お買い上げ時の設定。

()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、00:00 (TC/UB SET)を選択すると表示されます。

TC PRESET**PRESET**

タイムコードをプリセットします。

- SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[TC PRESET]を選び、押して決定する。
- SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[PRESET]を選び、押して決定する。
- SEL/PUSH EXECダイヤルを回して最初の2桁の数値を選び、押して決定する。
タイムコードは、00:00:00:00～23:59:59:29の範囲で設定します。
- 手順③と同様にして、他の桁を設定する。
- SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[OK]を選び、押して決定する。

RESET

タイムコードをリセット(00:00:00:00)します。

PRESETの手順①で[RESET]を選ぶ。

TC COUNTUP AS

実行すると、タイムコードの時をひとつ繰り上げて、分、秒、フレームを00にします。

⚠**ご注意**

[TC MAKE]が[PRESET]に設定されているときに実行可能です。

⚠**ご注意**

- [EXT ONLY]に設定すると、テープがセットされていなくても**00**は点滅しません。
- [EXT ONLY]に設定すると、本機のREC START/STOPボタンが外部レコーディングユニット用の録画ボタンとして割り当てられます。テープに録画する場合は、ビデオ操作部のRECボタンで録画開始、STOPボタンで録画停止できます(136ページ)。
- [EXT ONLY]に対応していない外部レコーディングユニットが接続されている場合は、**EXT**(EXT ONLY)が点滅します。

STBY COMMAND**▶ REC PAUSE**

本機の録画停止操作で、他機をREC PAUSE状態にして録画停止する。

STOP

本機の録画停止操作で、他機をSTOP状態にして録画停止する。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXEC ダイアルで、**00:00** (TC/UB SET)を選択すると表示されます。

UB PRESET

■ PRESET

ユーザービットをプリセットします。

- ① SEL/PUSH EXEC ダイアルを回して [UB PRESET] を選び、押して決定する。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアルを回して [PRESET] を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアルを回して最初の2桁の数値を選び、押して決定する。
- ④ 手順③と同様にして、他の桁を設定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイアルを回して [OK] を選び、押して決定する。

■ RESET

ユーザービットをリセット(00 00 00 00)します。

PRESETの手順①で[RESET]を選ぶ。

TC FORMAT

タイムコードの記録方式を選びます。

▶ AUTO

タイムコードの記録方式を、すでにテープに記録されている方式に自動的に合わせる。

DF

タイムコードをドロップフレーム方式で記録する。

NDF

タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。

🗨️ちょっと一言

ドロップフレームとは

タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。こ

のような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

TC RUN

タイムコードの歩進を選びます。

▶ REC RUN

記録中のみタイムコードが歩進します。つなぎ撮りをしたテープの上のタイムコードに連続して記録する。

FREE RUN

本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進します。タイムコードを実時間に合わせる。

TC MAKE

▶ REGENERATE

つなぎ撮り中に、テープに記録させたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。[TC RUN]の設定に関わらず、タイムコードは[REC RUN]モードで歩進します。

PRESET

新たに設定したタイムコードをテープに記録する。

TC LINK

複数のカムコーダーのタイムコードを同期させることができます。

複数のカムコーダーで撮影するときタイムコードを同期させておくと、編集などで便利になります。

- ① タイムコードを発生させるカメラ(親機)と、親機のタイムコードに合わせるカメラ(子機)を決める。親機にはテープを入れておく。
- ② 親機、子機共にPOWERスイッチを「CAMERA」にする。
- ③ 親機と子機をi.LINKケーブルで接続する。

- ④ 親機、子機共、以下のメニュー設定を行う。
- [TC RUN]を[FREE RUN]に設定(86ページ)。
 - [TC MAKE]を[PRESET]に設定(86ページ)。
 - [TC FORMAT]を親機、子機ともに同じ設定にする(86ページ)。

～以下、子機側の動作～

- ⑤ [TC/UB SET]→[TC LINK]を選択する。
[Synchronize TC with connected device?]のメッセージが表示される。
- ⑥ [YES]を選び、子機のタイムコードを親機のタイムコードと同期させる。
同期が完了したら、i.LINK ケーブルを抜く。
同期したタイムコードで撮影できます。

⚠️ ご注意

- 3台以上で[TC LINK]する場合は、1台の親機から複数台の子機に上記手順を繰り返してください。
- タイムコードをあわせた後、時間経過に伴い数フレーム程度ずれることがあります。
- 電源を入れ直すと数フレームタイムコードがずれることがあります。
電源を入れ直したあとは、再度[TC LINK]を実行することをおすすめします。

UB TIME REC

▶ OFF

時刻をユーザービットコードとして記録しない。

ON

時刻をユーザービットコードとして記録する。

UB-DATE/TC-TIME

実行すると、本機に設定されている日付がユーザービットに、時刻がタイムコードに設定されます。

⚠️ ご注意

- 以下のときに設定可能です。
 - [TC MAKE] : [PRESET]
 - [TC RUN] : [FREE RUN]
 - [UB TIME REC] : [OFF]
- 時間経過に伴い、設定したタイムコードと実時刻にズレが生じることがあります。撮影を開始する前に再度[UB-DATE/TC-TIME]を実行することをおすすめします。
- 実際の日付が変わったときでも、ユーザービットの日付は自動更新されません。

(MEMORY SET)

メニュー

“メモリスティック デュオ”に関する設定(ALL ERASE/FORMATなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。

操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXEC ダイアルで、 (MEMORY SET)を選択すると表示されます。

ALL ERASE

プロテクトのかかっていない“メモリスティック デュオ”内または選択フォルダ内の全画像を消します。

① [ALL FILES]か[CURRENT FLDR]を選ぶ。

[ALL FILES]: “メモリスティック デュオ”内のすべての画像を消去。

[CURRENT FLDR]: 選択しているフォルダ内のすべての画像を消去。

② SEL/PUSH EXECダイアルで

[YES]→[YES]を選ぶ。

[ Erasing all data...]と表示される。プロテクトのかかっていないすべての画像が消去されると、「Completed.」と表示される。

ご注意

- 誤消去防止スイッチのある“メモリスティック デュオ”は、誤消去防止を解除する(117ページ)。
- 全消去しても、フォルダは消去されません。
- [ Erasing all data...]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
 - POWERスイッチ/ボタン操作
 - “メモリスティック デュオ”の取り出し

FORMAT

“メモリスティック デュオ”はお買い上げ時にフォーマット済みのため、フォーマットする必要はありません。フォーマットを実行するには[YES]→[YES]の順に選ぶ。

ご注意

- [ Formatting...]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
 - POWERスイッチ/ボタン操作
 - “メモリスティック デュオ”の取り出し
- 新しく作成したフォルダやプロテクトのかかっている画像もすべて消去されます。

FILE NO.

▶ SERIES

“メモリスティック デュオ”を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。フォルダを新しく作成、または記録先フォルダを変更した場合はリセットされる。

RESET

“メモリスティック デュオ”ごとに、ファイル番号を0001から付ける。

NEW FOLDER

[YES]を選ぶと“メモリスティック デュオ”内に、新フォルダ(102MSDCF～999MSDCFまで)を作成できます。1つのフォルダの静止画が9,999枚になると、自動的に新フォルダを作成します。

ご注意

- 1度作成した新フォルダは、本機で削除できません。“メモリスティック デュオ”をフォーマットするか(88ページ)、パソコンなどで削除してください。
- フォルダが増えると、“メモリスティック デュオ”の残量が減ることもあります。

☒ (OTHERS) メニュー

REC FOLDER

SEL/PUSH EXEC ダイアルで記録するフォルダを選んでSEL/PUSH EXEC ダイアルを押す。

🗨️ちよっと一言

- お買い上げ時の設定では、ファイルは「101MSDCF」に記録されます。
- いったん画像を記録すると、そのとき選ばれている記録先フォルダが、再生フォルダに設定されます。

PB FOLDER

SEL/PUSH EXEC ダイアルで再生するフォルダを選んでSEL/PUSH EXEC ダイアルを押す。

テープ撮影時の設定や、各種基本設定 (QUICK REC/BEEPなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
()内の表示が画面に出ます。
操作方法は64ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXEC ダイアルで、☒ (OTHERS) を選択すると表示されます。

CAMERA PROF.

カメラの設定内容をカメラプロファイルとして“メモリースティック デュオ”に99個まで、本機内に2つまで保存できます。保存した設定を使って適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。また、本機を複数台同じ設定で使用したい場合は、“メモリースティック デュオ”に設定値を保存して、他のカメラで保存した設定値を読み出すことができます。

🗨️ちよっと一言

- カメラプロファイルで保存される項目はメニュー、ピクチャープロファイル、ボタンなどの設定値です。これらの設定値をまとめてカメラプロファイルに保存します。

■ カメラプロファイルを読み込む

カメラプロファイルを読み込んで、設定を実行します。

- ① SEL/PUSH EXEC ダイアルで [LOAD] を選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアルで読み込むカメラプロファイルを選ぶ。
- ③ 確認画面で [YES] を選択する。
いったん本機が再起動して、選択したカメラプロファイルが反映される。

📌ご注意

- 異なる型名の機種で保存したカメラプロファイルやパソコンなどで編集したカメラプロファイルは読み込めません。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXEC ダイアルで、 (OTHERS)を選択すると表示されます。

■ カメラプロフィールを保存する

- ① SEL/PUSH EXEC ダイアルで[SAVE]を選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアルで、“メモリースティック デュオ”に保存する場合は[MEMORY STICK]、本機内に保存する場合は[CAMERA]を選ぶ。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアルで[NEW FILE]、または既存のプロファイル名を選ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXEC ダイアルで、確認画面で[YES]を選ぶ。
カメラプロフィールが保存されます。

👉ちょっと一言

- [MEMORY STICK]で[NEW FILE]を選んだ場合、プロフィール名は[MS01](初めて保存する場合)になります。
- [CAMERA]で[NEW FILE]を選んだ場合、プロフィール名は[CAM1]または[CAM2]になります。
- 既存のカメラプロフィールを保存先に選んだ場合は上書き保存されます。
- “メモリースティック デュオ”に保存した設定はパソコンで閲覧、編集できません。
- 静止画撮影した“メモリースティック デュオ”に設定値を保存できます。

■ プロファイル名を変える

保存したカメラプロフィールの名前を変えられます。

- ① SEL/PUSH EXEC ダイアルで[PROFILE NAME]を選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアルで名前を変えるカメラプロフィールを選ぶ。
プロフィール名画面になる。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイアルで名前を入力する。

👉ちょっと一言

- 名前の入力方法はピクチャプロフィールの名前の設定方法と同じです(43ページ)。

- ④ SEL/PUSH EXECダイアルで[OK]を選び、押し決定する。
プロフィール名が変更されます。

■ カメラプロフィールを削除する

- ① SEL/PUSH EXEC ダイアルで[DELETE]を選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアルで削除するカメラプロフィールを選ぶ。
- ③ 確認画面で[YES]を選択する。

■ カメラプロフィールをコピーする

本機に保存したカメラプロフィールを“メモリースティック デュオ”にコピーできます。

- ① SEL/PUSH EXEC ダイアルで[COPY]を選ぶ。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイアルでコピーしたいカメラプロフィールを選ぶ。
- ③ コピー先メディア(カメラ本体または“メモリースティック デュオ”)を選ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXEC ダイアルで[NEW FILE]または既存のプロファイル名を選ぶ。
- ⑤ 確認画面で[YES]を選択する。

👉ちょっと一言

- “メモリースティック デュオ”に保存したカメラプロフィールを本機にコピーすることもできます。

ASSIGN BTN

45ページをご覧ください。

CLOCK SET

22ページをご覧ください。

WORLD TIME

海外で使うときは、SEL/PUSH EXEC ダイアルで時差を設定し、現地時刻に合わせる。時差を0に設定すると元の設定に戻ります。

LANGUAGE

日本語

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを日本語で表示する。

▶ ENGLISH

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを英語で表示する。

ENG[SIMP]

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを簡易英語で表示する。

PB ZOOM

[ON]に設定すると、再生中の動画をハンドルズームレバーで約1.1倍～約5倍の範囲で拡大表示できます(お買い上げ時の設定は[OFF])。静止画の再生時は、約1.5倍～約5倍の範囲で拡大表示できます。終了するには、ハンドルズームレバーのW側を押し続けてください。

💡ちよつと一言

- 再生ズーム中に、SEL/PUSH EXECダイヤルを押してから回すと、左右にズーム位置を変更できます。SEL/PUSH EXECダイヤルをもう一度押してから回すと、上下にズーム位置を変更できます。

QUICK REC (HDV1080i)

[ON]に設定すると、POWERスイッチが「OFF」の状態から録画を再開するとき、撮影開始までの時間を少し短縮することができます。

▶ OFF

撮影開始までの時間は少しかかるが、つなぎめがきれいに撮れる。

ON (Q.REC)

POWERスイッチが「OFF」の状態からの撮影開始時間を短縮できる。録画チャンス逃したくないときに選ぶ。

💡ちよつと一言

- [ON]にすると、場面と場面の間が一瞬止まります。(パソコンでの編集をおすすめします。)
- 撮影スタンバイの状態が約3分以上続くと、自動的にドラムの回転が止まり、スタンバイ状態が解除されます。これはテープを保護し、バッテリーの消耗を防ぐためです。録画を再開するには、もう一度REC START/STOPボタンを押してください。

DATE REC

▶ OFF

日付と時刻を画像に直接記録しない。

ON

撮影時に日付と時刻を画像に直接記録する。

💡ちよつと一言

- [DV WIDE REC]を[OFF]にしている場合、日付表示は4:3エリア外にはみ出して表示されませんが、記録される日付映像には影響ありません。
- HDV規格で記録する場合、日付時刻は撮影時と再生時でずれた位置に表示されます。

BEEP

▶ OFF

操作音を出さない。

ON

撮影スタート/ストップ時の操作時などにメロディが鳴る。

REC LAMP [F] (AS)

[OFF]に設定すると、本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しないようにできます(お買い上げ時の設定は[ON])。

REC LAMP [R] (AS)

[OFF]に設定すると、本体後面の録画ランプが撮影中に点灯しないようにできます(お買い上げ時の設定は[ON])。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXEC ダイヤルで、 (OTHERS)を選択すると表示されます。

REMOTE CTRL

お買い上げ時の設定は[ON]のため、付属のワイヤレスリモコン(137ページ)が使えます。

💡ちょっと一言

- [OFF]に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

HOURS METER

本機の通電時間、ドラム回転時間、テープ走行時間、アンスレディング回数をそれぞれ累計して、画面に表示します。

OPERATION

本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示する。

DRUM RUN

ヘッドドラムが回転している時間を累計して、10時間単位で表示する。

TAPE RUN

テープが走行している時間を累計して、10時間単位で表示する。

THREADING

カセットを出し入れした回数を累計して、10回単位で表示する。

他のビデオ、DVD/HDDレコーダーにダビングする

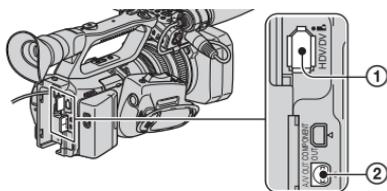
電源は、別売りのACアダプターを使ってコンセントからとってください(18ページ)。
また、つなく機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続する

ビデオ、DVD/HDD機器の種類や接続する端子によって、接続方法や取り込まれる画質が異なります。

本機の端子について

端子カバーを開けて接続してください。



他のビデオ、DVD/HDDレコーダーにダビングする(つづき)

📡: 信号の流れ

本機の端子	必要なケーブル	接続する端子	接続する機器
①	i.LINKケーブル(別売り)	i.LINK	HDV1080i方式対応機器 →HD画質*1 
①	i.LINKケーブル(別売り)	i.LINK	i.LINK端子付きのAV機器 →SD画質*1 
②	S映像ケーブル付きのA/V接続ケーブル(別売り)	S(S1,S2)ビデオ 映像 音声 (白) (赤) (黄)	S(S1,S2)映像端子付きのAV機器 →SD画質*1 
②	A/V接続ケーブル(付属)	映像 音声 (黄) (白) (赤)	映像、音声端子付きのAV機器*2 →SD画質*1 

*1 DVCAM(DV) 規格で撮影した画像は、どの接続でもSD(標準)画質でダビングされます。

*2 モノラル(ひとつの音声入力)の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつないでください。

📢ご注意

- HDMIケーブルを使つてのダビングはできません。

i.LINKケーブル(別売り)でつなぐときは

ダビングされる画像の規格(HDVまたはDV)は、撮影した画像や相手機器が対応している規格によって異なります。下記の表でダビングしたい規格を選び、必要なメニュー設定を行ってください。

📢ご注意

- メニュー設定を変える前に、i.LINKケーブルを抜いてください。つないでから設定を変えると、ビデオ/DVD機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。

👁ちょっと一言

- 本機のi.LINK端子は6ピンです。接続する機器側の端子は、接続する機器に合わせてください。

ダビングしたい規格	本機で撮影した画像の規格	相手機器の対応規格		メニュー設定	
		HDV規格*1	DVCAM (DV) 規格	[VCR HDV/DV] (81ページ)	[i.LINK SET] (84ページ)
HDV画像をHDVでダビング	HDV	HDV	—*3		[OFF]
HDV画像をDVCAM (DV) に変換してダビング	HDV	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	[AUTO]	[ON]
DV画像をDVCAM (DV) でダビング	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)		[OFF]
HDV規格とDVCAM(DV) 規格が混在したテープのときは					
HDV、DVCAM(DV)どちらもDVCAM(DV)に変換してダビング	HDV/DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	[AUTO]	[ON]
HDV規格で撮影した部分のみダビング	HDV	HDV	—*3	[HDV]	[OFF]
	DVCAM (DV)	—*2	—*3		
DVCAM(DV) 規格で撮影した部分のみダビング	HDV	—*2	—*2	[DV]	[OFF]
	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)	DVCAM (DV)		

*1 HDV1080i方式に対応している機器です。

*2 無記録部分としてダビングします(画像、音声は記録されません)。

*3 画像を認識できません(無記録状態になります)。

ⓘ ご注意

- [VCR HDV/DV]が[AUTO]のときは、HDVとDVCAM(DV)の信号が切り換わるときに一時画面が消えて、画像と音声途切れます。
- 録画側にHVR-Z7Jを使用する場合は、[VCR HDV/DV]を[AUTO]にしてください(81ページ)。
- 再生側と録画側の両方にHVR-Z7JなどのHDV1080i方式対応機器を使用して、i.LINKケーブルで接続したときは、録画を一時停止または停止したあとで再開すると、スムーズにつながりません。
- A/V接続ケーブルでつなぐときは、[DISP OUTPUT]を[LCD PANEL] (お買い上げ時の設定)にしてください(81ページ)。

S(S1、S2)端子つきのA/V接続ケーブル(別売り)でつなぐときは

映像プラグ(黄色)のかわりにS(S1、S2)映像端子を接続してください。A/V接続ケーブルでの接続に比べ、画像をより忠実に再現できます。DVCAM(DV)方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。S映像ケーブルのみをつないだ場合、音声は出力されません。

ダビングする

1 本機(再生側)の準備をする。

撮影済みのカセットを入れる。
POWERスイッチを「VCR」にする。

再生機器(テレビなど)に合わせて、
[DOWN CONVERT]を設定してください(83ページ)。

2 ビデオ(録画側)の準備をする。

ビデオは録画用カセット、DVDレコーダーは録画用DVDを入れる。

入力切り換えスイッチがある場合は「入力」(ビデオ1、ビデオ2入力など)にする。

3 本機とビデオ/DVD機器などをつなぐ。

接続について詳しくは、93ページをご覧ください。

4 本機で再生を始め、ビデオ/DVD機器などで録画する。

詳しくは、ビデオ/DVD機器などの取扱説明書をご覧ください。

5 ダビングが終わったら、ビデオ/DVD機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

📌ご注意

- i.LINK/HDV/DV端子(i.LINK)接続では、次のものは録画されません。
 - 画面表示
 - 他機で付けたタイトル

- HDV規格の場合は、再生一時停止中の画像や変速再生している画像は、i.LINK/HDV/DV端子(i.LINK)から出力されません。
- i.LINKケーブル接続時は、次のことにご注意ください。
 - 再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなる場合があります。
 - ご使用する機器やアプリケーションなどによっては日時やカメラデータが表示、記録されない場合があります。
 - 映像または音声のみを記録することはできません。
- i.LINKケーブルで接続してダビングするとき、DVDレコーダー側から本機の操作が可能と説明されている機器でも操作ができない場合があります。DVDレコーダーの入力モードを「HDV」または「DV」に切り換えるなどして映像の入出力が可能なときは、「他のビデオ、DVD/HDDレコーダーにダビングする」の手順でダビングしてください。

🗣️ちょっと一言

- AV接続ケーブルでつないで日時やカメラデータなどをダビングしたいときは、それらを表示させてください。
- i.LINKケーブル接続時は、デジタル信号でやりとりをするので画質・音質の劣化がほとんどありません。
- i.LINKケーブル接続時は、出力される信号の規格(HDVout **i.LINK** または DVout **i.LINK**)が本機の液晶画面に表示されます。

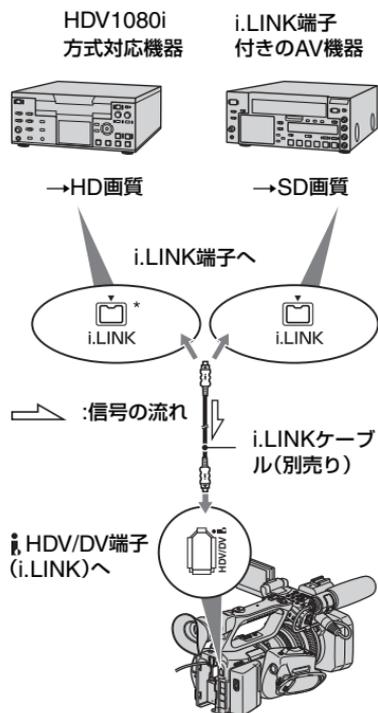
ビデオの画像を本機で録画する i.LINK

ビデオの画像を本機のテープや“メモリースティック デュオ”に録画できます。“メモリースティック デュオ”には静止画として記録できます。

HDV1080i方式対応機器をつなぐと、HDV規格のまま録画できます。あらかじめ、本機に録画用テープまたは“メモリースティック デュオ”を入れておいてください。本機とビデオをi.LINKケーブルでつなぎます。本機の電源は、別売りのACアダプターを使ってコンセントからとってください(18ページ)。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

⚠️ ご注意

- この操作にはi.LINKケーブルが必要です。
- AV接続ケーブルでこの操作はできません。
- 本機のi.LINK端子は6ピンです。接続するビデオ機器の端子は、接続する機器に合わせて選んでください。



動画を録画する

1 本機のPOWERスイッチを「VCR」にする。

2 本機の入力信号を設定する。

HDV対応機器から録画するときには[VCR HDV/DV]を[AUTO]にする。DV対応機器から録画するときには[VCR HDV/DV]を[DV]または[AUTO]にする(81ページ)。

ビデオの画像を本機で録画する(つづき)

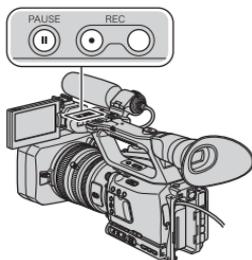
3 ビデオを再生機としてつなぐ。

i.LINKケーブル接続時は、入力される信号の規格(HDV IN **i.LINK** または DV IN **i.LINK**)が本機の液晶画面に表示されます。(再生側の画面にも表示されることがありますが、録画はされません。)

4 ビデオにダビングするカセットを入れる。

5 本機を録画一時停止にする。

- (PAUSE)ボタンを押したまま、
- (REC)ボタンを2つ同時に押す。



6 ビデオを再生する。

再生側の画像が本機の画面に映ります。

7 録画を開始したい画面でもう一度

■(PAUSE)ボタンを押して、録画を始める。

8 ■(STOP)ボタンを押して、録画を止める。

- DVCAM(DV)機器からi.LINK経由でダビングするときは、ユーザービットは記録されません。
- DVCAM(DV)機器から画像を録画するとき、HDV規格で録画することはできません。
- 接続時は、次のことにご注意ください。
 - 再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなる場合があります。
 - 映像または音声のみを記録することはできません。
 - 録画を一時停止または停止したあとで再開すると、スムーズにつながりません。
- 本機の **i.LINK** HDV/DV端子に入力された映像信号は、i.LINK伝送信号のジッター(周波数のゆれ)がそのままCOMPONENT OUT端子、A/V OUT端子に出力されます。接続しているテレビモニターによっては、画像が乱れたり、表示されない場合がありますが、本機でテープに記録する画像に問題はありませぬ。上記端子に他のVCRを接続して記録する場合にはご注意ください。

🗣️ちょっと一言

- 4:3の映像信号を入力すると、本機の画面には左右が黒く表示されます。

📌ご注意

- テレビ放送などの番組を **i.LINK** HDV/DV端子(i.LINK)から録画することはできません。

テープの動画をパソコンに取り込む

静止画を記録する

あらかじめ、本機に「メモリースティック デュオ」を入れておいてください(24ページ)。

また、[PHOTO]をASSIGNボタンに割り当ててください(45ページ)。

1 「動画を録画する」の手順1~4を行う。

2 ビデオを再生する。

再生側の画像が本機の液晶画面に映ります。

3 記録したい場で[PHOTO]を割り当てたASSIGNボタンまたはリモコンのPHOTOボタンを押す。

●ご注意

- 記録元の動画がHDV規格のとき、画像サイズは1.2Miになります。再生している画像がDVCAM(DV)規格でワイド(16:9)のとき、画像サイズは0.2Miに、4:3のときはVGA(0.3Mi)になります。

i.LINKケーブルで本機とパソコンをつなぎ、編集ソフト(別売り)を使って動画を取り込むことができます。

お手持ちのパソコンにi.LINK端子が装備されていて、ビデオ信号の取り込みができる編集ソフトウェアがインストールされている必要があります。

撮影した画像やパソコンに取り込まれる規格(HDVまたはDVCAM(DV))によって、必要なソフトウェアが次の通り異なります。

撮影画像の規格	パソコンに取り込む規格	必要なソフトウェア
HDV	HDV	HDV規格の信号取り込み可能な編集ソフト
HDV	DVCAM(DV)規格	DVCAM(DV)規格の信号取り込み可能な編集ソフト
DVCAM(DV)規格	DVCAM(DV)規格	DVCAM(DV)規格の信号取り込み可能な編集ソフト

●ご注意

- 本機のi.LINK端子には、電源供給機能はありません。
- USBケーブルを使って動画を取り込むことはできません。
- 画像の取り込み方法について詳しくは、ソフトウェアの説明書をご覧ください。
- パソコンの推奨環境については、お使いになるソフトウェアの説明書をご覧ください。
- 使用するパソコンのソフトウェアによっては、正しく働かない場合があります。
- DVCAM(DV)規格→HDV規格に変換はできません。

撮影した画像やパソコンに取り込まれる規格(HDV規格またはDVCAM(DV)規格)によって、必要なメニュー設定が異なります。

テープの動画をパソコンに取り込む(つづき)

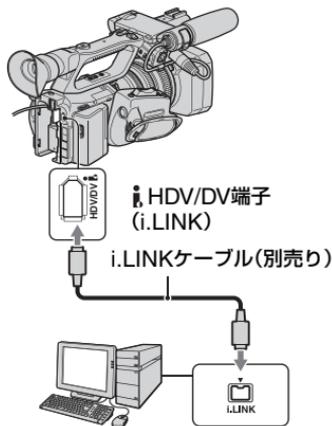
撮影画像の規格	パソコンに取り込む規格	メニュー設定*
HDV	HDV	[VCR HDV/DV] →[HDV] [i.LINK SET]→ [HDV→DV CONV] →[OFF]
HDV	DVCAM (DV)	[VCR HDV/DV] →[HDV] [i.LINK SET]→ [HDV→DV CONV] →[ON]
DVCA M(DV)	DVCAM (DV)	[VCR HDV/DV] →[DV] [i.LINK SET]→ [HDV→DV CONV] →[OFF]

*メニュー設定については、64 ページをご覧ください。

💡ちょっと一言

- HDV規格の画像をそのまま取り込むには、HDV規格に対応した環境が必要になります。詳しくは各ソフトウェアの取扱説明書、もしくはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- 一般的なDVDプレーヤーで再生できるようにするためには、SD画質でDVDビデオを作成する必要があります。この場合、作成されたDVDはHDV規格ではありません。

操作:1 i.LINKケーブルにつなぐ



パソコン接続時のご注意

- i.LINKケーブルは先にパソコンとつないでから、本機とつないでください。先に本機とつなぐと、静電気の発生などにより、本機の故障の原因となります。
- 次の場合、パソコンが本機を正しく認識できなかったり、パソコンがハングアップしたりすることがあります。
 - 本機の画面上に表示されている規格(HDVまたはDVCAM(DV))の信号が扱えないパソコンに入出力する。
 - i.LINKケーブル接続中に、[VCR HDV/DV] (81ページ)と[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV] (84ページ)の設定を変える。
 - POWERスイッチが「CAMERA」でi.LINKケーブル接続中に、[REC FORMAT] (81ページ)の設定を変える。
 - i.LINKケーブル接続中に、本機のPOWERスイッチを切り換える。
- i.LINKケーブル接続時は、本機の画面に入出力信号の規格(HDVまたはDVCAMまたはDV)が表示されます。

操作:2 動画を取り込む

本機の電源は別売りのACアダプターを使ってください(18ページ)。

- ① 編集ソフトウェア(編集ソフトウェアは付属していません)を用意する。

💡ちよっと一言

- ソフトウェアの仕様や特徴、最新情報に関しては、各社の公式サイト等をご確認ください。

- ② パソコンの電源を入れる。
- ③ 本機にテープを入れ、POWERスイッチを「VCR」にする。
- ④ 本機のメニューを設定する。
撮影画像や取り込まれる規格によってメニュー設定が異なります。
- ⑤ パソコンのソフトウェアを操作して動画を取り込む。

📌ご注意

- HDV規格で取り込みをおこなっても認識しない場合は編集ソフトウェアがHDV規格に対応していない可能性がありますので手順4でDVCAM(DV)規格へ変換して取り込みを行ってください。
- DVCAM(DV)規格で記録したテープをHDV規格でパソコンに取り込むことはできません。

💡ちよっと一言

- HDV規格で記録した画像データをパソコンに取り込んだ際のファイルの容量は、映像圧縮方式をMPEG2のまま変換せずに取り込んだ場合、10分の映像で、約2GBです。(DVCAM(DV)ファイルとほぼ同じです。)

パソコンから本機にHDV規格で取り込むには

[VCR HDV/DV]を[HDV]に、[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[OFF]にする(82,84ページ)。

📌ご注意

- パソコンで編集したHDV規格の映像を、テープへHDV規格で書き戻すには、お使いの編集ソフトウェアがHDV規格映像のテープへの書き出しに対応していれば可能です。詳しくは各

ソフトウェアメーカーへお問い合わせください。

パソコンから本機にDVCAM(DV)規格で取り込むには

[VCR HDV/DV]を[DV]にする(81ページ)。

困ったときは

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

- 電源/画面/リモコンについて…102ページ
- カセット/メモリスティック デュオ™について…103ページ
- 撮影について…104ページ
- 再生について…107ページ
- テレビ接続について…109ページ
- ダビング、編集、外部機器接続について…110ページ
- パソコン接続について…111ページ

電源/画面/リモコンについて

電源が入らない、途中で切れる。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(16ページ)。
- ACアダプター/チャージャーをコンセントに差し込む(18ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源(バッテリーまたはDK-415ケーブル)を取りはずし、約1分後に電源を取り付け直す。
- RESET(リセット)ボタン(136ページ)を先のとがったもので押す。

本体があたたかくなる。

- 本機使用中に本体があたたかくなることがありますが、故障ではありません。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する(16、119ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶画面を開閉したときは正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する(16、119ページ)。

液晶画面に画像が残る。

- 電源を入れた状態でバッテリーをはずしたり、DK-415ケーブルを抜いたりしたため、故障ではありません。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを画像がはっきり見えるように動かす(20ページ)。

ファインダーの画像が消えている。

- [VF POWERMODE]を[AUTO]にしていると、液晶パネルを開いている間はファインダーは消灯します(80ページ)。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [REMOTE CTRL]を[ON]にする(92ページ)。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。
- 電池を交換する。電池の+極と-極を正しく入れる(137ページ)。

リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオのリモコンスイッチをVTR2以外のモードに切り換える。
- 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。

カセット/“メモリスティック デュオ”について

カセットが取り出せない。

- 電源(バッテリーやACアダプター)が正しく接続されているか確認する(16ページ)。
- 本機が結露しかけている(121ページ)。

カセットメモリー機能付きカセットで、カセットメモリー表示やタイトル表示が出ない。

- 本機は、カセットメモリー機能に対応していないため、表示されません。

テープ残量表示が出ない。

- 常に表示させたいときは、 [REMAINING]を[ON]にする(80ページ)。

テープの巻き戻し、早送り時の音大きい。

- DK-415ケーブル使用時は、バッテリー使用時より高速になるため音が大きくなります。故障ではありません。

“メモリスティック デュオ”の画像消去、フォーマットができない。

- プロテクトが設定されている。パソコンなどでプロテクトを解除する。

撮影について

REC START/STOPボタンを押しても、撮影が始まらない。

- POWERスイッチを「CAMERA」にする(26ページ)。
- テープが最後まで行っている。巻き戻すか、新しいカセットを入れる。
- カセットの誤消去防止ツマミをRECにする。または新しいカセットを入れる(115ページ)。
- 結露でテープがヘッドドラムに貼り付いている。カセットを取り出して、約1時間してから入れ直す(121ページ)。
- [EXT REC CTRL]の[REC CTRL MODE]を[EXT ONLY]以外にする(84ページ)。

ハンドルズームが働かない。

- ハンドルズーム切替スイッチを「FIX」または「VAR」にする(29ページ)

“メモリースティック デュオ”に撮影できない。

- ASSIGNボタンに[PHOTO]を割り当てる(45ページ)
- メモリー容量いっぱいの場合は、不要な画像を消す(54ページ)。
- 本機で“メモリースティック デュオ”をフォーマットし直すか(88ページ)、別の“メモリースティック デュオ”を入れる(24ページ)。
- 次の設定のときは“メモリースティック デュオ”に静止画を記録できません。
 - [FADER]実行中。
 - [SMTH SLW REC]実行中。
 - シャッタースピードが1/60より遅い設定のとき。
 - ショットトランジション確認/実行時。
 - [SCAN TYPE]の設定が[24]、[24A]または[30]のとき。

テープできれいにつなぎ撮りできない。

- 同じテープに異なる[REC TYPE]のプロGRESSIVE映像を混在させない。
- エンドサーチする(47ページ)。
- カセットを取り出さない(電源を切ってもきれいにつなぎ撮りできます)。
- 同じテープにHDV規格とDVCAM(DV)規格の映像を混在させない。
- 同じテープにDVCAMとDV SPの両モードを混ぜてつなぎ撮りしない。DVCAM DV 互
- [QUICK REC]が[ON]のときは、きれいにつなぎ撮りできません(91ページ)。HDV1080i

静止画撮影時にシャッター音が出ない。

- [BEEP]を[ON]にする(91ページ)
- 動画撮影中や外部デバイス接続中は、シャッター音は出ません。

エンドサーチやラストシーンレビューができない。

- 撮影後にカセットを取り出さない(47ページ)。
- カセットを入れてからエンドサーチするまでに、1回も撮影していない。
- テープの始めや途中に無記録部分があるため、故障ではありません。

オートフォーカスができない。

- フォーカスリングをモードBIにして、[FOCUS]を登録したASSIGNボタンを押してオートフォーカスにする(30、45ページ)。
- オートフォーカスが働きにくい状況のときは、手でピントを合わせる(30ページ)。

メニュー項目が灰色で表示される、操作できない。

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能 (メニューがDisable)	以下のとき
[BACK LIGHT]、 [SPOTLIGHT]	アイリス、ゲイン、シャッタースピードのうち2つ以上が 手動設定のとき
[AE SHIFT]	アイリス、ゲイン、シャッタースピードすべてが手動設定 のとき
[CNTRST ENHCR]	[BACK LIGHT] 設定中
[FADER]	テープが入ってないとき
[D.EXTENDER]	[HDV PROGRE.]の[REC TYPE]が [PROGRESSIVE]のとき [HDV PROGRE.]の[REC TYPE]が[INTERLACE]で、 [SCAN TYPE]が[24]、[24A]、[30]のとき [DV PROGRE.]の[SCAN TYPE]が[24]、[30]のとき
[ZEBRA]、[PEAKING]、 [CAM DATA DSP]、 [HISTGRAM]	[COLOR BAR] 設定中
[SMTH SLW REC]	[HDV PROGRE.]の[REC TYPE]が [PROGRESSIVE]のとき [HDV PROGRE.]の[REC TYPE]が[INTERLACE]で、 [SCAN TYPE]が[24]、[24A]、[30]のとき [DV PROGRE.]の[SCAN TYPE]が[24]、[30]のとき [EXT REC CTRL]の[REC CTL MODE]が[EXT ONLY]のとき [COLOR BAR] 設定中
[MARKER]	[DATE REC] 設定中
[LCD BL LEVEL]、 [VF B.LIGHT]	AC電源を使用しているとき

故障かな？と思ったら(つづき)

使えない機能 (メニューがDisable)	以下のとき
[FOCUS MACRO]	カールツァイスレンズが装着されていて、フォーカスリングがモードBのとき カールツァイスレンズが装着されていないとき
[STEADYSHOT]、 [FRANGE BACK]	カールツァイスレンズが装着されていないとき
[TC LINK]	他機とi.Link接続していないとき
[TC COUNTUP]	[TC MAKE]が[REGENERATE]のとき
[UB-DATE/TC-TIME]	[TC MAKE]が[REGENERATE]のとき [TC RUN]が[REC RUN]のとき [UB TIME REC]が[ON]のとき 日付時刻が設定されていないとき
[WORLD TIME]、 [DATE REC]	日付時刻が設定されていないとき
[x.v.Color]	[REC FORMAT] が[DV]のとき
[ECS FREQ.]	シャッタースピードが拡張クリアスキャン(ECS)以外 のとき
[INTERVAL REC]	[EXT REC CTRL]の[REC CTL MODE]が [EXT ONLY]のとき [HDV PROGRE.]の[REC TYPE]が [PROGRESSIVE]のとき [HDV PROGRE.]の[REC TYPE]が[INTERLACE]で [SCAN TYPE]が[24]、[24A]または[30]のとき [DV PROGRE.]の[SCAN TYPE]が[24]または[30]の とき
[DV FRAME REC]	[EXT REC CTRL]の[REC CTL MODE]が [EXT ONLY]のとき
[EXT REC CTRL]	[SMTH SLW REC]設定中 [INTERVAL REC]設定中 [DV FRAME REC]設定中

シャッタースピード、ゲイン、ホワイトバランスが手動調節できない。

- AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることもある。

- シャッタースピード(33ページ)が遅いときに出る現象で、故障ではありません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える

- フォーカルプレーンと呼ばれる現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

画面が白すぎて画像が見えない。

- [BACK LIGHT]を解除する。
- [HYPER GAIN]を解除する。

画面が暗すぎて画像が見えない。

- DISPLAY/BATT INFOボタンを数秒間押しただままにして、バックライトを点灯する(20ページ)。

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。シャッタースピードを調節すると改善されることがあります(33ページ)。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- 拡張クリアスキャン(**ECS**)にしてシャッタースピードを調節する(33ページ)。

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- [DETAIL]で「0」側に調整する(41ページ)。

再生について

「カセット」「メモリースティック デュオ」について(103ページ)もご覧ください。

テープ再生ができない。

- POWERスイッチを「VCR」にする。
- テープを巻き戻す(52ページ)。

“メモリースティック デュオ”の画像データが正しく再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります(ファイル名が点滅)。故障ではありません(114ページ)。
- 他機で撮影した画像は、正しく再生できないことがあります。故障ではありません。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(117ページ)。
- フォルダ構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがあります。

画像に横線が入る、画像がぼけたり、映らなかったりする。

- ビデオヘッドが汚れている。別売りのクリーニングカセットできれいにする(121ページ)。

故障かな？と思ったら(つづき)

他機で4CHマイク記録した音声聞こえない。

- DV規格で4ch記録されている場合、[DV AUDIO MIX]を設定する(77ページ)。
- HDV規格で4ch記録されている場合、CH3、CH4の音声を本機で聞くことができません。

音声小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする(53ページ)。
- [DV AUDIO MIX]を設定する(77ページ)。
- なめらかスロー録画で記録した箇所には音声が記録されません。

画像や音声が途切れる。

- 同じテープにHDV規格とDVCAM(DV)規格の映像を混在させたとときに起こる症状で、故障ではありません。

画像が一瞬静止画になる、音声が途切れる。

- テープやビデオヘッドに付着物があるときに起こる症状です(121ページ)。
- ソニー製のミニDVカセットを使用する。

[――]が表示される。

- 日付時刻を設定しないで録画したテープを再生している。
- テープの無記録部分を再生している。
- テープに傷やノイズがあると、日時やカメラデータを読めません。
- 拡張クリアスキャン(**ECS**)で録画したテープを再生している。
- カールツァイスレンズ以外のレンズ装着時は、アイリスの値は表示されません。
- ゲインを-6dBにして録画したテープを再生している。
- [HYPER GAIN]を[ON]にして録画したテープを再生している。

ノイズが現れ、画面上に**PAL**または**50**と表示される。

- テープに記録されているTVカラーシステムがPALなど、本機のカラーシステム(NTSC)と違うため。故障ではありません。

日付サーチが正しく操作できない。

- 日付を変更したときは、2分以上撮影する。撮影時間が短いと正しく検出されない場合があります。
- テープの始めや途中に無記録部分があると、日付サーチが正しく働かないことがあります。

エンドサーチ、レックレビュー、ラストシーンレビューのときに画像が出ない。

- 同じテープにHDV規格とDVCAM(DV)規格の映像を混在させたとときに起こる症状で、故障ではありません。

他機でアフレコした音声が聞こえない。 **DVCAM** **DV** **型**

- [DV AUDIO MIX]を[CH1, CH2] (オリジナルテープ音声)側から最適な音声になるまで調節する(77ページ)。

画面上に2/2-STが表示される。

- 他機で4CHマイク記録されたテープを再生しているときに表示されます。本機は4CHマイク記録には対応していません。

テレビ接続について

i.LINKケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音が出ない。

- 接続するテレビのi.LINK端子がHDV1080i方式に対応していない場合は、HD(ハイビジョン)画質で見えることはできません(58ページ)。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- HDV規格で撮影した映像をダウンコンパートしてDV(SD画質)で再生する(83ページ)。
- 他の接続ケーブルで接続して再生する(58ページ)。

S映像プラグ、またはコンポーネントビデオケーブルでつないで再生するとき、音が出ない。

- S映像プラグまたはコンポーネントビデオケーブルだけでつないでいるため、A/V接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ(58ページ)。

コンポーネントビデオケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音が出ない。

- 接続する機器に合わせて[COMPONENT]を正しく設定する(83ページ)。
- コンポーネントビデオケーブルだけでつないでいるため、A/V接続ケーブルの白と赤のプラグも合わせてつなぐ(58ページ)。

HDMIケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されているDVCAM(DV)規格の映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- i.LINKでDV入力された画像(99ページ)を出力することはできません。
- 同じテープにHDV規格とDVCAM(DV)規格の映像を混在させたときに起こる症状で、HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直す。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド(16:9)で撮影したテープを4:3テレビで見るときに起こる現象です。以下のメニューから映像信号出力形式を選択してください。録画規格に応じて、異なるメニューから選択する必要があります。
 - 録画規格がHDV規格のときは、[VIDEO OUT]→[DOWN CONVERT]で設定(83ページ)。
 - 録画規格がDVCAM(DV)規格のときは、[VIDEO OUT]→[DV WIDE CONV]で設定(84ページ)。

故障かな？と思ったら(つづき)

4:3テレビにつないで再生したら上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影したテープを4:3テレビで見るときに起こる現象で故障ではありません。

ダビング、編集、外部機器接続について

つないだ機器(外部入力)の映像が拡大できない。

- 外部入力している画像は本機でズームできません。

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- A/V接続ケーブルを使って接続するときは、メニューの[DISP OUTPUT]を[LCD PANEL]にする(81ページ)。

A/V接続ケーブルを使ってダビングができない。

- A/V接続ケーブルが正しくつながっていない。
A/V接続ケーブルが他機の入力端子へつながっているか確認する。

ダビング編集中、i.LINKケーブルを接続しているのに、モニターに画像が出ない。

- 接続する機器に合わせて[VCR HDV/DV]を正しく設定する(81ページ)。

追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

HDMIケーブルを使ってダビングができない。

- HDMIケーブルを使っただビングはできません。

i.LINKケーブルを使ってワイド(16:9)で撮影した映像をダビングすると画面が縦に伸びる。

- i.LINKケーブルからアスペクト比の設定は出力できません。テレビ側で設定する。
- A/V接続ケーブルを使って接続する。

パソコン接続について

本機がパソコンに認識されない。[LINK](#)

- パソコンからケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
- パソコンからケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

テープの動画がパソコンで見られない、取り込めない。[LINK](#)

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
- テープの動画をパソコンに取り込むには編集ソフトウェア(別売り)が必要です(99ページ)。

パソコンがハングアップする。

- 接続する機器に合わせて、[VCR HDV/DV] を正しく設定する(81ページ)。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動してから正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ(99ページ)。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーに、次のように表示されます。

お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

C:(またはE):□□:□□ (自己診断表示)

C:04:□□

- “インフォリチウム”以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーを使う(119ページ)。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:21:□□

- 結露している。カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す(121ページ)。

C:22:□□

- ビデオヘッドが汚れている。別売りのクリーニングカセットできれいにする(121ページ)。

C:31:□□/C:32:□□

- 上記以外の症状になっている。カセットを入れ直し、もう一度操作し直す。ただし、本機が結露気味のときは、この操作をしないでください(121ページ)。
- 電源をいったん取りはずし、取り付け直してからもう一度操作し直す。
- カセットを交換する。RESETボタン(136ページ)を押してからもう一度操作し直す。

E:61:□□/E:62:□□/E:92:□□

- 修理が必要なため、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

101-1001(ファイル関連の警告)

- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル(117ページ)。

⚡(バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5~10分でも警告表示が点滅することがある。

Ⓜ(結露の警告)*

- カセットを取り出し、電源をはずして、カセット入れを開けたまま、約1時間放置する(121ページ)。

Ⓜ(テープ関連の警告)

遅い点滅

- テープ残量が5分を切った。
- カセットが入っていない*。
- カセットが誤消去防止状態になっている(115ページ)*。

速い点滅

- テープが終わっている*。

Ⓜ(テープを取り出す必要がある警告)*

遅い点滅

- カセットが誤消去防止状態になっている(115ページ)。

速い点滅

- 結露している(121ページ)。
- 自己診断表示が表示されている(112ページ)。

* [BEEP]が[ON]に設定されていると、警告表示が出るときに、「操作者」が鳴ります(91ページ)。

お知らせメッセージの説明

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。別売りのACアダプター/チャージャー AC-VQ1051D(ACCKIT-D12Bに付属)は、全世界の電源(AC100V~240V、50Hz/60Hz)で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたすねの上、ご用意ください。電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例		
	主に北米	主にヨーロッパなど
↓		
使用する変換プラグアダプター	不要	

HDV規格で記録した再生画像をHDV規格で見るとは **HDV1080i**

HDV規格で記録した再生画像をHDV規格で見るとは、HDV1080i方式対応のテレビ(またはモニター)とコンポーネントビデオケーブル、A/V接続ケーブルまたは、HDMIケーブル(別売り)が必要です。HDV1080i方式に対応している主な国、地域は、「テレビ方式がNTSCの国、地域」を参照してください。

DVCAM(DV) 規格で記録した再生画像をDVCAM(DV) 規格で見るとは

DVCAM DV 並

DVCAM(DV) 規格で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式

で、映像/音声入力端子付きのテレビ(またはモニター)と接続ケーブルが必要です。DVCAM(DV)方式に対応している主な国、地域は、「テレビ方式がNTSCの国、地域」を参照してください。

テレビ方式がNTSCの国、地域(五十音順)

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ポリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

時差補正機能について

海外で使うとき、[WORLD TIME]で、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます(90ページ)。

使用上のご注意とお手入れ

HDV規格と記録・再生について

本機は、HDV/DVCAM/DV規格の両方の記録機能を搭載したビデオカメラレコーダーです。

HDV/DVCAM/DV規格で記録するときは、MiniDV[®]マークが付いたカセットをおすすめします。

DVCAM規格で記録するときは、**DVCAM**マークが付いたカセットをおすすめします。

本機は、カセットメモリー機能には非対応です。

HDV規格とは

DVカセットにデジタルハイディフィニション(HD)映像の記録・再生ができるように開発されたビデオ方式です。

本機では、有効走査線数1,080本のインターレース方式(1080i、画素数1,440×1,080ドット)を採用しています。

記録時の映像ビットレートは約25Mbpsです。

デジタルインターフェースにi.LINKを採用し、HDVに対応するテレビやパーソナルコンピューターとのデジタル接続が可能です。

- HDV映像信号の圧縮方式は、BSデジタルや地上デジタルのハイビジョン放送やブルーレイディスクレコーダーなどで採用されているMPEG2方式です。

再生について

- DVCAM(DV)規格とHDV規格の1080i方式の両方を再生できます。
- 本機ではHDV規格の720/30pで記録した画像を再生できますが、i.LINK端子(Ⓜ)HDV/DV端子から出力することはできません。

無記録部分を作らないために

テープを再生したときは、次の撮影の前にエンドサーチ(47ページ)を行って撮影終了位置に戻します。

著作権保護信号について

■ 再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

■ 記録するとき

著作権保護のための信号が記録されている映像音声は本機で記録することはできません。このような映像音声を記録しようとすると、液晶画面またはファインダーに[Cannot record due to copyright protection.](コピープロテクトされています 記録できません)が表示されます。なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

音声モードについて

音声モードについてDVCAM方式では、下記の2つがあります。

本機ではアフレコできません。

■ FS32K(12ビット)モード

[チャンネル1/2]と[チャンネル3/4]に4つのチャンネルを使って記録できます。撮影時は[チャンネル1/2]に記録されません。他機でアフレコした音声は[チャンネル3/4]に記録されます。再生時にメニューの[DV AUDIO MIX]で[MIX]を選ぶと、[CH1, CH2]と[CH3, CH4]の音声を合成して出力します。

■ FS48K(16ビット)モード

2つのチャンネルを使い高音質で記録できます。

音声モードは、液晶画面またはファインダーで確認できます。

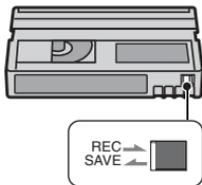
取り扱い上のご注意

■ 長い間使わないときは

本機からカセットを取り出して保管してください。

■ 間違って消さないために

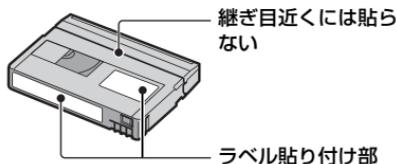
カセットの背にある誤消去防止ツマミをSAVEの矢印のほうへずらします。



REC: 録画できる。
SAVE: 録画できない。
(誤消去防止状態)

■ ラベルは指定の位置に

カセットにラベルは、指定の位置に正しく貼ってください。指定以外の位置に貼ると故障の原因になります。

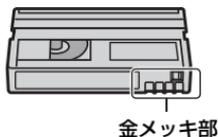


■ カセットの使用後は

必ずテープを巻き戻してください(画像や音声がかかる原因となります)。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

■ 金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、テープ残量表示などが正しく表示されないことがあります。カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。



HDV1080i方式(i.LINK)対応のテレビについて **HDV1080i**

HDV規格で記録した再生画像を見るには、ハイビジョン対応テレビ(D3端子付きまたはHDMI端子付き)をおすすめします。

また、HDV1080i方式(i.LINK)対応のテレビと本機を接続するときは、i.LINKケーブルでつなぐことをおすすめします。お手持ちのテレビがHDV1080i方式(i.LINK)に対応しているかどうかについては、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

DVCAM/DV規格の互換性について

DVCAM規格は、民生用のDV規格に比べて、より信頼性を高めた規格です。

DVCAM規格とDV規格の仕様の違い、互換性、編集時の制約事項は、以下の通りです。DVCAM規格の条件を満たしていないときは**NS**が表示されます。

DVCAM規格とDV規格の違い

仕様	DVCAM	DV
トラック幅	15μm	10μm
オーディオ	12bit:32kHz	12bit:32kHz
サンプリング	16bit:48kHz	16bit:32kHz
周波数		44.1kHz 48kHz
オーディオ記録モード*	ロックモード	ロック/アンロックモード

* オーディオ信号の記録には、ロックモードとアンロックモードがあります。ロックモードでは、オーディオのサンプリングクロックとビデオのサンプリングクロックが同期しています。ロックモードはアンロックモードに比べ、オーディオ編集時のデジタル処理がスムーズな感じを作るときに有利です。

カセットの互換性

録画機のフォーマットによって、記録されるフォーマットが決まります。

録画機	使用するカセットの規格	記録された規格
DVCAM機	DVCAM DV	DVCAM
DV機	DVCAM DV	DV

ⓘ ご注意

- DVCAM規格でミニDVカセットも使用できますが、DVCAM規格の高い信頼性を生かすために、ミニDVCAMカセットをおすすめします。
- DVCAM規格でミニDVカセットを使って録画する場合、録画再生可能時間がミニDVカセットに表示されている時間の約2/3になります。

再生時の互換性

再生テープの規格	DV規格の機種	DVCAM規格の機種
DV	再生できる	SPモードで記録されたテープのみ再生できる
DVCAM	機種によっては再生できる場合もある	再生できる

DV端子を使用したダビング

i.LINKケーブルを使用して接続したデジタルビデオ機器間でダビングを行うと、再生テープと使用する機器の規格によって、作成できるテープの規格が異なります。ダビングのしかたによっては、そのテープを使っても再生や編集に制約が生じることがあります。あらかじめ「編集時の制約」(117ページ)をお読みになってから、ダビングを行ってください。

再生テープの規格	再生機	録画機	ダビングしたテープの規格
DV(SP標準)モードのみ)	DVCAM機	DVCAM機	DVCAM ¹⁾ DV機 DV
DV	DV機	DVCAM機	DVCAM DV機 DV
DVCAM ²⁾	DVCAM機	DVCAM機	DVCAM DV機 DV
DVCAM ²⁾	DV機 ³⁾	DVCAM機	DVCAM (機種によってはできないものもある) DV機 DV

- 1) DV規格で記録されたテープをミニDVCAM機を使ってDVダビングすると、作成したテープの記録規格は以下のようなDVCAM規格になります。
- ータイムコードの書式の一部に不整合がある(ただし、特殊な場合を除き編集精度に影響はありません)。
- 2) 1)のようなDVCAM規格のテープの場合に作成したテープは、オーディオ記録モードがアンロックモードで、タイムコードの一部に不整合があるDVCAM規格のテープになります。
- 3) 機器によって再生できますが、再生の内容は保証されません。したがって、再生テープに正しいDVCAM規格のテープを使用しても、作成したテープはタイムコードの一部に不整合があるDVCAM規格のテープになります。

Ⓢご注意

- 上記1)～3)のようなテープを編集に使用すると、再生機、録画機の規格にかかわらず、機能に制約を生じることがあります。

編集時の制約

ⓈHDV/DV(i.LINK)端子を使用してダビング・編集したテープを編集に使用するとき、DVCAM規格とDV規格の違いにより、以下の制約が生じます。

- トラック幅が違うため、DV規格で記録されたテープの上にDVCAM規格の機器を使って編集することはできません。
- DVCAM規格の機器によっては、オーディオ記録モードがアンロックモードになっているDVCAM規格のテープの上に編集できないことがあります。このような場合は、AV接続ケーブルを使ってダビングし直してください。

“メモリースティック”について

“メモリースティック”(Memory Stick)は小さくて軽い大容量のIC記録メディアです。

“メモリースティック”のうち、本機で使えるのは次の表のとおりです。ただし、すべ

ての“メモリースティック”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録/再生
メモリースティック デュオ (マジックゲート対応)	○
メモリースティック PRO デュオ	○
メモリースティック PRO-HGデュオ	○

- 本機はパラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応しておりません。
- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録/再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。
- 本機は“メモリースティック マイクロ”(“M2”)に対応しています。“M2”は“メモリースティック マイクロ”の略称です。
- 静止画の圧縮形式:本機は、静止画データをJPEG(Joint Photographic Experts Group)方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「.JPG」です。
- パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)した“メモリースティック デュオ”は、本機での動作を保証いたしません。
- お使いの“メモリースティック デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 誤消去防止スイッチ付き“メモリースティック デュオ”では、先の細いものでスライドさせて、「LOCK」にすると、記録されているデータを誤って消去しないようにできます。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。
 - ー 画像ファイルを読み込み中や、“メモリースティック デュオ”にデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
 - ー 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどバックアップを取っておくことをおすすめします。

使用上のご注意とお手入れ(つづき)

- メモリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリスティック デュオ”本体および“メモリスティック デュオ”アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリスティック デュオ”に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。
- “メモリスティック デュオ”スロットには、“メモリスティック デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
 - － 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - － 直射日光のあたる場所
 - － 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■ “メモリスティック デュオ”アダプターの使用について

- “メモリスティック デュオ”を“メモリスティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリスティック デュオ”を“メモリスティック デュオ”アダプターに入れてからお使いください。
- “メモリスティック デュオ”を“メモリスティック デュオ”アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不十分だと正常に動作しない場合があります。また、逆向きで無理に入れると、“メモリスティック デュオ”アダプターが破損し、故障の原因となります。
- “メモリスティック デュオ”アダプターに“メモリスティック デュオ”が装着されない状態で、“メモリスティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

■ “メモリスティック PRO デュオ”に関するご注意

- 本機で動作確認されている“メモリスティック PRO デュオ”は8GBまでです。
- 本機はパラレルインターフェースを利用した高速データ通信には対応していません。

■ “メモリスティック マイクロ”使用上のご注意

- “メモリスティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリスティック マイクロ”をデュオサイズのM2アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズのM2アダプターに装着されていない状態で挿入されると、“メモリスティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリスティック マイクロ”は、小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

画像の互換性について

- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900、DSC-D700/D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“メモリスティック デュオ”が本機で使えないときは、88ページの手順にしたがい、本機でフォーマット(初期化)をしてください。フォーマットすると“メモリスティック デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
 - － パソコンで加工した画像データ
 - － 他機で撮影した画像データ

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリーLシリーズには
① InfoLITHIUM ② マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りのACアダプター/チャージャーを使うと、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10～30℃の範囲で、ACアダプター/チャージャーの充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れてあたたくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
 - 高容量バッテリー「NP-F770/F970(別売り)」を使う。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/巻き戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。

高容量バッテリー「NP-F770/F970(別売り)」のご使用をおすすめします。

- 本機で撮影や再生中は、こまめにPOWERスイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前のために撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約5～10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(19ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われるので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーバックごとに異なります。

i.LINK(アイリンク)について

本機のi.LINK端子はi.LINK端子に準拠した6ピン端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができます。複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ⓘご注意

- i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるHDV/DVCAM(DV)対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- i.LINK(アイリンク)はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
- IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

- S100(最大転送速度 約100Mbps*)
- S200(最大転送速度 約200Mbps)
- S400(最大転送速度 約400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？

「Mega bits per second」の略で「メガビット・エス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK端子付きビデオとつないでダビングする方法については96ページをご覧ください。

また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK対応機器(パーソナルコンピュータVAIOシリーズなど)とも接続してご使用になれます。

なお、デジタルテレビ、DVD、MICROMV、HDVなどの映像機器には、i.LINK端子を搭載しながらも、本機とは対応できない仕様のものがあります。接続の際はあらかじめHDV/DVCAM(DV)対応の有無をご確認ください。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

ⓘご注意

- i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINK接続する場合、i.LINKケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。

x.v.Color(エクスバイ・カラー)について

- x.v.Colorとは、x v YCC規格の親しみやすい呼称としてソニーが提案している商標です。

- x v YCC規格とは、動画色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できません。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所(窓際や室外など)
液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長時間使用しないときは

- 3分間ほど再生するなどして、ときどき電源を入れてください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起ると、[Moisture condensation. Eject the cassette. (☒▲結露しています カセットを取り出してください)または[Moisture condensation. Turn off for 1H.](☒結露

しています 約1時間放置してください)と警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

■ 結露が起きたときは

カセットは直ちに取出してください。警告表示が出ている間は、**F** OPEN/EJECT つまみ以外は動きません。

電源を切ってカセットカバーを開けたまま、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても**0**や**▲**が点滅しなければ使えます。

結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットカバーを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがあります、故障ではありません。

カセットが出てくるまでカセットカバーを閉めないでください。

■ 結露が起りやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起りにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドについて

HDV規格で記録したテープを再生すると、まれに再生中の画像と音声が一瞬(約0.5秒)停止することがあります。

取り扱い上のご注意とお手入れ(つづき)

テープやビデオヘッドに付着物があるなどしてHDV規格の信号をテープに正しく記録、再生できなかった時に起こる現象で、カセットによってはごくまれに、新品またはご利用期間が短いにもかかわらず発生することがあります。

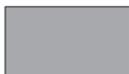
再生時に起きたときは、テープを少し送って巻き戻すと問題なく見ることが出来る場合がありますが、記録時に起きたときは、その部分を修復することはできません。

このような事態を予防するためにもソニー製ミニDVカセットのご使用をおすすめします。また、大切な録画の前には、クリーニングテープのご使用をおすすめします。

- 以下のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットを10秒間再生してビデオヘッドをきれいにしてください。
 - 再生画面の一部が動かない。
 - 再生画像が出ない。
 - 音声途切れる。
 - 録画中に[ ]ヘッドが汚れています [クリーニングカセットを使ってください]が表示される。
- HDV規格のときに以下の現象が起こる。



再生画像が
一時停止する



再生画像が消える
(青1色の画面)

- DV規格のときに以下の現象が起こる。



四角いノイズが出る。



再生画像が消える
(青1色の画面)

- ビデオヘッドは長時間使うと摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。ソニー業務用商品相談窓口にお問い合わせください。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがあります。異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。

お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。

- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブローなどであらかじめ払い落としてください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装が剥がれたりすることがあるので、次のことは避けてください。
 - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類。
 - 上記が手に付いたまま本機を扱う。
 - ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプター/チャージャーでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプター/チャージャーで電源につながらない、またはバッテリーを入れないまま**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

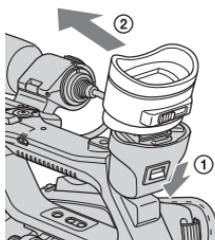
■ 充電方法

本機を別売りのACアダプター/チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF(CHG)」にして24時間以上放置する。

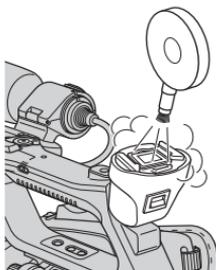
ファインダーのお手入れについて

1 接眼部をはずす。

ビューファインダー取りはずしつまみを下にずらしたまま(①)、矢印の方向に接眼部をずらしてはずす(②)。



2 接眼部の内側、ファインダー内部のゴミを、カメラ用のブロワーブラシなどで取り除く。



“メモリスティック デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による[FORMAT]や[DELETE]では、“メモリスティック デュオ”内のデータは完全には消去されることがあります。“メモリスティック デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、“メモリスティック デュオ”を廃棄するときは、“メモリスティック デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

システム

録画方式 (HDV)	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録画方式 (DVCAM (DV))	回転2ヘッドヘリカルスキャン
静止画記録方式	Exif Ver.2.2*
録音方式 (HDV)	回転ヘッド MPEG-1 Audio Layer2 16ビットFs48kHz(ステレオ) 転送レート 384kbps
録音方式 (DVCAM (DV))	回転ヘッド、PCMシステム 12ビット Fs32kHz (チャンネル1/2 ステレオ) 16ビット Fs48kHz (チャンネル1/2 ステレオ)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式 1080/60i方式
使用可能カセット	Mini DV マークのついたミニDVカセットまたは [DVCAM] マークのついたミニDVCAMカセット
テープ速度 (HDV)	約18.812mm/秒
テープ速度 (DVCAM)	約28.193mm/秒
テープ速度 (DV SP)	約18.812mm/秒
録画/再生時間 (HDV)	63分 (PHDVM-63DM使用時)
録画/再生時間 (DVCAM)	41分 (PHDVM-63DM使用時)
録画/再生時間 (DV SP)	63分 (PHDVM-63DM使用時)
早送り、巻き戻し時間	バッテリー使用時: 約2分40秒 (PHDVM-63DM使用時) ACアダプター/チャージャー使用時: 約1分45秒 (PHDVM-63DM使用時)
ファインダー	電子ファインダー: カラー、モノクロ 画面サイズ: 1.1cm (0.45型、アスペクト比16:9) 総ドット数: 1 226 880ドット (852 x 3[RGB] x 480相当)

撮像素子	6.0mm (1/3型) 3CMOSセンサー 総画素数: 約112万画素 静止画記録画素数: 最大120万画素相当** (1440×810) (HDV/DV 16:9記録時) 動画時有効画素数 (16:9モード): 約104万画素 動画時有効画素数 (4:3モード): 約78万画素 静止画時有効画素数 (16:9モード): 約104万画素 静止画時有効画素数 (4:3モード): 約78万画素
ズームレンズ	カール ツァイス パリオゾナー T* 12倍 (光学)、約18倍 (デジタル、デジタルエクステンダー [ON] 時) f=4.4 ~ 52.8mm 35mmカメラ換算 32.0~384mm (16:9モード) (4:3モードでは39.5~474mm) F1.6~2.0 フィルター径72mm
色温度切り換え	オート ワンプッシュ (A, B) 屋内 (3 200K) 屋外 (5 800K±7段階) 色温度指定 (2 300~15 000K、100K刻み)
最低被写体照度	1.5 lx (ルクス) (シャッタースピード固定 (1/30)、オートゲインコントロール、アイリスオート) (F1.6)

* (社)電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット。

** ソニー独自のクリアピットCMOSセンサーの画素配列と画像処理システム新エンハンスドイメーシングプロセッサにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

出力端子

A/V OUT 端子	10ピン特殊コネクター 映像: 1 Vp-p、75Ω Y出力 1Vp-p、75Ω C出力 0.286Vp-p(バースト)、 75Ω 音声: -10 dBu(47kΩ負荷時)、出 カインピーダンス2.2 kΩ以下 (0dBu=0.775Vrms)
COMPONE NT OUT端子	Y: 1Vp-p、75Ω PB/P _R . CB/C _R : ±350mV、75Ω
HDMI OUT 端子	HDMIコネクタ
⌋(ヘッドホ ン)端子	ステレオミニジャック (φ3.5mm)

入/出力端子

LANC  端子	ステレオミニミニジャック (ø 2.5mm)
LENS端子	12ピンコネクター
INPUT1/ INPUT2端子	XLR3ピン、凹 -48dBu: 3kΩ +4dBu: 10kΩ (0dBu=0.775Vrms)
 HDV/DV 端子	i.LINK (IEEE1394 6ピンコネ クター S100)

液晶画面

画面サイズ	8.0cm(3.2型、アスペクト比 16:9)
総ドット数	921 600ドット 横1 920×縦480

電源部、その他

電源電圧	DC7.2V(バッテリーバック使用 時) DC8.4V(ACアダプター使用時)
消費電力*	マイク(ECM-XM1)、ファイン ダー使用時、明るさ標準: HDV記録時 7.2W DVCAM(DV)記録時 6.9W マイク(ECM-XM1)、液晶画面使 用時、明るさ標準: HDV記録時 7.3W DVCAM(DV)記録時 7.0W
動作温度	0℃~40℃
保存温度	-20℃~+60℃
外形寸法	176×199×439mm (最大突起部を含む)(幅×高さ× 奥行き) 176×199×439mm (最大突起部含む、バッテリー バック(NP-F570)装着状態) (幅×高さ×奥行き)
本体質量	約1.3kg(本体のみ) 約2.4kg(カールツァイスレンズ VCL-412BWH含む)
撮影時総質量	約2.8kg (バッテリーバック(NP-F570)、 テープ(PHDVM-63DM)、 カールツァイスレンズ (VCL-412BWH)、レンズカバー 付きフード、マイク(ECM-XM1) 含む。)

* HVR-MRC1使用時は消費電力が約2.5W増加
します。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変
更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考に、して故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または付属の“ソニー業務用商品相談窓口のご案内”にあるお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 製品の保有期間について

当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取りはずしてください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

機器本体や付属品、記録メディアは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や“メモリースティック”などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



指示

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。



禁止



下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

電池や付属品、記録メディア、アクセサリなどを取りはずすときは、手をそえる

電池や“メモリスティック”などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。



指示

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与える事があります。呼びかけられたら返事が出来るくらいの音量で聞きましょう。



INPUT1/INPUT2スイッチが「MIC+48V」のとき、INPUT1/2端子には外部電源(+48V)対応以外の機器を接続しない

INPUT1/INPUT2スイッチが「MIC+48V」のとき、外部電源(+48V)に対応していない機器(マイクなど)をINPUT1/2端子に接続すると、機器が故障する可能性があります。



⚠ 危険 電池についての
安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大げがや
やけど、火災などを避けるため、下記の注意事項
をよくお読みください。

⚠ 危険

- バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオープンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。



禁止

⚠ 警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- ボタン電池は充電しないでください。



禁止

⚠ 注意

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取りはずしておく。



指示

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については

一般社団法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>
を参照してください。

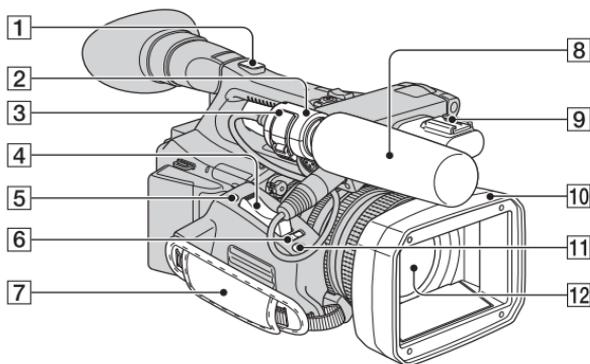


Li-ion

リチウムイオン電池

各部のなまえ

()内は参照ページです。

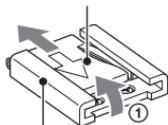


- ① アクセサリーシュー 取り付け部 (132)
- ② マイクホルダー(13)
- ③ マイク固定用クランパー(13)
- ④ ズームレバー(29)
- ⑤ EXPANDED FOCUS/L2 ボタン (45)

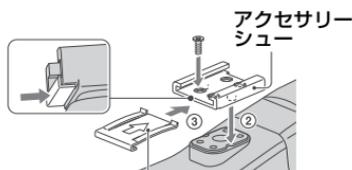
- ⑥ IRIS スイッチ(32)
- ⑦ グリップベルト(19)
- ⑧ マイク(13)
- ⑨ アクセサリーシューアダプター(132)
- ⑩ レンズカバー付きレンズフード(14)
- ⑪ PUSH AUTO ボタン(32)
- ⑫ レンズ(10)

アクセサリーシューを取り付けるには
アクセサリーシュー取り付け部に図のよう
に取り付けてください。

アクセサリーシューバネ



アクセサリーシュー



アクセサリーシューバネ

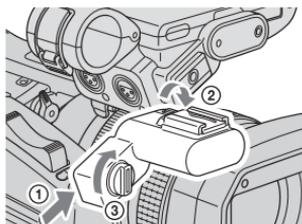
- ① シューバネの先端を持ち上げ、刻印された矢印の向きと反対方向へ引き抜く。
- ② アクセサリーシューの凸部とアクセサリーシュー取り付け部の凹部を合わせて取り付け、4本のネジを締める。
- ③ アクセサリーシューバネを矢印の方向に挿入し、コの字部分がアクセサリーシューの端部にはまるように取り付ける。

アクセサリーシューを取りはずすには
「アクセサリーシューを取り付けるには」
の手順①と同様にシューバネをはずし、ネジ
を緩めてアクセサリーシューをはずす。

各部のなまえ(つづき)

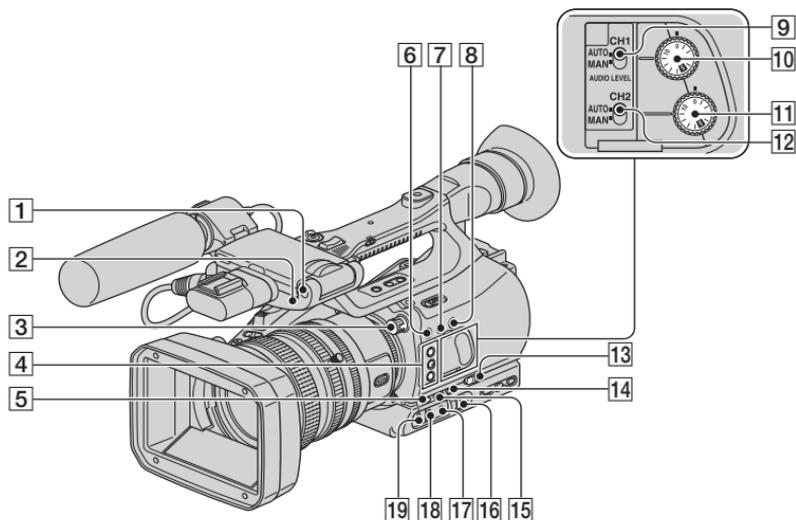
アクセサリシューアダプターを取り付けるには

アクセサリシューアダプター取り付け部に図のように取り付けてください。



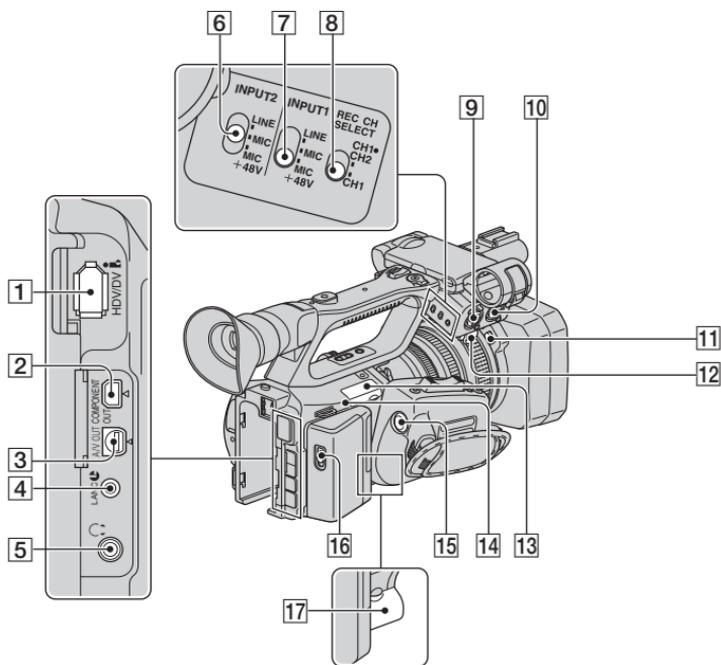
アクセサリシューアダプターを取りはずすには

取り付けと逆の手順で取りはずしてください。

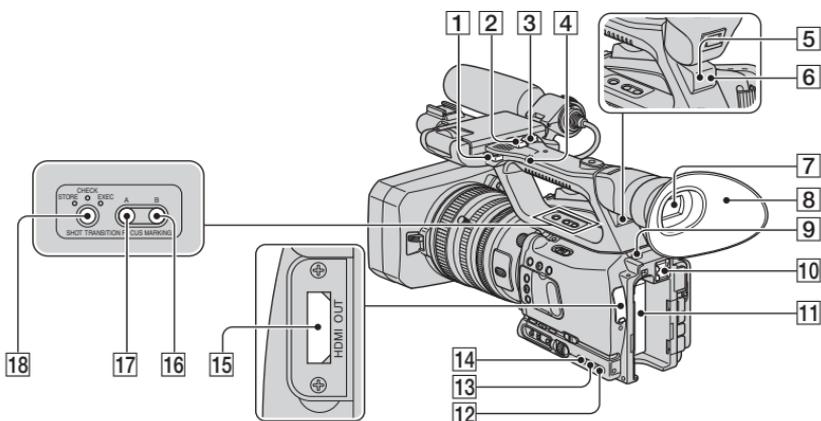


- 1 前部リモコン受光部(92)
 - 2 前部録画ランプ(91)
テープやバッテリー残量が少なくなると点滅します。
 - 3 ND フィルター(32)
 - 4 ASSIGN 1～3 ボタン*(45)
 - 5 GAIN ボタン(33)
 - 6 ASSIGN 4 ボタン/ZEBRA ボタン(45)
 - 7 ASSIGN 5 ボタン/AE SHIFT ボタン*(45)
 - 8 ASSIGN 6 ボタン/REC REVIEW ボタン(45)
 - 9 AUDIO LEVEL (CH1)スイッチ(44)
 - 10 AUDIO LEVEL (CH1)ダイヤル(44)
 - 11 AUDIO LEVEL (CH2)ダイヤル(44)
 - 12 AUDIO LEVEL (CH2)スイッチ(44)
 - 13 AUTO/MANUAL スイッチ(32)
 - 14 SHUTTER SPEED ボタン(33)
 - 15 WHT BAL ボタン*(34)
 - 16 SEL/PUSH EXEC ダイヤル(22)
 - 17  (ワンプッシュ)ボタン(34)
 - 18 ホワイトバランスメモリースイッチ(35)
 - 19 ゲインスイッチ(33)
- * ASSIGN2 ボタン、ASSIGN5 ボタン/AE SHIFT ボタン、WHT BAL ボタンに凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

各部のなまえ(つづき)



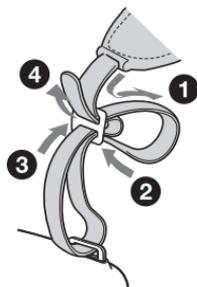
- | | | | |
|----|--|----|--------------------------|
| 1 | HDV/DV 端子(58) | 11 | PUSH(レンズフード取りはずし)ボタン(14) |
| 2 | COMPONENT OUT 端子(58) | 12 | ケーブルホルダー(13) |
| 3 | AV OUT 端子(58) | 13 | "メモリースティック デュオ"スロット(24) |
| 4 | LANC 端子
LANC 端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。 | 14 | アクセスランプ(24) |
| 5 | ヘッドホン端子
ヘッドホンを使うときは、ステレオミニジャックのものを使ってください。 | 15 | REC START/STOP ボタン(26) |
| 6 | INPUT2 スイッチ(13) | 16 | OPEN/EJECT レバー(24) |
| 7 | INPUT1 スイッチ(13) | 17 | LENS 端子(10) |
| 8 | REC CH SELECT スイッチ(13) | | |
| 9 | INPUT2 端子(13) | | |
| 10 | INPUT1 端子(13) | | |



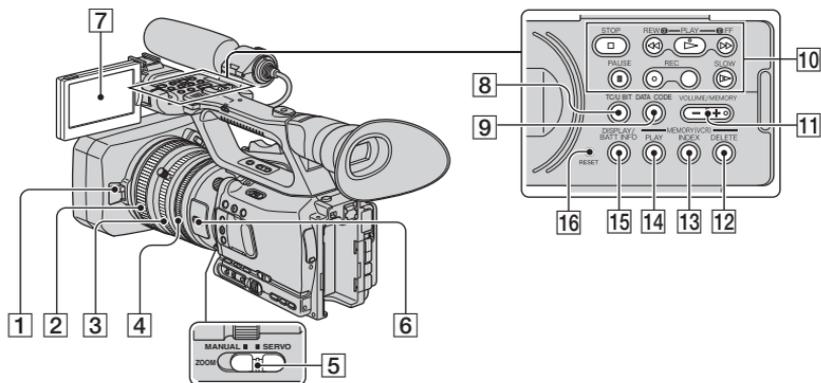
- 1 ショルダーストラップ取り付け部 (135)
- 2 ハンドルズームレバー(29)
- 3 REC START/STOP ボタン(26)
- 4 ハンドルズームスイッチ (29)
- 5 後部リモコン受光部(92)
- 6 後部録画ランプ(91)
テープやバッテリー残量が少なくなると点滅します。
- 7 ビューファインダー(21)
- 8 大型アイカップ(21)
- 9 BATT RELEASE ボタン(16)
- 10 メモリーレコーディングユニット端子 (14)
- 11 バッテリーパック(16)
- 12 STATUS CHECK ボタン(56)
- 13 PICTURE PROFILE ボタン(35)
- 14 MENU ボタン(64)
- 15 HDMI OUT 端子(58)
- 16 B ボタン(48)
- 17 A ボタン(48)
- 18 SHOT TRANSITION/FOCUS MARKING ボタン(48)

ショルダーストラップ(別売り)を取り付けるには

ショルダーストラップ取り付け部に図のように取り付けてください。



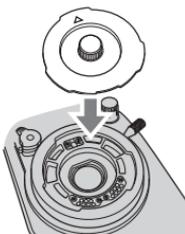
各部のなまえ(つづき)



- ① レンズカバーレバー(14)
- ② フォーカスリング(30)
- ③ ズームリング(29)
- ④ アイリスリング(32)
- ⑤ ZOOM スイッチ(29)
- ⑥ DIGITAL EXTENDER/L1 ボタン(45)
- ⑦ 液晶画面(20)
- ⑧ TC/U-BIT ボタン
液晶画面のタイムコード、ユーザービット表示を切り換えます。
- ⑨ DATA CODE ボタン(55)
- ⑩ ビデオ操作ボタン(STOP/REW/PLAY/FF/PAUSE/REC/SLOW)(52)
- ⑪ VOLUME/MEMORY ボタン(52)
- ⑫ MEMORY/DELETE ボタン(52)
- ⑬ MEMORY/INDEX ボタン(52)
- ⑭ MEMORY/PLAY ボタン(52)
- ⑮ DISPLAY/BATT INFO ボタン(55)
- ⑯ RESET ボタン
RESETボタンを押すと、日時を含めすべての設定が解除されます。ただし、ピクチャープロフィールとカメラプロフィールで設定した内容は解除されません。

レンズマウントキャップを取り付けるには

レンズマウントキャップの▲マークを上に向け、レンズマウント上部中央の凹部にレンズマウントキャップ裏側のセンターピンを差し込んで取り付けてください。

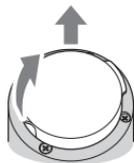


レンズマウントキャップを取りはずすには

レンズマウントキャップの中央部をつまみ、カメラ本体からはずしてください。

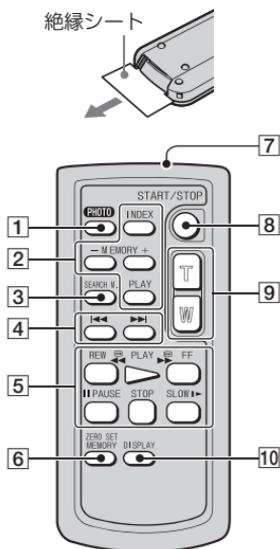
レンズ後部キャップを取り付けるにはレンズ後部キャップをレンズに押し込みます。

レンズ後部キャップを取りはずすには図のように、つまみに指をかけてはずします。



ワイヤレスリモコン

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。



- 1 PHOTO ボタン(27)
押したときの画像が静止画として“メモリースティック デュオ”に記録されます。
- 2 MEMORY ボタン(INDEX、- / +、PLAY)(52)
- 3 SEARCH M. ボタン(57)
- 4 ◀▶▶▶ ボタン
- 5 ビデオ操作ボタン(REW、PLAY、FF、PAUSE、STOP、SLOW)(52)
- 6 ZERO SET MEMORY ボタン
本機では無効なボタンです。
- 7 リモコン発光部
- 8 START/STOP ボタン(26)
- 9 ズームボタン(29)
- 10 DISPLAY ボタン(55)

●リモコンについてのご注意

- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

リモコンの電池を交換するには

- ① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引出す。
- ② +面を上にして新しい電池を入れる。
- ③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



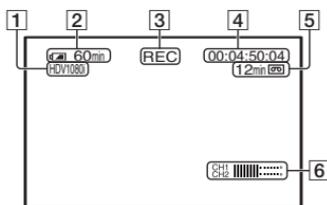
- リモコンには、ボタン型リチウム電池(CR2025)が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

ファインダーと液晶画面の表示

()内は参照ページです。

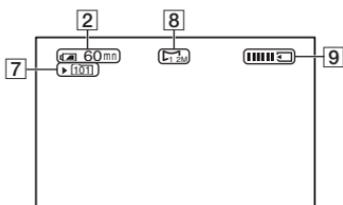
撮影中の画面表示は録画されません。

動画を撮影中



- 1 録画フォーマット (HDV1080) または DVCAM または DV SP (81)
- 2 バッテリー残量の目安
- 3 撮影状態 ([STBY] / [REC])
- 4 撮影中: テープカウンター (時:分:秒:フレーム)
再生中: タイムコード (時:分:秒:フレーム)
- 5 テープ残量の目安
- 6 オーディオレベルメーター (79)

静止画を撮影中

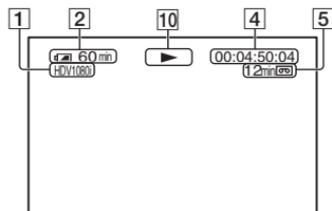


- 7 記録先のフォルダ (89)
- 8 画像サイズ (27)
- 9 静止画記録中 (27)

撮影時のデータについて

撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に DATA CODE ボタンを押すと確認できます (55 ページ)。

動画を再生中

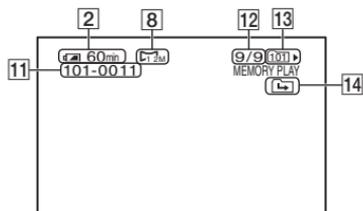


10 テープ走行表示

録画モード(DVCAMまたはDV SP)は、DVCAM規格またはDV SP規格で記録されたテープを再生するときに表示されます。

DVCAM **DV** **SP**

静止画を再生中



11 データファイル名

12 再生中の画像番号 / フォルダ内の合計枚数

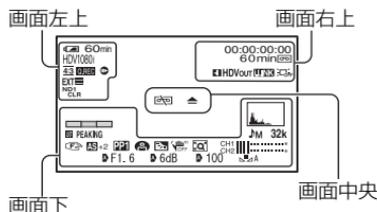
13 再生フォルダ(89)

14 前後フォルダ表示

“メモリースティック デュオ”内に複数のフォルダがあるとき、フォルダ内の最初/最後の画像になると、    が表示されます。VOLUME/MEMORYボタンでフォルダ移動できます。

ファインダーと液晶画面の表示(つづき)

表示画面の説明



画面左下

表示	意味
HDV1080i DVCAM DV SP	録画フォーマット(81)
4:3	DV WIDE REC(83)*
Q.REC	QUICK REC(91)**
▶	DV FRAME REC(73)*
ND1 CLR ND2 1/4 ND3 1/16 ND4 1/64	ND フィルター(32)
ND	
☺	INTERVAL REC(72)
EXT EXT EXT C.F	EXT REC CTRL(84)
24pSCAN 24P 24pSCAN 30P 30pSCAN	REC TYPE SCAN TYPE(82)

画面右上

表示	意味
IM	INDEX MARK(46)
HDVIn DVIn	HDV 入力/ DV 入力(81)
HDVout DVout	HDV 出力/ DV 出力(81)
i.LINK	i. LINK 接続(60、93)
☺OFF	バックライト 切(20)

画面中央

表示	意味
警告	警告(112)

画面下

表示	意味
HISTOGRAM	HISTOGRAM(77)
CAM LEVELING	CAM LEVELING (79)
NS32k NS48k 32k 48k	DV AU. MODE(75) *
JM	手動音量調節(44)
▲	手動フォーカス(30)
PP1~PP6	ピクチャープロファイル(35)
SPOTLIGHT	SPOTLIGHT(70)
BACK LIGHT	BACK LIGHT(70)
☺	手ぶれ補正(71)
PEAKING	PEAKING(78)
D.EXTENDER	D.EXTENDER(71)
AS	AE SHIFT(69)
ECS	拡張クリアスキャン (33、70)
自動設定	自動設定(79)
☺ ☺ A B	ホワイトバランス (34)
FOCUS MACRO	FOCUS MACRO (71)
HYPER	HYPER GAIN(68)
(COLOR)	x.v.Color(74)**
ZEBRA	ZEBRA(77)

* DVCAM(DV)規格のときのみ設定できます。
** HDV規格のときのみ設定できます。

☺ちよっと一言

●表示内容や位置は目安であり、実際とは異なる
ことがあります。

索引

ア行

アイコン	画面表示へ
アイリスリング	32
アイコン	i.LINKへ
アクセサリースュー	131
アクセサリースューアダプター	132
アクセサリースューキット	9
アクセサリースュー 取り付け部	131
アクセスランプ	25
アフターサービス	126
インデックスサーチ	57
インデックス信号	46
インデックス表示	53
インフォリチウムバッテリー	119
ウィンドスクリーン	13
液晶画面	20
液晶画面バックライト	20
エンドサーチ	47
大型アイカップ	21
屋外	34
屋内	34
お知らせメッセージ	112
主な仕様	124
音量	44, 53

カ行

カーツァイスレンズ	10
海外で使う	113
拡大フォーカス	31
拡張クリアスキャン(ECS)	33
カセット	24
入れる/取り出す	24
カセット入れ	24
カセットカバー	24
カセットラベル	ラベルへ
画像消去	54
カメラプロファイル	89
画面表示	138

画面表示出力	55, 81
逆光補正	70
クリーニングカセット	122
グリップベルト	19
警告表示	112
ゲイン	33
ケーブルホルダー	13
結露	121
広角	29
高速アクセス	53
故障かな?と思ったら	102
誤消去防止スイッチ	117
誤消去防止ツマミ	115
コンセント	18
コンポーネントビデオケーブル	59

サ行

再生	52
再生可能時間	17
撮影	26
撮影可能時間	17
撮影可能枚数	27
残量	
テープ	138
バッテリー	56
残量表示	56
自己診断表示	112
シャッタースピード	33
充電時間	17
充電ランプ	16
シューバネ	9
準備	9
消去	
画像	54
商標	146
初期化	フォーマットへ
ショットトランジション	48
ショルダーストラップ	135
ショルダーストラップ取り付け部	135
ズーム	29
ズームリング	29

ズームレバー	29
ステータスチェック	56
スロット	24
静止画	53
絶縁シート	137
接続	
テレビに	58
ビデオ機器に	93
接続コード	18

タ行

タイムコード	138
ダビング	93
テープ	カセットへ
テープカウンター	138
テープ残量	138
テレビ	58
テレビ方式	113
電源コード	16
ドロップフレーム	86

ナ行

内蔵充電池	123
-------	-----

ハ行

ハイビジョンテレビ	59
バックライト	
液晶画面バックライトへ	
バッテリー	16
バッテリーインフォ	56
バッテリー残量	56, 138
パネル	液晶画面へ
ハンドルズーム	29
ハンドルズームスイッチ	29
ハンドルズームレバー	29
ピクチャーサーチ	53
ピクチャープロファイル	35
日付サーチ	57
日付時刻	23, 138
日付時刻合わせ	22
ビデオカセット	カセットへ
ビデオ出力/パネル	81
ビデオ操作ボタン	137

索引(つづき)

ビデオヘッド	121
ビューファインダー 取りはずしつまみ	123
ピント	30
ファインダー	20
明るさ	80
視度調整つまみ	20
フォーカスマーキング	51
フォーカスリング	30
フォーマット(初期化)	88
フォルダ	
記録フォルダ選択	89
再生フォルダ選択	89
フォルダ作成	88
付属品	9
ブラックバランス	35
フランジバック調整	11
フランジバック調整用チャ ート	11
ヘッドホン端子	134
望遠	29
保証書	126
ボタン電池	137
ホワイトバランス	34, 70
ホワイトバランスメモリス イッチ	34

マ行

マイク	13
マイク固定用クランパー	13
マイクホルダー	13
メニュー	64, 88
一覧	65
AUDIO SET	75
CAMERA SET	68
DISPLAY SET	77
IN/OUT REC	81
MEMORY SET	88
OTHERS	89
TC/UB SET	85
メニューの使いかた	64
"メモリスティック"	117
"メモリスティック デュオ"	

入れる/取り出す	24
誤消去防止スイッチ	117
撮影可能枚数(静止画)	27
フォーマット	88
"メモリスティック デュオ" スロット	25
メモリーレコーディングユ ニット	14
メモリーA	34
メモリーB	34
モードA	30
モードB	30
持ちかた	19

ラ行

ラストシーンレビュー	47
ラベル	115
リチャージャブルバッテリー パック	バッテリーへ
リモコン	57, 137
リモコン発光部	137
レックレビュー	47
レンズ	10
レンズカバーレバー	14
レンズカバー付きフード	10
レンズ後部キャップ	136
レンズマウントキャップ	136
録画	26
録画ランプ	26

ワ行

ワイヤレスリモコン	リモコンへ
ワンブッシュオートフォーカ ス	31
ワンブッシュボタン	34

A

Aボタン	48
A/V接続ケーブル	61, 94
A/V OUT端子	58

ACアダプター/チャージャー	16
ADVANCE	78
AE SHIFTボタン	45
AE WINDOW	69
AE RESPONSE	69
AE SHIFT	69, 105
AF ASSIST	71
AGC LIMIT	68
ALL FILES	88
ALL OUTPUT	81
ALL ERASE	88
ALLSCAN MODE	105
ASPECT	78
ASSIGN BTN	45, 90
ASSIGNボタン	45
AT IRIS LMT	70
ATW SENS	69
AU. MAN GAIN	75
AU. LVL DISP	79
AUDIO LEVEL(CH1)スイッ チ	44
AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤ ル	44
AUDIO LEVEL(CH2)スイッ チ	44
AUDIO LEVEL(CH2)ダイヤ ル	44
AUDIO LIMIT	75
AUDIO SETメニュー	75
AUDIO CH SEL	76
AU. LVL DISP	79
AUTO	86
AUTO ADJUST	74

B

Bボタン	48
BACK LIGHT	70, 105
BAR	79
BATT RELEASEボタン	16
BEEP	91
BLACK FADER	72
BLACK GAMMA	37
BLACK LEVEL	37

BLK BALANCE35

C

CAM LEVELING79
 CAM DATA DSP79
 CAMERA PROF.89, 105
 CAMERA SETメニュー68
 CH113
 CH1 AUDIO LEVELダイヤル44
 CH213
 CH2 AUDIO LEVELダイヤル44
 CLOCK SET22, 90
 CNTRST ENHCR...70, 105
 COLOR CORRCT39
 COLOR DEPTH39
 COLOR LEVEL38
 COLOR MODE38
 COLOR PHASE39
 COLOR BAR74
 COMPONENT OUT端子58
 COPY42
 CURRENT FLDR88

D

D端子コンポーネントケーブル61
 D.EXTENDER71, 105
 DATA CODEボタン55
 DATE SEARCH57
 DATE REC91, 105
 DEGREE79
 DETAIL41
 DF86
 DIGITAL EXTENDERボタン45
 DISP OUTPUT81
 DISPLAY SETメニュー77
 DISPLAY/BATT INFOボタン55
 DOWN CONVERT ...83, 84
 DRUM RUN92

DV82
 DV AU. MODE75
 DV AUDIO MIX77
 DV FRAME REC73
 DV PROGRE83
 DV REC MODE83
 DV SP83
 DV WIDE CONV84
 DV WIDE REC83
 DVCAM83
 DVCAM(DV)規格82, 116

E

ECS(拡張クリアスキャン)33
 ECS FREQ.70
 END SEARCH47
 END TRIGGER72
 EXP.FOCUS TYPE79
 EXPANDED FOCUSボタン26
 EXT ONLY84
 EXT REC CTRL84, 105

F

FADER71
 FILE NO.88
 FLANGE BACK74
 FLCKR REDUCE70
 FOCUS DISP79
 FOCUS INFNTY31
 FOCUS MACRO71
 FOCUS MARKING74
 FOCUS TRANS48
 FORMAT88
 FREE RUN86
 FS32K75
 FS48K75

G

GAIN SETUP68
 GAINボタン33

GAMMA37
 GUIDEFRAAME78

H

HANDLE ZOOM71
 HD(ハイビジョン)画質59
 HDMIケーブル60
 HDMI端子58
 HDV82
 HDV PROGRE82
 HDV規格81, 82, 114
 HDV/DV端子58
 HDV1080i81
 HISTOGRAM77, 105
 HOURS METER92
 HYPER GAIN68

I

i.LINK SET84
 i.LINKクレードル15
 i.LINK120
 i.LINKケーブル60, 99, 100
 IN/OUT RECメニュー81
 INDEX MARK46
 INDEX SEARCH57
 INDOOR34
 InfoLITHIUMバッテリー119
 INPUT144
 INPUT1 LEVEL76
 INPUT1 MIC NR76
 INPUT1 TRIM76
 INPUT1 WIND76
 INPUT1スイッチ44
 INPUT1端子13
 INPUT244
 INPUT2 MIC NR76
 INPUT2 TRIM76
 INPUT2 WIND76
 INPUT2スイッチ44
 INPUT2端子13
 INTELLIGENT69

索引(つづき)

INTERLACE 82
INTERVAL 72
INTERVAL REC ... 72, 105
IRIS TRANS 48
IRISスイッチ 32

J

JPEG 117

K

KNEE 38

L

L1ボタン 45
L2ボタン 45
LANC端子 134
LANGUAGE 91
LAST SCN RWV 47
LCD BL LEVEL 80
LCD BLIGHT 80
LCD COLOR 80
LENS端子 10
LETTER SIZE 80
LINKED 75

M

MANU ADJUST 74
MANU WB TEMP 34
MARKER 78, 105
MEMORY SETメニュー 88
MEMORY/DELETEボタン 54
MEMORY/INDEXボタン 52
MEMORY/PLAYボタン 52
MENUボタン 22, 64
MIC+48V 44
MIX 77
MPEG2 101

N

NDフィルター 32

NDF 86
NEW FOLDER 88
NORMAL 80
NTSC 108, 113
NUMBER 79

O

ONE PUSH AF 31
OPEN/EJECTつまみ 24
OPERATION 92
OTHERSメニュー 89

P

PAL 108
PB FOLDER 89
PB ZOOM 91
PEAKING 78
PICTURE PROFILEボタン 35
PLAYボタン 52
POWERスイッチ 19
PRESET 85
PROFILE NAME 42
PROGRESSIVE 82
PUSH (レンズフード取りはずし) button 14
PUSH AUTOボタン 32

Q

QUICK REC 91

R

REC CH SELECTスイッチ 13
REC CTL MODE... 84, 105
REC FOLDER 89
REC FORMAT 81
REC LAMP[F] 91
REC LAMP[R] 91
REC LINK 48
REC PAUSE 85
REC REVIEW 47
REC REVIEWボタン 47

REC RUN 86
REC START STOPボタン 26
REC TIME 72
REC TIMING 72
REC TYPE 82
REGENERATE 86
RELAY 84
RELEASEレバー 15
REMAINING 80
REMOTE CTRL 92
RESET 43, 88
RESETボタン 136
RETボタン 45

S

S.TRANS/F.MARK 73
S1, S2映像端子 ... 61, 63, 94
SAFETY ZONE 78
SCAN TYPE 82, 83
SD(標準)画質 61
SEARCH M 57
SEL/PUSH EXECダイヤル 22
SEPARATE 75
SHOT TRANSITION 73
SHOT TRANSITION/
FOCUS MARKINGボタン 48
SHUTTER DISP 79
SHUTTER SPEEDボタン 33
SKINTONE DTL 42
SMOOTH GAIN 68
SMOOTH WB 69
SMTH SLW REC ... 72, 105
SPOTLIGHT 70, 105
SQUEEZE 84
START TIMER 48
START TRIGGR 72
STATUS CHECKボタン 56
STBY COMMAND 85
STEADYSHOT 71

STOP85
SYNCHRONOUS84

T

TAPE RUN92
TC COUNTUP85
TC FORMAT86
TC LINK86
TC MAKE86
TC PRESET85
TC RUN86
TC/UB SETメニュー85
TC/U-BITボタン136
THREADING92
TONE74
TRANS TIME48

U

UB PRESET86
UB TIME REC87
UB-DATE/TC-TIME87

V

VCR HDV/DV81
VF B. LIGHT80
VF COLOR80
VF POWER MODE80
VIDEO OUT83
VOLUME/MEMORYボタン
.....52
V-OUT/PANEL81

W

WB OUTDR LVL68
WB PRESET68
WB SHIFT41
WB TEMP SET68
WHITE FADER72
WHT BALボタン34
WORLD TIME90

X

x.v.Color74

XLR SET75

Z

ZEBRA77
ZEBRAボタン45
ZOOM DISPLAY79
ZOOM TRANS48
ZOOMスイッチ29

商標について

- “Memory Stick”、“メモリースティック”、、“メモリースティック デュオ”、“**MEMORY STICK Duo**”、“メモリースティック PRO デュオ”、“**MEMORY STICK PRO Duo**”、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、“**MEMORY STICK PRO-HG Duo**”、“メモリースティック マイクロ”、“マジックゲート”、“**MAGIC GATE**”、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート メモリースティック”、“**MagicGate Memory Stick Duo**”、“マジックゲート メモリースティック デュオ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- “x.v.Color”はソニー株式会社の商標です。
- i.LINK、はソニー株式会社の商標です。
- Mini  Digital Video Cassette は商標です。
-  は商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows MediaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfacelは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所: 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206)より取得可能です。

